

# 佐藤恒丸関係文書目録（仮）

国際日本文化研究センター図書館

2024年1月17日版

## <目次>

凡例	…2
佐藤恒丸年譜	…3
佐藤恒丸文書の構成	…4
第1次受入分	
A 書簡	…5
B 葉書	…35
C 書類・写真等	…63
第2次受入分	
A 書簡	…67
B 書類	…67
第3次受入分	…68

## <凡例>

- ・佐藤恒丸関係文書目録（仮）（以下、本目録）は、明治～昭和戦前期の軍医で、陸軍軍医学校教官、京城衛戍病院長、朝鮮駐箚軍軍医部長、赤十字社病院長、侍医頭などをつとめた佐藤恒丸（1872～1954年）の関係文書の目録である。3頁に年譜を掲げる。
- ・原資料は国際日本文化研究センター図書館（京都市西京区）に所蔵されている。なお、同図書館では、佐藤恒丸に関わる資料として、佐藤恒丸関係文書以外に、「[佐藤恒丸関係記事掲載雑誌]」（請求記号：SC/28/Sa）、佐藤恒丸『鳥類白米病ニ關スル二三ノ實驗』（臨時脚氣病調査會、1920年10月印刷。東京大学総合図書館所蔵資料の全冊コピー）（請求記号：SC/311/Sa）を所蔵している。
- ・佐藤恒丸関係文書は、佐藤家遺族の旧蔵資料である。国際日本文化研究センターが、2020年度、2021年度、2022年度の三次にわたって古書肆を通じて購入した。本目録は、第1次受入分（2020年度購入）と第2次受入分（2021年度購入）の目録を主としており、第3次受入分（2022年度購入）については概要を示すにとどまる。後日、完全を期したい。それぞれの構成は4頁の表の通りである。
- ・第1次受入分は、「書簡」・「葉書」・「書類・写真等」に分類した。なお、「書類・写真等」のなかに書簡や葉書が含まれている場合もある。
- ・第2次受入分は、「書簡」・「葉書」・「書類」に分類した。
- ・第3次受入分は未整理であり、主な個人書簡の差出人と件数、書類の件名を示すにとどまっている。
- ・本目録の番号は仮番号であり、第3次受入分（2022年度購入）の整理を終えた後、全体を通して番号を振り直す予定である。
- ・本目録中の「デジタル画像」に○をつけた資料は、電子化済みである。
- ・本目録では、差出人姓名や地名などは原則として旧漢字を常用漢字に改めた。

文責：松田利彦

目録作成者：長沢一恵、Juljan Biontino、松田利彦

佐藤恒丸年譜

	年齢	陸軍での階級	主な出来事
1872(明治5)年	0歳		8月28日 佐藤恒丸、愛知県で生まれる。佐藤三藏(錦山)の長男。佐藤家は旧尾州徳川家の世臣。
1887(明治20)年	15歳		7月 高等中学校、入学。
1892(明治25)年	20歳		7月 高等中学校卒、卒業。9月 帝国大学医科大学、入学。
1893(明治26)年	21歳		9月 陸軍衛生部医科大学依託学生。
1896(明治29)年	24歳	見習医官	12月 東京帝国大学医科大学、首席卒業。陸軍近衛歩兵第4連隊に配属。
1897(明治30)年	25歳	陸軍三等軍医	2月 近衛歩兵連隊第3連隊にも配属。5月 歩兵第10聯隊附。姫路衛戍病院にも勤務。
1898(明治31)年	26歳	陸軍二等軍医	6月 東京帝大大学院、入学(～1900年6月)。青山胤通の指導を受ける。7月 東京帝大医科大学副手(～1907年7月)。東京帝国大学附属医院に勤務。このころ『東京医事新誌』の編集を担う。
1899(明治32)年	27歳		佐藤恒丸・谷口吉太郎編『伝染病論(内科学大成巻之一)』(南江堂)刊行。
1900(明治33)年	28歳	陸軍一等軍医	6月 近衛歩兵第1連隊附。
1901(明治34)年	29歳		4月 妻・梅子との間に長男瓌生まれる(生涯に5男5女をもうける)。6月 東京衛戍病院附兼陸軍医学学校病院。
1902(明治35)年	30歳		4月 東京衛戍病院御用掛兼勤。6月 清国・天津にコレラ予防のため出張。9月 英領インドへ福島安正少将の治療のため派遣。
1903(明治36)年	31歳		父・三藏、死去。
1904(明治37)年	32歳	陸軍三等軍医	7月 東京予備病院附。7月 清国駐屯軍司令部附(～1904年7月)。8月 北京日本公使館附として赴任。清国医務嘱託(～1904年7月)。
1905(明治38)年	33歳		1月 日露戦争中、ロシア兵のスコルブート病(壊血病)の調査のため旅順に派遣。
1906(明治39)年	34歳		4月 陸軍軍医学学校附。9月 シャルコー述・佐藤恒丸訳『神経病臨床講義』前編(上)を刊行。
1907(明治40)年	35歳		5月 シャルコー述・佐藤恒丸訳『神経病臨床講義』前編(下)を刊行。6月 東京第一衛戍病院御用係(～1908年10月)。8月 陸軍軍医学学校教官兼勤。10月 陸軍官費留学生としてドイツ留学(～1910年3月)。
1908(明治41)年	36歳	陸軍二等軍医正	
1910(明治43)年	38歳		3月 陸軍軍医学学校教官(～1910年7月)。5月 第8第14師団特命検閲使属員。7月 京城衛戍病院長(～1916年10月)。
1911(明治44)年	39歳		3月 シャルコー述・佐藤恒丸訳『神経病臨床講義』後編を刊行。12月 東京帝国大学より医学博士号を授与。
1912(明治45/大正1)	40歳	陸軍一等軍医正	
1913(大正2)年	41歳		4月 日本赤十字社朝鮮本部評議員。
1915(大正4)年	43歳		3月 臨時脚気病調査会委員(～1924年11月)。
1916(大正5)年	44歳		4月 京城医学専門学校内科講師、嘱託(～1920年2月)。10月 朝鮮駐劄軍軍医部長。
1917(大正6)年	45歳	陸軍軍医監	6月 朝鮮総督府医院医務嘱託。
1920(大正9)年	48歳		1月 日本赤十字病院長(～1927年9月)。
1922(大正11)年	50歳	陸軍軍医総監	
1923(大正12)年	51歳	予備役	
1925(大正14)年	53歳		12月 日本内科学会会長(～1926年4月)。
1927(昭和2)年	55歳		9月 侍医頭(～1937年3月)。
1935(昭和10)年	63歳		4月 叙勲一等授瑞宝章。
1937(昭和12)年	65歳		3月 宮中顧問官。
1940(昭和15)年	68歳		8月 編纂主任をつとめた『男爵小池正直伝』(青木袈裟美編刊)、刊行。
1954(昭和29)年	81歳		4月16日 名古屋市で胃癌のため死去。

## 佐藤恒丸関係文書の構成

### 第1次受入分(2020年度)

分類	点数	備考
書簡	817点	森鷗外書簡29点含む。
葉書	605点	主に写真葉書・絵葉書
書類・写真等	54点	書類のうち、[永登浦監獄脚気調査書類][脚気病調査書類][日赤病院長在勤時資料]「侍医頭覚書」など一括されている文書は1点と数えたが、それぞれの中に多数の書類を含む。そのほか写真23点、写真帖4点、雑誌4点、佐藤恒丸の医学論文の抜刷29点などを含む。

### 第2次受入分(2021年度)

書簡	4点	
書類	11点	

### 第3次受入分(2022年度)

書簡	1070点	
葉書	571点	
書類その他		写真、報告書、原稿、地図等。

## 第1次受入分

### A 書簡

- ・「差出人」の50音順で配列している。朝鮮人・中国人は日本語読みとしている(例:李夏栄:リカエイ)。
- ・「年」については、幅のある推測をした場合、[1903-1904?]などのようにカッコを付した。推測は、宛先人(佐藤)の職位、階級、住所、書簡内容などをもとにして行った。
- ・「日」は以下のような表記となっている。1月2日=102、1月20日=120、10月2日=1002、10月20日=1020、10月・日不明=1000、月日とも不明=0。また、[年月不明]20は年月は不明で日にちだけ20日と判明することを表している。
- ・以上の「年」「日」の表記方法は、第1次受入分「B 葉書」「C書類・写真等」、第2次受入分「A書簡」「B書類」も同様である。
- ・「内容」は網羅的ではない。

番号	差出人	形態	数量	デジタル 画像	年	月日	内容
7-6	青木宣純	その他	用紙1		[1903-1904?]	[月日不明]	診療依頼。
76-432	青山先生在職二十五年祝賀抛金…	その他	[封筒無]、用紙2、整理メモ1、紐1	○	1917	1111	「青山先生在職二十五年祝賀醸金会計残務報告」:大正6年11月11日に宮本村佐々倉が本郷青山先生のご病床に報告。「青山内科医局同窓会報告」:徐昌道
76-122	青山徹蔵	書簡	封筒1、巻紙1		1930	604	御高話拝聴
19-2	明石元二郎	書簡	封筒1、巻紙1		1912	1024	病状報告。
19-1	明石元二郎	書簡	封筒1、巻紙1		[1910-1912?]	[月日不明]	診察御礼。
76-8	秋山春齊	書簡	封筒1、巻紙1		1904	924	来月2日には帰任、3日より13日迄士官学校の衛生学講義
76-498	秋山練造	書簡	[封筒無]、巻紙1		1919	613	閣下の重病に驚愕。電報にて総督府医院へ宛御見舞い
76-478	秋山練造	書簡	洋封筒1、原稿用紙2、用紙1		1928	515	4月の軍医雑誌の通信網に独逸軍医の書状中コワルク軍医正[Kowalk, Rudolf]に関する記述
76-373	秋山練造	書簡	洋封筒1、便箋1		1931	517	
76-371	秋山練造	書簡	洋封筒1、便箋1		1931	529	
76-473	秋山練造	書簡	封筒1、巻紙1		1935	512	勲一等授章につき祝賀
76-431	秋山練造	書簡	洋封筒1、便箋3		1936	524	揮毫を相沢志人へ恵与
76-483	秋山練造	書簡	封筒1、便箋1		1936	1211	
76-480	秋山練造	書簡	封筒1、便箋1		1942	210	
76-479	秋山練造	書簡	封筒1、便箋1		1942	723	来訪御礼。
76-482	秋山練造	書簡	封筒1、便箋1		1943	925	
76-481	秋山練造	書簡	[封筒無]、便箋1		[1940年代以降?]	715	故小池正直伝記につきお知らせ御礼
76-399	秋山練造	書簡	封筒1、便箋2		[1940年代以降?]	801	飯島氏[飯島茂]から「日本医学及健康保険」回付、「小池正直傳読後感」拝見
76-500	浅野量太郎	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1919?]	614	閣下御重篤入院に驚愕
76-499	浅野量太郎	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1919?]	728	漸次快方の趣令夫人より吉報頂戴し安堵
76-441	姉崎正治	書簡	封筒1、用紙1	○	1930	604	震災復興の経過を示す復興帳を本学で編纂、ご援助への返礼として一部謹呈。
76-103	阿部徳次郎	書簡	封筒1、便箋2、整理メモ1、紐1	○	1924	812	三菱病院・統営共立病院。全羅南道医務嘱託として巡回診療、地方調査、防疫主任を兼務

72-2	阿部浩	書簡	封筒1、巻紙1		[1921-1927?]	112	三女の病氣
38-2	阿部充家	書簡	封筒1、巻紙1		1916	525	御推挙の人物は経費の都合上直ちに採用致す訳には参らぬ事情あり
38-3	阿部充家	書簡	封筒1、巻紙1		1917	512	故李俊公の墨蹟
38-1	阿部充家	書簡	封筒1、巻紙1		[1915-1917?]	811	診察御礼。謹呈
76-376	雨宮量七郎	書簡	封筒1、便箋1		1931	517	
76-375	雨宮量七郎	書簡	封筒1、便箋1		1931	531	
76-78	雨宮量七郎	書簡	封筒1、便箋1		[1937-1944?]	1215	
76-76	荒井恵	書簡	封筒1、便箋3		1937	505	
76-501	荒木栄三郎	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1919?]	629	本日医海時報にて閣下パラチフスにて入院を知り驚愕
76-131	有馬英二	書簡	封筒1、便箋1、罫紙3、領収書1	○	1919	107	青山胤通御墓前祭に花輪供すべく早速同窓会を花清に注文。伝研移転問題。碓居君。森安連吉。稲田内科医局長坂口君。「花清」の領収書
76-132	有馬英二	書簡	封筒1、巻紙1		1922	512	
76-64	有馬頼吉	書簡	封筒1、巻紙1		1923	119	大阪市立刀根山療養所に来訪につき。
39-1	有吉忠一	書簡	封筒1、巻紙1、紐1		[1910?]	824	診察御礼。謹呈
39-2	有吉忠一	書簡	封筒1、巻紙1		1910	1129	御光来御礼
76-393	淡近澄	書簡	封筒1、巻紙1		1940	423	
76-295	飯島茂	書簡	洋封筒1、便箋2		1914	1012	病院は本年予定外の多忙、今回も聯隊演習にて若干の人員を減ぜられた。白井中将閣下病状依然として良好に赴かず回復は困難。「京城より誰かもう一度誰か来るか」等と申居られ候、山田病院長初め各員心配。
76-202	飯島茂	書簡	封筒1、巻紙1		1920	201	平井閣下[平井政造]の後を襲って日本赤十字社病院長の重務に御就任を慶祝
76-290	飯島茂	書簡	封筒1、巻紙1		1920	727	
76-484	飯島茂	書簡	封筒1、便箋1		1931	319	
76-377	飯島茂	書簡	封筒1、便箋1		1931	518	
76-366	飯島茂	書簡	封筒1、便箋1		1931	531	
76-397	飯島茂	書簡	封筒1、巻紙1		[1942-1945?]	519	
76-485	飯島茂	書簡	[封筒無]、巻紙1		[年不明]	621	
77-13	壱岐幸義、香取寛	書簡	封筒1、巻紙1、便箋2、用紙1		1920	625	京城医専での教育への御礼。
76-72	壱岐幸蔵	書簡	封筒1、巻紙1		1927	1204	御願の御快諾に御礼、記念帳出来上がり次第送る。先生が御病氣中もいとわず御講義下さった折を思い浮かべる
54	井口省吾	書簡	封筒1、巻紙1		1923	1010	先般四女木津季子の治療御礼。大震災翌日無事退院
76-433	池田宏	書簡	封筒1、巻紙1		1928	712	
76-440	池田宏	書簡	封筒1、巻紙1		1928	1226	
73-1	石黒忠恵	書簡	封筒1、巻紙6、用紙1、袋1	○	[1902?]	1217	(1)~(4)[1902]年[月日不明]巻紙、印度行きについての注意事項、持ち物一覧。／(5)[1902]年12月17日付巻紙、福島[福島安正]も無事帰着。軍医学校は昨今試験中にて急ぎ御帰京に及ばず。前月2日男子御出生[1902年11月次男瑠次郎出生]母子とも健全。去月末伺候、中々大きな子。／(6)1902年5月23日付巻紙、福島少将病気に付苦勞察し候。キニーネ、サルチルエンチピリン、アンチヘブリン。／(7)1902年12月10日付巻紙、小池正直
73-24	石黒忠恵	書簡	封筒1、巻紙1	○	1904	101	

73-21	石黒忠憲	書簡	封筒1、巻紙1	○	1912	310	総督病気は平快。ブランデーが過ぎないか案じている。小池正直夫人の病も近日はよろしくめでたい
73-22	石黒忠憲	書簡	封筒1、巻紙1	○	1913	920	寺内病気について常に御注意下され恭謝。軍医連中の御指導を願う
73-23	石黒忠憲	書簡	封筒1、巻紙1	○	1915	224	近日は桜井、浜田、柳いずれも産科婦人科を失う。本堂。藤田総監[藤田嗣章]来訪、貴君が俗医の中に御構いなく尊然其上に御立候こと安心。寺内総督は近日は糖分も見えず喜ばしい。小池正直後室
73-20	石黒忠憲	書簡	封筒1、巻紙1	○	1917	222	日本赤十字社長に就任
73-16	石黒忠憲	書簡	封筒1、巻紙1	○	1920	220	枢密顧問官拝任の御祝に感謝
73-10	石黒忠憲	書簡	封筒1、巻紙1	○	1920	303	
73-11	石黒忠憲	書簡	封筒1、巻紙1	○	[1920?]	419	本日尿検査を提出
73-17	石黒忠憲	書簡	封筒1、巻紙1	○	1920	501	アスピリン少量で治療、快方
73-15	石黒忠憲	書簡	封筒1、巻紙2	○	1920	1217	赤十字社病院長への御転任。陛爵への御芳情感謝
73-14	石黒忠憲	書簡	封筒1、巻紙1	○	1921	403	
73-19	石黒忠憲	書簡	封筒1、罫紙1	○	1921	829	
73-25	石黒忠憲	書簡	封筒1、巻紙2	○	1921	1020	病院記念会
73-18	石黒忠憲	書簡	封筒1、便箋1	○	1922	101	
73-12	石黒忠憲	書簡	封筒1、巻紙1	○	1922	902	
73-13	石黒忠憲	書簡	封筒1、巻紙1	○	1923	321	
73-9	石黒忠憲	書簡	封筒1、便箋1、原稿用紙1	○	[1926?]	927	
73-4	石黒忠憲	書簡	封筒1、便箋2	○	1927	323	
73-5	石黒忠憲	書簡	封筒1、便箋2	○	1928	120	昨年末よりは枢府にも出動するも宮中御式には参らず
73-3	石黒忠憲	書簡	封筒1、便箋1	○	1929	830	大病を蒙り種々御高配
73-8	石黒忠憲	書簡	封筒1、便箋2	○	1930	325	
73-2	石黒忠憲	書簡	封筒1、便箋2	○	[1929-1936?]	807	赤十字病院採用
73-6	石黒忠憲	書簡	封筒1、便箋1	○	1933	306	
73-7	石黒忠憲	書簡	封筒1、便箋1	○	1933	705	陛下御食事減少、体重減少
76-172	石原忍	書簡	封筒1、便箋1		1941	516	帝国学士院賞の受賞御祝の御礼
76-133	石原弘	書簡	封筒1、巻紙1		1919	309	子息の予科受験についての御照会の件。朝鮮は不穩の趣新附の民統御には中々に御骨折りと御察し
76-123	伊勢錠五郎	書簡	封筒1、巻紙1		1886	621	
77-1	井手治	書簡	封筒1、巻紙1		[年不明]	1007	書籍御礼
76-158	伊藤隼三	書簡	封筒1、巻紙1		1917	1002	朝鮮での歓待に御礼
76-200	稲田龍吉	書簡	封筒1、便箋3		1912	728	菊池氏の件は委細細田氏より承った。旭君に依頼し泌尿器の方の検査を依頼
76-198	稲田龍吉	書簡	封筒1、便箋4		1917	523	(1)(1917年5月23日)別府の保養院にても参りたしと申居られ候。同院には井戸助教授一ヶ月に一回位回診に参り小生も経過を聞くことを得好都合(1917年5月9日):先日御紹介の小城氏、旭君にも見せ候処同様の診断、三宅君にも見せ候処矢張syphilis[梅毒]ならんと。別府の保養院にて静養致すことに
76-150	稲田龍吉	書簡	封筒1、巻紙1、整理メモ1、紐1		1918	1227	先般来御来書の件。遠山君の福岡に居られし頃の御病状にて御自身の病状は結婚によりて悪影響はなし。此頃福岡在院中の如く熱もなし。来春早々一度診察致し御判断申上候。青山胤通
76-199	稲田龍吉	書簡	封筒1、便箋1		[1920年代?]	418	御令息を治療、呼吸器には異常なく他覚的にこれという所見無之



76-140	稲本亀五郎	書簡	[封筒無]、罫紙3		1917	518	細胞組織分析につき
76-31	井上円治	書簡	封筒1、巻紙1		1931	203	
64-4	井上孝哉	書簡	封筒1、巻紙1		1911	1224	
64-6	井上孝哉	書簡	封筒1、巻紙1		1917	329	
64-2	井上孝哉	書簡	封筒1、巻紙1		1920	311	
64-3	井上孝哉	書簡	封筒1、巻紙1		1924	628	
64-5	井上孝哉	書簡	封筒1、巻紙1		1934	1208	
64-1	井上孝哉	書簡	封筒1、巻紙1		1938	1008	
76-383	井上孝哉	書簡	封筒1、巻紙1		1940	213	
76-114	井上誠夫	書簡	封筒1、巻紙1		1930	203	
76-113	井上誠夫	書簡	封筒1、巻紙1		1937	502	
76-28	井之口太一	書簡	封筒1、巻紙1		1919	402	小官昇級し横須賀衛戍病院長兼東京湾要塞司令部附に転補
76-403	井深健次	書簡	封筒1、巻紙1		1933	305	
76-165	今村新吉	書簡	封筒1、巻紙1		1917	705	韓地通過の際は久々に御講話を拝聴し非常に楽しく存候
76-434	伊良子光義	書簡	封筒1、便箋2		1929	215	
76-306	入沢達吉	書簡	封筒1、巻紙1		1913	524	御懇書感謝。朝鮮医学会
76-310	入沢達吉	書簡	封筒1、巻紙1		1919	520	石榴御恵送感謝。目下大学は学課及試験制度案改革の為会議のみ打続き閉口
76-304	入沢達吉	書簡	封筒1、巻紙1、罫紙2		1923	1205	糠エキス百瓶贈呈。ビタミン欠乏人体試験若くは脚気患者に試用下されたし
76-307	入沢達吉	書簡	封筒1、巻紙1		1924	619	先日御尊来感謝。貴社看護婦に関する件当方よりも御願ひ申上奉候
76-309	入沢達吉	書簡	封筒1、巻紙1	○	1927	307	此度侍医寮に於て一団職員整理致し候折柄新井君[新井吉郎カ]も御用掛を免ぜられ候。何卒貴社社長及前社長に御推挙被下度
76-314	入沢達吉	書簡	封筒1、便箋2		1934	1210	「公思医事」の緒言は小池翁の文なるか
76-313	入沢達吉	書簡	封筒1、便箋2	○	1935	119	森氏推薦。軍医学雑誌にあると明記せるものもあり、「軍医の服装ヲ論ズ」「陸軍衛生部の管理務」「約瑟大学の追想」「衛生部長タルノ徳」
76-312	入沢達吉	書簡	封筒1、便箋1		1935	308	今日御話の件佐々木忠次郎に御伝致候。ミュンヘンにて着任せし時の事、小池総監と佐々木氏が日本へつれて返られしかと存候(是は岩佐君がよく御承知の筈)
76-305	入沢達吉	書簡	封筒1、便箋1	○	1935	611	小池[小池正直]伝愈々進歩大慶。1890年伯林関係国際学会は小池氏出席相成候。岡田国太郎。ウイルヒョウ公爵
76-311	入沢達吉	書簡	封筒1、便箋2		1935	1108	米山梅吉殿今日来訪、高木逸磨[カ]の事種々御配慮御礼を申居候。恩給に達しないのは規則上已むを得ず。勅任待遇の儀は人数に制限無之、若し多少可能性あらばご高配願上度
76-437	入沢達吉	書簡	封筒1、便箋2		1938	713	『神経学雑誌』自第壹卷 至第参九卷を東京医学会図書室に寄贈したことに対する礼状
76-308	入沢達吉	書簡	[封筒無]、巻紙1		[年不明]	408	黒田元通氏の出馬
76-292	岩田末彦	書簡	封筒1、巻紙1		1917	809	今般進級
76-6	岩田一	書簡	封筒1、巻紙1		1907	428	
76-372	岩田一	書簡	洋封筒1、便箋1		1931	531	
76-75	岩淵友次	書簡	封筒1、便箋3		1940	124	貧弱な産院を半島唯一の日赤産院としてふさわしき病院にしてから第二代の院長に譲らんものと目標を定め爾来六六年、漸く一昨年末新築完成移転を見て今回勇退。長男三一歳朝鮮殖産銀行在勤、今次事変で補充兵(野砲)として出動
76-36	植木第三郎	書簡	封筒1、便箋2		1939	1003	
77-16	上田貞次郎	書簡	封筒1、便箋1		1935	424	
72-11	宇垣一成	書簡	封筒1、巻紙1		1926	112	今度小原直躬御厄介になる運御厚情に感謝

76-360	宇木碩太郎	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1916?]	1006	駐劄軍軍医部長に御栄転敬賀
76-289	宇木碩太郎	書簡	封筒1、巻紙1	○	1917	811	衛生部に大なる変化なし、山田と山岡の進退交代位か。衛生部の首脳部にあるものは学問医学の力、軍事能力の兼備しあるものが望まれる。閣下の局長就任を切望
77-6	宇佐川一正	書簡	封筒1、巻紙1		[1912?]	927	リンゴぶどう御礼。
77-19	宇佐川一正	書簡	封筒1、巻紙1		1924	518	母の入院取り計らいに感謝
65-2	宇佐美勝夫	書簡	封筒1、巻紙1		[1924?]	1229	宮崎厚一明朝御伺、面談下されたし。本人は明年三月大阪医科大学卒業の予定で志望は外科。採用の途あればご高配下されたし
65-1	宇佐美勝夫	書簡	封筒1、巻紙1		1929	310	御長男の訃音に接し驚愕
76-496	氏家参頭	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1919?]	[6?] 16	発疹チフスでの御入院に驚愕。早速御見舞いすべき処内科医としては小生一名のみ
76-343	氏家参頭	書簡	封筒1、便箋2		1931	329	
76-11	牛田純一	書簡	封筒1、巻紙1		[1916-1919?]	416	
76-86	鷓島修男	書簡	封筒1、便箋4		1939	620	結核豫防、公衆衛生。神奈川県衛生部
1	内田康哉	書簡	洋封筒1、巻紙1、用紙1、整理メモ2、紐1	○	[1902-1905?]	914	明朝小池博士御見送りでできず
76-57	内野仙一	書簡	封筒1、便箋2		1937	729	
20-2	宇都宮太郎	書簡	封筒1、巻紙1	○	1919	820	重大案件なし。病疫も目下半島極北に限られており急ぎ龍山に戻る必要なし
20-1	宇都宮太郎	書簡	封筒1、巻紙1		[1920?]	226	在勤中の御懇情に感謝
20-3	宇都宮太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1920	730	御懇書拝受、其後経過益々良好
52	宇都宮太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1921	906	
76-288	有働審哉	書簡	封筒1、巻紙1		1920	107	多年の薫陶に感謝。御餞別と酷寒の見送りに感謝。鹿児島へ赴任、脳脊髄膜炎患者発生のため保菌者検索・チフス患者の発生・防疫・菌検索に忙殺。衛生治病は自分の目より見れば朝鮮に比し著しく遅れ殊に軍医連の不甲斐なさには心細き次第
76-420	有働審哉	書簡	封筒1、巻紙1	○	1920	121	中村[中村緑野]衛生課長当地着、陸軍省人事局長より課長宛親展電報を披見。赤十字社病院長に推選総裁御裁可を経て上奏の手續を了したるにより不日発表の筈。課長の談によれば平井[平井政道]病院長勇退の噂立つや閣下を朝鮮総督府医院長に擬し赤十字社病院長は吾輩の椅子と力み返り居る大家も多い
76-223	有働審哉	書簡	封筒1、巻紙1		1921	616	サガレン陸軍病院に転任
76-224	有働審哉	書簡	封筒1、便箋2		1921	627	
76-296	宇野宗一	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1910-1916?]	825	往診御礼。胸部症状は軽快。家族に対する注意等は隈部大佐へ申し出実行。療養所は仁川八景園へ転地
76-217	宇野宗一	書簡	封筒1、巻紙1		1926	1206	陶印の類は平安南道平原郡在住の加藤知良(加藤刀畦)の作。秋山軍医総監、石黒閣下、徳富蘇峰、山田局長
76-425	宇野宗一	書簡	封筒1、便箋1		1927	100	玉章有り難く拝受。朝鮮雑記に感想早速松田学鷗先生に移牒。右名士の感想採録再版の趣齋藤[齋藤実]総督の要望有之。小生只今錦山遺稿耽読中
76-424	宇野宗一	書簡	封筒1、便箋2		[1927?]	201	別包陶印差し出し候、揮毫送付下され度。錦山先生を思い記吳山遊の書を申送候。小生錦山遺稿の内より一二句を写し照覧申上。秋山[秋山練造]軍医総監、石黒[石黒忠憲]閣下、徳富蘇峰、山田局長。
76-61	梅沢彦太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1940	1206	故小池御伝記御上梓

76-105	大石繁吉	書簡	封筒1、巻紙1		1920	328	日本赤十字社病院長に就職祝賀
76-386	大城戸宗重	書簡	封筒1、巻紙1		1920	310	藤沢南岳死去、会葬に來し際三崎氏より特に貴下に対し配慮御願
29-1	大久保春野	書簡	封筒1、巻紙1		[1911?]	331	今朝尚疲労回復せず、食欲進まず
29-2	大久保春野	書簡	封筒1、便箋1		[1911?]	517	昨今脈搏体温普通、気分も爽快
29-3	大久保春野	書簡	封筒1、巻紙1		1911	1108	老生の容体御心配下さり感謝。平井院長より養生の話あり
76-186	大沢謙二	書簡	封筒1、便箋1	○	1926	1010	当院産婦人科掛主任橋爪氏御病気のため退職の場合には高楠栄を御採用被下度
76-416	大島盛一	書簡	封筒1、便箋1、印刷物3	○	1941	611	(1)『日本医学及健康保険』より「日本医学独立への世論」抜刷。東京医事新誌が惜しまれている。／(2)『日本医学及健康保険』より大島盛一「石黒忠恵先生と東京医事新誌＝日本医学―谷中天王寺墓前に哭す」抜刷。／(3)大島盛一書簡：日本医学を独立国際的權威ある雑誌に復興致し度。稲田龍吉、長与又郎
76-453	大島盛一	書簡	封筒1、便箋2	○	1941	703	小池[小池正直]男爵伝の読後感を七月五日号誌上に登載。昨年七月に行われたる東京医事新誌と健康保健誌の合同は根本的に無理。小誌は陸軍軍医団首脳者の指導と支援によって出世。三木[三木良英]局長を動かし警視庁検閲課長に対し科学振興のために日本医学を独立さす様指令を発し給はらば易々たる事。
76-415	大島盛一	書簡	封筒1、便箋2	○	1941	808	本日日本出版協会に呼び出され同会に於て日本医学徒健康保険医報の分離独立を合理的に解決して呉れることに。先生と三木[三木良英]中將に感謝
76-454	大島盛一	書簡	封筒1、用紙2	○	1941	1219	今回医学会の世論と関係当局の理解ある斡旋により近く日本出版文化協会の手にて合理的解決して本来の面目に復帰
76-455	大島盛一	書簡	封筒1、便箋2、印刷物1	○	1942	210	左の三項御願。一、日本医学横書きの題字、二、日本医学縦書きの題字、三、祝日本医学独立(皇紀二千六百年二月十一日)
76-359	大西亀次郎	書簡	封筒1、巻紙2	○	1911	117	北満のペスト益々蔓延。病院に於いても捕鼠殺鼠方法を講ぜられたく野戦消毒者等も不具合なき様消毒薬の不足なき様。小生の旅行も繰り上げ二三日には帰龍し御相談
76-358	大西亀次郎	書簡	封筒1、巻紙1、整理メモ1	○	[1913?]	603	昨日参謀長は総督に面会、総督自身の御巡視のことはまだ内定していない様、就いては貴官満洲学会行きは御決行のことに取り極められたし。演題等を藤田医学会会長へ御報告相成りたく医院よりは渡辺医官出張
39-7	大西亀次郎	書簡	封筒1、巻紙1	○	1914	1123	河野中佐、立花[立花小一郎]中將。研究所移管問題
76-27	大町文興	書簡	封筒1、巻紙1		1919	405	上京の節の御懇情鳴謝
76-218	大屋音市	書簡	[封筒無]、巻紙1	○	[1922-1927?]	805	赤十字社病院での訓育感謝。無事台東に帰任。仰せの脚氣調査の件今少し手入れ致し度。絵図に「生蕃ノ弱虫!!!」
76-457	大屋音市	書簡	封筒1、巻紙1		1935	513	
35	大屋権平	書簡	封筒1、巻紙1		1917	408	小城技師、福岡病院に入院に決定
76-347	岡田国太郎	書簡	封筒1、巻紙1		[年不明]	109	
76-134	緒方規雄	書簡	封筒1、郵便紙1		1936	814	
76-23	岡本隆一	書簡	封筒1、巻紙1		[年月日不明]		
41	奥保鞆	書簡	封筒1、巻紙1		[1921-1927?]	419	
76-390	押田草子	書簡	封筒1、便箋5		1936	707	
76-353	落合泰蔵	書簡	封筒1、巻紙1		[1901-1904?]	510	日本赤十字社で準備委員を今般組織し戦時に対する人員に関して決議する方針
76-354	落合泰蔵	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1903?]	710	清国公使館付となり衛生記事編纂が頓挫すること残念

76-352	落合泰蔵	書簡	封筒1、巻紙1、罫紙2	○	1918	305	釜山の農商務省所管牛疫血清製造所を不日総督府所管に移管せらるる趣、移管の上は家畜伝染病研究所とか獣疫血清製造所とかに名称を改めるかと想像、現に京城にある痘苗製造所も併合せらるる説もあり。釜山の牛疫血清製造所の職員。小生が御願いするのは東京帝大農科大学卒業の野中鼎、今回増加せらるる技師に採用相成れば本人の仕合わせ（別紙）野中鼎履歴書
76-351	落合泰蔵	書簡	封筒1、巻紙1		1918	324	事情御漏らし下され感謝。本人の方へ注意致すべく考居候。
76-220	落合泰蔵	書簡	封筒1、巻紙1		1921	1208	入院見舞の御礼
72-4	落合為誠	書簡	封筒1、巻紙1		1928	408	
76-494	女川	書簡	[封筒無]、巻紙1		1919	707	閣下御重篤の症御快復に向かわれ候由
30	尾野実信	書簡	封筒1、巻紙1		1912	607	先般車上で久し振りの会遇。其後別状無く経過致し候間時々声枯れ注意を怠らず。特命検閲にて大多忙
77-9	小畑忠	書簡	封筒1、便箋3		1938	803	過般旭川に御渡来
77-23	小畑勇吉	書簡	封筒1、巻紙1		1935	1125	小畑忠の宮内省就職依頼
77-10	小畑勇吉	書簡	封筒1、便箋3		1936	129	忠就職への配慮御礼
77-22	小畑勇吉	書簡	封筒1、巻紙1		1937	403	御令嬢披露宴
77-8	小畑勇吉	書簡	封筒1、便箋2		[1940年代以降?]	901	子馬恵送御礼。葉山
66-2	小原新三	書簡	封筒1、巻紙1		1911	1227	医学博士学位を得られたこと悦び申候。小生宿病につき御高配御礼
66-1	小原新三	書簡	封筒1、便箋4		1916	211	いつぞやは汽車中失礼、その折御話の「疫病ニ及ボス精神ノ影響」御高示を忝ふし得心。高説に敬服。小生小児の頃懇ろにしおり名医あり（児玉伯、伊藤公等もかかりおられ候）貴翰を読みてこの名医を思い出づること少なからず。しかれども学校でのお医者様（貴兄は別物）は「診断=処方」の外殆ど患者に訓する所なし。何時も総督府医院あたりのお医者様に面と向かって悪態
66-4	小原新三	書簡	洋封筒1、便箋1		1917	206	一昨日京城発今朝門司着直ちに福岡大学に宮入[宮入慶之助]博士を尋ね同氏の紹介により武谷満[カ]氏の診断を受け候処見立て通り脚気は非認。その他御診察と全て一致
76-387	小原新三	書簡	封筒1、巻紙1		1920	309	小生三月三日に本県に赴任、当県赤十字支部にも病院有之、朝鮮総督府医院や衛戍病院と比較にはならぬも前島淳一郎博士院長として内科婦人科眼科耳鼻咽喉科等の分科あり
66-3	小原新三	その他	用紙1		1926	1200	新三、健康、日夕読書、筆硯に親しみ、時々俳句、謡曲。妻六子、養子亨吉郎。一女尚恵は昨春法学士石川清深氏に嫁し、朝鮮鎮南浦に居住
76-9	恩知与策	書簡	封筒1、巻紙2	○	1906	1231	当地[朝鮮咸興]は咸鏡南道觀察府のある小城府で市街甚だ不潔。病院は半永久のバラック七棟らなり一通り病院としての設備出来居候。職員は凡て韓人家屋に韓人と雑居。当地は熱病絶えることなく軍隊間にも腸チフス患者比較的多数、その他夏期には脚気マラリア赤痢大流行。慢性赤痢患者の便中にアメーバを発見。本日送付の標品は扁平コンヂローム患者のリンパ液より染色、製造。/[年月不明]19日付巻紙1枚も同封、巻紙の前部欠：標品について。
76-30	恩知与策	書簡	封筒1、巻紙1		1916	605	組織を適當の大きさに切り10%ホルマリン液中に投ずること5-24時間で適當な硬度を得る、これをグリセリン液中に移し6-48時間放置す
76-244	香川久治郎	書簡	封筒1、便箋1		[1923?]	1027	
76-243	香川久治郎	書簡	封筒1、巻紙1		1931	1018	
76-129	柿沼昊作	書簡	洋封筒1、便箋2		[1938-1945?]	319	
76-108	陰山栄	書簡	封筒1、巻紙1		1935	1124	

76-81	陰山栄	書簡	封筒1、巻紙1		1939	618	
76-83	陰山栄	書簡	封筒1、便箋2、用紙1		1939	820	篆刻印につき
76-84	陰山栄	書簡	封筒1、巻紙1		1939	1003	揮毫、掛け軸の御礼につき
76-341	賀古鶴所	書簡	封筒1、巻紙1	○	1918	219	朝鮮医報の恵送に感謝、貴著「日本朝鮮及独逸国の人口動態統計」拝見。為政者は宜しく一読すべき。
76-222	賀古鶴所	書簡	封筒1、巻紙1		1922	706	
6-3	河西健次	書簡	封筒1、巻紙1		1903	911	
76-148	河西健次	書簡	封筒1、巻紙1		1914	818	手術奏功の様子御同慶
76-191	笠原光興	書簡	封筒1、巻紙1		[1911-1912?]	626	寺内[寺内正毅]総督閣下は軽度の腸カタル
76-192	笠原光興	書簡	封筒1、巻紙1		[1912?]	929	親戚の法学士市川重雄今般貴地に赴任早々気管支炎、御診察依頼
76-315	梶井貞吉	書簡	封筒1、便箋1、紐1		[1922-1927?]	614	大臣閣下令夫人御見舞に感謝
76-21	梶井恒	書簡	封筒1、巻紙1		1898	1119	
76-141	柏戸留吉	書簡	封筒1、巻紙1		1912	924	軍医正時代以降今日まで御高風の薫化を受けたこと追懐。当校[千葉歯学専門学校]にて診断学医化学を担当することとなり
77-20	加藤欽治	書簡	封筒1、巻紙1		1928	930	御尊父様遺稟御恵贈に感謝
76-194	加藤豊治郎	書簡	封筒1、便箋2		1927	1023	
76-261	加藤好照	書簡	封筒1、巻紙1		1897	1018	
76-225	加藤好照	書簡	封筒1、巻紙1、整理メモ1、紐1		[1899?]	1216	青山先生[青山胤通]
76-232	賀屋隆吉	書簡	封筒1、巻紙2	○	1903	211	此度の印度行は御手柄。小生洋行の一件、若林[若林虎吾]氏の好意にて金も調ふ様なり。当大学は最早総説の時期は過ぎ内科にて官費洋行は困難。従来教授会議にて文部省に出せし洋行候補者の順序は加門氏の次が小生ならん故今度は此方へ回る事と存じ文部省へ中西氏より聞き合わせ貰いし処Klinikeの方は中々難しき様子。京都[帝大]は内科三講座あれども小生帰朝後も第三講座は開かざるべし故に小生は帰朝後は従来如く兼任の筈で中西[中西亀太郎]および武藤[カ]三原の内一人が院長を致し呉れる筈。(別紙)急に母より大不賛成説を發し借金をする事を罪惡の如き考えで諭すので子として是を断行し難く遂に中止
76-233	賀屋隆吉	書簡	封筒1、巻紙1	○	1903	713	御転任の由貴君の学者と云う見地よりして寧ろ此れを喜ばれざる様子だが小生は大分考えが異なり居候。勿論一生公使館附医官にては致し方なけれど只一二年此の位置をやめらるる事の将来に影響する点は実に多大。小生の方は小生を留学生に推薦するよう総長に申し出、総長も予て治療に熱心なるを以て此の手より文部省に迫る。小生が自費洋行の企てに反対せし母の意見は今さらながら急所。
76-265	賀屋隆吉	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1905-1906?]	[月日不明]	御送り下さった貴著拝読、感嘆、特に日露戦争に係る事故欧州学者にも反響有之と存候

76-251	賀屋隆吉	書簡	洋封筒1、便箋7	○	1908	1206	(1)1908年11月30日：英語は進歩せぬ、未だ講義がよく分からぬ、ヒポッタの方が少し上手なり。ヒポッタが食事に來るので話しに花が咲く事も少なくない、独逸人はお国自慢が強い。夫人に付き無月収でバイブルのレッスンを取り発音も直して貰い説明も聞いて居る。野村(高木の病院の副院長とかの由)英国留学中一週間で死亡(2)1908年12月6日：先生の選択は難しい、モールゲンロートはエーリヒやワッセルマンよりも話しがしよい、然し先生の観点に知識が偏っている、日本を出るとき三浦謹先生に先生大いにexperimental physiologieを遣るとよいと云うてすすめたが中々道理ある詞。君は此の方面を少しやったらどうだ。犬や猫は日本に何頭でも居るから安価に試験が出来るだろう、機械一点は軍医学校で充分購入できるかどうかと思うけれども森[森林太郎]先生は学問熱心だから少々事はいけるだろう
76-250	賀屋隆吉	書簡	洋封筒1、便箋2	○	1909	307	スクールブートの一件面白し。小生の方はモールゲンロート相変わらずの遷延。倫敦の方では化学の方には金が掛かって困り候。犬を今日迄一四五疋用いた。スターリングとの仕事は動物につき色々なoperationをしており有益、巴里ではラゼリンの処へ行く考えなり
76-268	賀屋隆吉	書簡	封筒1、巻紙1	○	1912	1201	年内に総論だけ送る約束に候、百頁位となるべし。総論で尤も力を入れたるは結核で鶴家氏と共著にする考え。来年早々ゼクレチンのArbeitがJournal of Physiologyに出る。漸次内科教室の研究室が具体的になり来たる事楽しみ、病室つき特別Kucheもつくり料理米飯等患者一人一人につくる事とし看護婦二人に之を掌らしめ主任助手監督の許に一切蒸気仕掛けにて料理出来候。糖尿病患者多数入院させて実験致候。本年卒業生は優等なる者殆ど上より内科へ来たり。Vorlesungは荒木君の許にてやらせ得る事実に仕合わせ
76-266	賀屋隆吉	書簡	封筒1、巻紙1	○	1914	621	第一の方面より見て君将来の為には臨床家として内科部長担任は至極宜しいが其他に於て茲数年間に他の適当なる位置生ずるや否やは疑問。第二の方面より見れば此の際森安[森安連吉]の跡引受は面白からざる事あり。今一つは内科部長(或は院長)と云ふ位置が君に必適なりや否やも疑問。政友会が政権をとる事となれば朝鮮総督府の行政に変化無しとも限るまい。万止むを得ざれば陸軍に止まって居ても左程悪くはあるまい。軍医学校赤十字等陸軍出身者を要する処に入れる人は一寸見渡して外に余りなき様なれば此方も絶望するには及ぶまい。青山胤通、森林太郎
76-235	賀屋隆吉	書簡	封筒1、巻紙1	○	1915	1124	小生も来年五月で勇退、辞職後は京都市にて開業。従来の如き内科の多頭主義は徒に責任統一の困難を生ずる。中西君[中西亀太郎]の如き公平にして外部に威望のある人を若手の上立たしめ命令一途に出れば京都大学内科の進歩に資する事も多かるべし
76-234	賀屋隆吉	書簡	封筒1、巻紙1		1917	613	松井氏の手を経て結構なる朝鮮焼き賜り感謝。今回帝室技芸委員となりたる諏訪蘇山と心安く候
76-227	賀屋隆吉	書簡	封筒1、巻紙1	○	1918	830	朝鮮総督府院長の職を受くべきや否についての意見。貴下就任となれば随分厄介なる関係を起さすべく存候。強いて小生より意見を纏むれば先ず貴君の憶ふ事杞憂を当事者に述べて辞退の態度及決心を執り其上で君の就任を必要とする場合に他の人も之を了解しうる事と存候
76-231	賀屋隆吉	書簡	封筒1、巻紙1	○	1920	227	予て御希望の通り医学を以て終始する位置を得られ御満足の事と奉存候。赤十字社病院は随分正しき情実の府と承り居候間今後は御骨折り。civilの病院にては威圧よりも心服が肝心

76-236	賀屋隆吉	書簡	封筒1、巻紙1		1921	731	長男は第六高等学校医科二年生、次男は高等学校入学試験に失敗(法科)、三男は中学三年、四男は小学生。長女は吉本と云う医学士に嫁した
76-461	賀屋隆吉	書簡	封筒1、巻紙1		1925	901	本日若林[若林虎吾]氏より来状、御子息今春御死去の由
76-264	賀屋隆吉	書簡	封筒1、巻紙1、整理メモ1、紐1		1934	409	昨年皇太子殿下[明仁]の御誕生此上なき御慶事。小生今回の病気を好機会として断然医業を廃する考。
76-230	賀屋隆吉	書簡	封筒1、便箋2		1936	829	御子息の件
76-229	賀屋隆吉	書簡	封筒1、便箋3		[1936?]	916	御子息御光来何のお構も不出来失礼仕り候
76-228	賀屋隆吉	書簡	封筒1、便箋2		1938	102	
76-267	賀屋隆吉	書簡	封筒1、便箋6		1943	927	久しぶりの御書簡なつかしく拝領。息子戦死。中西[中西亀太郎]君も逝去、子供に先立たれ気の毒
76-79	軽部久喜	書簡	封筒1、便箋1		1940	226	
76-321	川岡守三	書簡	[封筒無]、巻紙1		[年不明]	715	大谷薬剤官就職
76-147	川上元治郎	書簡	封筒1、巻紙1		1896	727	
76-70	川崎力雄	書簡	封筒1、便箋3		1923	314	
3	川島浪速	書簡	封筒1、巻紙1	○	[1904?]	227	肅親王
76-469	川添諦信	書簡	封筒1、巻紙1		1934	313	
76-69	神崎三益	書簡	封筒1、便箋6		1936	322	
76-476	簡野松太郎	書簡	封筒1、用紙13	○	1923	127	(1)「公使館医官ノ要否」(1923年1月25日。謄写紙4枚):支那に於ける医事教育により間接的に母国に貢献、交民衛生試験所、東中將はロックフェラーでの研究を勧めた、巖智鐘京師伝染病院長。/(2)「公使館医官現在業務(公務並専門方面)」(1923年1月25日。謄写紙6枚):中央防疫処、中日薬学会、交民衛生試験所。/(3)交民衛生試験所「大正十一年度下半期決算報告 交民衛生試験所」(謄写紙2枚)。/(4)交民衛生試験所「検査ワクシン頒布物量 委託者別月別一覧表 交民衛生試験所」(謄写紙1枚)。
76-35	神林浩	書簡	封筒1、巻紙1		1940	317	
76-452	神林浩	書簡	封筒1、巻紙1		1943	627	
76-472	菊池盛文	書簡	封筒1、巻紙1		[1898?]	311	病院長会議
76-92	北島多一	書簡	封筒1、巻紙1		1940	1114	叙勲祝辞の御礼につき
76-22	北村徐雲	葉書	葉書1		1903	715	御栄転大賀
76-330	北村徐雲	書簡	[封筒無]、巻紙1		[-1911?]	415	細菌学的検査の結果チフス菌
76-120	木下正中	書簡	封筒1、巻紙1		[1886?]	1010	
76-121	木下正中	書簡	封筒1、便箋2		1914	1112	過般御話しの件直ちに平井[平井政造]赤十字病院長にも申し上げ
76-269	木村徳衛	書簡	封筒1、便箋1		1932	521	
26	金允植	書簡	封筒1、巻紙1		1917	730	故人之面感謝无量
76-112	久慈直太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1928	121	
76-388	工藤壮平	書簡	封筒1、巻紙1		1921	925	肅親王、山県伊三郎
77-12	工藤壮平	書簡	封筒1、巻紙1		1923	705	
76-503	宮内省知友へ記念品礼状	書簡	封筒1、巻紙1		1937	1000	侍医寮退官に付橋本関雪画伯筆秋郊放馬の画幅御惠贈
76-486	久保武	書簡	[封筒無]、巻紙1、袋1		[1919?]	606	御病気にて衛戍病院に御入院の由驚入候
72-6	窪田静太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1929	114	娘の妊娠で久慈院長[久慈直太郎]に御紹介感謝
76-168	熊谷幸之輔	書簡	封筒1、巻紙2		1916	403	適當の奉職口に周旋被下様御願申上候。小倉金作履歴書も同封。
76-189	隈川宗雄	書簡	封筒1、巻紙1		1911	1002	本日の教授会で貴学位論文の審査報告あり大多数を以て確定

40-2	倉富勇三郎	書簡	封筒1、巻紙1		1930	605	早速御処方御送り感謝
40-1	倉富勇三郎	書簡	封筒1、巻紙1、整理メモ1		1930	620	妻の不養生につき詳細御申越被下感謝。本月六日より錠剤服用
40-5	倉富勇三郎	書簡	封筒1、巻紙1		1931	528	早速御処方箋御送り感謝
40-3	倉富勇三郎	書簡	封筒1、巻紙1		[1928-1931?]	512	御来診に感謝
40-4	倉富勇三郎	書簡	封筒1、巻紙1		1937	424	先年拝眉の節時期を得て御退官被成度御希望は承知候。先般御素志貫徹宮中顧問官御拝官とのこと承知。御勇退は誠に好時期にて御本懐この上なきことに奉存候
76-162	呉建	書簡	封筒1、巻紙1、写真1		1919	625	御送りの脈波写真を分析
76-161	呉秀三	書簡	封筒1、便箋1		1930	1223	先夜は祝宴の席上御依頼申し上げ失礼
58-3	黒井悌次郎	書簡	封筒1、巻紙1		1920	908	
58-2	黒井悌次郎	書簡	封筒1、巻紙1、用紙1		1925	222	
58-1	黒井悌次郎	書簡	封筒1、用紙1		1936	1205	
77-30	黒柳勲	書簡	封筒1、巻紙1		1929	308	
76-273	桂閨男児	書簡	[封筒無]、巻紙1		[年不明]	203	此頃は土地にも慣れ糞尿だらけの国にありても格別糞を糞とも思わず屁を屁とも思わず大いに韓化して即ち韓通になり、韓語は勿論此国の情歌位は頗る鮮やかに囀る事を得、韓人は余を称してヲエビチヤン(男色)と云う
76-422	小池正晃	書簡	封筒1、巻紙1		1919	314	母も一昨日より離床元気に有之候。在鮮中の御礼重ねて申上候。渡辺八千代氏(渡辺一等軍医夫人)及びその母より順子宛電話にて昨年来度々閣下へ文通仕候もお返事なくまた開封もせず帰り来り面喰い居候
76-456	小池正晃	書簡	封筒1、巻紙1		1935	513	勲一等御叙勲の祝い
76-427	小池正晃	書簡	[封筒無]、巻紙1		[年月不明]	20	会葬参列に感謝
74-12	小池正直	書簡	封筒1、巻紙1	○	1904	426	二七八年役戦時衛生事績編集事業、内科の方は頗る進捗
74-20	小池正直	書簡	封筒1、巻紙1	○	1905	628	スコールブート病及び脚気の研究大いに進捗の由。成効候はば世界に名誉を輝し得る可愉快の極。右研究につき平井院長[平井政道]は非常の同情と親切
74-10	小池正直	書簡	封筒1、巻紙1	○	1906	411	豚児の病症見舞下さり一同安心。貴官熊本と小倉に出張の事に取計、熊本には脳脊髄膜炎年中絶たず、小倉はチフス流行し本年冬猖獗、詳細御視察相成度
74-2	小池正直	葉書	葉書1、紐1	○	1906	412	第6師団長軍医部長入院治療中につき御診察被下度。熊本小倉陸軍病院にて整理上についても視察相成度。報告は総て御帰京後に
74-1	小池正直	その他	電報用紙1、整理メモ1、紐1	○	1906	412	貴官、熊本と小倉へ出張命ぜらる
74-11	小池正直	書簡	封筒1、巻紙1	○	[1906?]	422	一、正晃[小池正晃]回復後の衰弱弱引く其間勉学不可とせば帰郷せしめ両親の側にて休養、其地に留まることとならば将来の撰養生活等詳細訓示されたし。二、正晃病気で世話を受けた人の年齢や妻子の有無承知致たく候
74-9	小池正直	書簡	封筒1、便箋2、罫紙4	○	1906	800	「沙祿可博士神経病臨床講義序」「沙翁講義録序」「沙氏講義録訳成記感」[いづれも佐藤恒丸執筆と思われる]
74-7	小池正直	書簡	[封筒無]、巻紙1	○	[1907?]	404	御掛物三幅託送。客年十一月末今日迄貴家のために支出合計金三十八圓十四銭、銀行貯金は現在百七十五圓七十八銭
74-6	小池正直	書簡	[封筒無]、巻紙2	○	[1907?]	413	御掛地三幅は既に落手。浄次郎氏[カ]は転地後栄養大に恢復。昨十四日は老生父姉の三周忌。早く休職出願致度候も小生大臣次官等と相談の上候。



74-4	小池正直	書簡	[封筒無]、巻紙1	○	1908	103	旧臘二六日女子安産御母子とも経過佳良[1907.12二女佐藤邦子出産]。老生退隠後は東京を去りたし。本月中頃より相携えて豆相地方で静養。ルブネル衛生書及びキルヒネル軍事衛生書の最新刊あればレポートアッセルへ送致後下命下さりたし。
74-13	小池正直	書簡	封筒1、巻紙1	○	1909	828	御子様方感冒に襲われ令室苦心。岩淵[岩淵友次]氏、平井[平井政造]氏治療。ランプ・リボン・郵券帳・書肆の払い等御礼。御帰朝までに右の件御願。一、衛生方面の歩みと業績の年次報告(ドイツ語)、二、圧縮羽毛、三、体温計。衛生部門に「アンチドクターレン」跋扈致。局長[森林太郎]は逆戻の勢を増長候事遺憾
74-8	小池正直	書簡	[封筒無]、巻紙1	○	1910	105	アルトナに御転学ミュンヘンへ御遊学の由。宮坂岩田[岩田一]軍医正等より御聞及の通本年衛生部は妙な風に傾く。野心家の陰謀、平山弊長[平山増之助]に辞職を余儀なくせしめ次で軍医学校に及ばんと目論見
74-17	小池正直	書簡	封筒1、巻紙1	○	[1910?]	616	数日前森[森林太郎]医務局長に面会。貴官を朝鮮京城衛戍病院長(山田軍医正後任)に転じ度と。小生より情に於て忍びざるものありと意見
74-3	小池正直	書簡	[封筒無]、巻紙1	○	[1910?]	[700?]	衛生部の人物に他日衛生行政を主催すべき人物寥寥、長く韓国に留まること貴官前途のため頗る不利。御出発前青山氏[青山胤通]を訪ひ其節は何分頼む旨一言し置候方得策
74-19	小池正直	書簡	封筒1、巻紙1	○	1910	713	長男正晃此度瀬川順子と結婚
74-18	小池正直	書簡	封筒1、巻紙1、罫紙5	○	1910	819	(1)昨朝陸軍省に参り次官及森[森林太郎]局長と内談。大韓医院の改造案。第一は院長藤田[藤田嗣章]、副院長芳賀[芳賀栄次郎]博士、第一内科部長佐藤[佐藤恒丸]、第二内科部長森安[森安連吉]、第二は院長芳賀、副院長佐藤、内科部長森安。万一統監聴き入れずして第一、二案の実行するも内地の必要上佐藤は長く朝鮮に置かぬ積なりと局長明言。(2)1910.8.17 芳賀栄次郎書簡:貴下の任務は重大なる意味も含み居り。貴下に余り早く逃げられ小生も失望。一片の義憤は小生の胸中に往来
74-16	小池正直	書簡	封筒1、巻紙1、罫紙1	○	1910	826	去る十九日森[森林太郎]と相談。森の内心推測するに部内の邪魔になるものを大韓医院等に祭り込まんとする意向。大西亀次郎
74-14	小池正直	書簡	封筒1、巻紙1	○	1910	1011	大韓医院の方は全部御辞退の由敬服。大西[大西亀次郎]貴地軍医部長となりて赴任。御帰朝後は軍医学校の専属教官となるのは感服、しかるにいつまでも学校教官の御希望は不似合。順々に職を経由して衛生部全般の勤務に御精通相成候様希望
74-15	小池正直	書簡	封筒1、巻紙1	○	1911	1027	旧著鷄林医事、郵送。朝鮮医士著書は材料を支那の医籍に採りつつも自家の定見を立てたものも少なからず。許俊の東医宝鑑、康命君の済衆新編
74-5	小池正直	書簡	[封筒無]、巻紙1	○	[1912?]	408	手墨拝読、業務中の業績に敬服。小生は四十年末に退隠後学問上のことは放棄
76-342	小泉親彦	書簡	封筒1、巻紙1、整理メモ1		1928	1214	
76-39	小泉親彦	書簡	封筒1、巻紙1		1938	1210	
27	高義敬	書簡	[封筒無]、巻紙1	○	[1910-1919?]	915	御診察ノ結果御示被下御親切ノ段感謝。朴宗桓
76-370	合田平	書簡	封筒1、巻紙1		1931	517	
76-374	合田平	書簡	封筒1、巻紙1		1931	531	
76-322	合田平	書簡	[封筒無]、巻紙1		[年不明]	720	奥田二等軍医貴病院附と相成。同人は大正二年軍医学校内科専攻生
34	国分三亥	書簡	封筒1、便箋1		1924	410	揮毫への礼状
77-15	小坂武雄	書簡	封筒1、巻紙1		1933	1227	

16	児玉秀雄	書簡	封筒1、巻紙1		1916	629	令嬢は他に婚約整い残念
43	児玉秀雄	書簡	封筒1、便箋3		1924	1125	寺内毅雄病氣、当地腸チブス大流行
76-423	後藤七郎	書簡	封筒1、巻紙1		1919	421	今般凶らずも当大学教授兼任となり御祝辞頂き感謝
76-493	後藤七郎	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1919?]	624	閣下には発疹チブスで入院中の由驚入候
2	後藤新平	書簡	封筒1、巻紙1	○	[年不明]	225	
48-6	後藤瑞巖	書簡	封筒1、巻紙1	○	1920	320	阪谷男氏帰省中其の他で土曜会は開会されず、中心を失いたる今後運命如何。衛戍病院での講話
48-1	後藤瑞巖	書簡	封筒1、巻紙1	○	1920	604	過日東上の節鮮僧帯同御対面
48-5	後藤瑞巖	書簡	封筒1、巻紙1	○	1921	831	例の禪会は大野[大野豊四]中将栄転に際し新参謀長に申し送られ九月第一土曜に第一回を開く。衛戍病院の方廃止されたるには無之山田博士はじめ病院長も御趣旨は継続
48-2	後藤瑞巖	書簡	封筒1、巻紙1	○	1922	331	谷貝氏へ御照会痛み入る。五月六七日頃登場の予定本年は是非御訪問申上度。貴院看護婦に講話をとの仰
48-3	後藤瑞巖	書簡	封筒1、巻紙1	○	1923	530	過日東上、来訪の折他出致し居り恐縮
48-4	後藤瑞巖	書簡	封筒1、巻紙1	○	1923	907	関東大震災の安否うかがい、聖旨を奉戴して救護の御指揮をとっておられると察し申居候
76-12	小林有三	書簡	[封筒無]、巻紙1		[年不明]	1123	御句帖の礼状
77-3	小松緑	書簡	封筒1、巻紙1		1916	320	
76-344	菰田菊次	書簡	封筒1、巻紙1		1927	310	
76-187	小山龍徳	書簡	封筒1、巻紙1		[年不明]	922	愚弟田代正雄
76-25	西郷吉弥	書簡	封筒1、便箋1		1838	210	
77-4	西郷吉弥	書簡	封筒1、巻紙1		1897	805	
76-326	西郷吉弥	書簡	封筒1、巻紙1	○	1901	710	広島・姫路・基隆・台北經由で台南に帰着。賀屋、河西、松岡諸氏、山口君、菅中将一等軍医、花岡医学士、鈴木治通。基隆港にて蟻集し来るジャンク数十艘凡てチャンコロにて一人にて立乍ら二本のカイを巧みに操り[挿絵あり]。台北までの沿道は土人と豚との同棲奇観、台北城内は殆ど内地人、土人の商店が稀に見る処にして其他は人力車夫其の他の下級労働者。土人の巡査補。軍医部長に面会、台北医院の山口・肥田、永井医学士。澎湖島はチャン公の臭気に辟易し直ちに帰船、同島のみ尚ベスト。安平到着、竹を編んだ筏に乗り上陸[挿絵あり]→台南医院より築山委員長代理以下数名衛戍病院よりは毛利一等軍医総代として出迎え。台南病院官舎に落ち着く。台南は日本風新築家屋は少なきも古き壮大なる建築物に富み官衛兵營等皆之を利用。病院も壮大なる仏閣を応用。台南医院は高壮の地域を買収し新築工事一部(三棟)竣工は八月一日より移転の筈。医院長名義は永野医学士。築山揆一
76-492	西郷吉弥	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1919?]	621	御病氣の由驚入候
76-43	西郷吉弥	書簡	洋封筒1、便箋2		1933	131	
76-327	西郷吉弥	書簡	[封筒無]、巻紙1		[年不明]	424	一月十六日公文にて今後駐台の有無照会、可能ならば現前位置を継続致度
76-336	西郷吉義	書簡	[封筒無]、巻紙1		[年不明]	513	山口君送別会
42	斎藤実	書簡	封筒1、巻紙1	○	1920	812	洪水被害、南鮮各道は人畜に数百の被害あり道路狭量堤防の被害甚だしく復旧に時日を要する。気管支の故障有馬医官の診察。宇都宮[宇都宮太郎]大将胃潰瘍。コレラは慶尚南北道で益々猖獗
76-428	斎藤雄助	書簡	[封筒無]、巻紙1	○	[1913-1919?]	211	最早京城も大分永くなられ東京の空恋しからん。小生も当地着任既に六ヶ月。レプラ患者の件了承。疑似患者一名は細菌学的に陰性、遂に他病に決定。他の一名は陽性につきレプラと決定、除役の手續致候

46-6	阪本鈺之助	書簡	封筒1、巻紙1、名刺1		1920	819	
46-7	阪本鈺之助	書簡	封筒1、巻紙1		1921	1012	
46-5	阪本鈺之助	書簡	封筒1、巻紙1		1924	316	予備役編入は却て御都合よき事
46-3	阪本鈺之助	書簡	封筒1、巻紙1		1924	820	
46-2	阪本鈺之助	書簡	封筒1、巻紙1		1936	701	鮑の礼状
46-1	阪本鈺之助	書簡	封筒1、巻紙1		[1933-1936?]	602	薬剤員鷲津郁太郎、永井久一郎
46-4	阪本鈺之助	書簡	封筒1、巻紙1		[1934?]	324	過日披露宴
76-320	坂本武戌	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1912?]	703	進級祝詞に深謝。京城龍山も益発展之由。御地は春来雨多く漢江大降水の被害
76-319	坂本武戌	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1915?]	522	先般朝鮮人の衣食住及其他の衛生御高覧、賛辞を蒙り散顔に絶えず。閣下から村上氏へも御送願上候。当師団は目下特命検閲中にて多忙、検閲使は一戸中將、属員軍医正は高橋
76-159	佐々木政吉	書簡	封筒1、巻紙1		[年不明]	1022	御招待礼状
76-439	佐多愛彦	書簡	封筒1、用紙1		1930	420	京都御所拝観、修学院離宮
76-459	颯田琴次	書簡	封筒1、巻紙1		1935	[月不明] 12	勲一等叙勲祝賀
76-85	颯田琴次	書簡	封筒1、巻紙1		1940	410	
76-88	颯田琴次	書簡	封筒1、巻紙1		1941	909	「超可聴音」の訳語、音響学会用語委員会にて相談。
76-7	里村基三郎	書簡	封筒1、便箋2		1938	204	
76-87	実吉純郎	書簡	封筒1、便箋1		1940	618	
76-171	塩谷卓爾	書簡	封筒1、便箋2		1933	1003	
68-4	志賀潔	書簡	[封筒無]、罫紙2	○	[1911?]	907	小生の今回の報告は脚気は伝染病たるの証拠なしというに力を入れ諸君の報告とは重複も衝突もせぬよう簡略に致候。永登浦に於て非伝染病説を主張せし論点
68-1	志賀潔	書簡	封筒1、便箋6	○	1914	125	赤痢に関する講演感謝。朝鮮人が小児期に赤痢を経過している点がマラリアと同じ点殊に参考となる。ただし血清については意見が異なる。異型菌といえども本型菌同様重症。朝鮮も内地のように異型菌が流行するようになる
68-2	志賀潔	書簡	封筒1、巻紙1	○	1929	312	御長男潔君中央大学進学後病で御逝去、御愁傷
68-3	志賀潔	書簡	封筒1、便箋2	○	1933	1007	昨日の中央衛生会議の御尽力に感銘。平素育児及び小児栄養に関し抱懐し居りし考を吐露し得たるさまに溜飲。保健調査委員が余りに軽率に評議に決したるを自白したるは痛快事
76-38	篠尾明濟	書簡	封筒1、便箋3		1927	907	
76-430	篠田恭三	書簡	封筒1、便箋1、用紙1		1923	1114	震災後救療で御多忙のことと奉存候。先般申越の手洗消毒器の寸法送付/別紙「手洗鉢図」
77-14	司馬亨太郎	書簡	封筒1、便箋2		[1932-1936?]	1217	
76-259	渋川正男	書簡	封筒1、巻紙1		1897	1228	
76-197	島藺順次郎	書簡	封筒1、原稿用紙1		1923	423	脚気に関する仕事は臨時調査会に報告せるものは医海時報に。内科学雑誌、日新医学
76-68	島峰徹	書簡	洋封筒1、便箋1		[1931?]	813	パリでの万国歯科医学大会、ブダペストでの「万国口腔病学会」への参加
76-56	島峰徹	書簡	封筒1、巻紙1		1933	119	
76-169	島峰徹	書簡	封筒1、巻紙1		1943	711	銀製花瓶の御礼
77-2	下川兵次郎	書簡	封筒1、巻紙1		1933	525	歓待への礼状。先生の教育尊重の思し召しによることと感謝

76-451	下瀬謙太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1897	1031	
76-448	下瀬謙太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1898	328	前年軍医長会議にて四、五月頃中原忠に代わり富田下瀬の入学許可を得たるべしとの内命。風雲急にして軍医部長曰く下瀬は入学見合わせ
76-450	下瀬謙太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1898	601	
76-221	下瀬謙太郎	書簡	封筒1、便箋7		1907	808	
76-449	下瀬謙太郎	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1914?]	220	小池[小池正直]男爵閣下薨去
76-299	下瀬謙太郎	書簡	封筒1、罫紙2		1919	502	稲葉[稲葉良太郎]軍医正の悲報に対し弔詞を寄せられ感激。昨日は稲葉と同船せし桜井少佐・同室なりし遠山博士・郁三君等と会見、在仏中稲葉国生の起居・事件突発前後の実況詳悉。遺留品詳細検索したが「覚悟死」を認む材料発見せられず
76-333	下瀬謙太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1922	511	
76-406	下瀬謙太郎	書簡	封筒1、巻紙1、用紙1		[1921-1927?]	425	台北医院
76-19	下瀬謙太郎	書簡	封筒1、便箋2		1931	529	上海紀聞の如きもの「同仁」別冊御貴覧。御恵贈の貴著三種いずれも参考、長寿論については予て資料を集め居り
76-404	下瀬謙太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1934	515	
76-332	下瀬謙太郎	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1927-1936?]	930	「下瀬謙太郎 宮内省図書寮 拝観ノ礼状」
76-405	下瀬謙太郎	書簡	封筒1、便箋2		1940	1205	フランス医学展覧会、日赤博物館内
76-409	下瀬謙太郎	書簡	封筒1、巻紙1、印刷物1		1941	219	
76-407	下瀬謙太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1942	802	
76-408	下瀬謙太郎	書簡	封筒1、巻紙1		[1938-1945?]	326	「国語運動山幡氏ノ和製洋語ハ…」、「日本医学会総会…今回ノ医学図書及医学雑誌展覧ノ意義ハ…」
77-27	白井重任	書簡	封筒1、巻紙2		1917	501	当校(栃木県安蘇郡立佐野高等女学校)創立満十周年、記念式
76-410	末永代四郎	書簡	封筒1、巻紙1		1922	317	見舞状感謝。腸チフスの療養、三月十三日転地より帰隊。嘗て龍山に於て閣下御病中の態度に感銘、勉めて真似を致度と努力致し候も到底及ばず
76-389	鈴木須常	書簡	封筒1、巻紙1		1917	613	昨夜は突然なる御願ひ申上誠に失礼。御主人様早速にいらして下され誠に申訳も無之。※鈴木すずは鈴木穆の妻
76-357	鈴木	書簡	封筒1、巻紙1		1920	302	
76-196	須藤憲三	書簡	封筒1、便箋1		1931	330	
31-2	関屋貞三郎	書簡	封筒1、巻紙1		1917	518	御招待、参上できず
31-1	関屋貞三郎	書簡	封筒1、巻紙1		1917	1020	向井中将令嬢と総督府事務官田中直通君との婚約、御臨席を願度
31-3	関屋貞三郎	書簡	封筒1、巻紙1		[1917-1919?]	[月不明] 12	北鮮地方視察之内暑中御苦勞。学務課長弓削幸太郎君過般般貧血にて卒倒、御診察を願度、田中丸医学士
6-5	莊益衛	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1904?]	522	
6-4	莊益衛	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1905?]	129	旅順陥落祝
76-65	曾我祐元	書簡	封筒1、便箋6、整理メモ1、紐1		1923	229	
76-66	曾我祐元	書簡	封筒1、便箋1		1933	709	
76-74	曾我祐元	書簡	封筒1、便箋2		1936	529	
76-89	高洲謙一郎	書簡	封筒1、巻紙2		1937	819	佐藤恒丸の息子の就職につき
76-63	高田畊安	書簡	封筒1、巻紙1		1923	118	南湖院(東洋一のサナトリウム(結核療養所、茅ヶ崎))に来訪につき
76-361	高田忠良	書簡	封筒1、巻紙1		1934	114	侍医頭就任の祝詞

76-116	高橋信	書簡	封筒1、巻紙1		[1928-1936?]	729	東宮
76-226	高橋伝吾	書簡	封筒1、巻紙1		1916	329	
76-145	高村庄太郎	書簡	封筒1、便箋2		1930	414	佐藤恒丸訳『沙祿可博士神経病臨床講義』第二冊の寄贈、御礼
76-130	武居重厚	書簡	封筒1、便箋1		1929	415	血清検査、神経学
72-9	武内金平	書簡	封筒1、巻紙1		1924	602	先夜の御来訪
72-8	武内金平	書簡	封筒無、巻紙1		[1921-1927?]	114	老母入院中看護の御礼
76-5	武谷水城	書簡	封筒1、巻紙1、罫紙1		1904	1222	
76-362	武谷水城	書簡	封筒1、便箋1		1928	417	
76-160	田代義徳	書簡	封筒1、便箋1		1933	1010	
76-395	立花馨	書簡	封筒1、巻紙1		1940	1022	
28-4	立花小一郎	書簡	封筒1、巻紙1	○	[1912-1916?]	904	寝台消毒を早速御執行、御礼、会議にて早朝より晩方迄討論
28-3	立花小一郎	書簡	封筒1、巻紙1		1915	726	無事着京。銚子ついで酒匂に転地
28-2	立花小一郎	書簡	封筒1、巻紙1		[1915-1916?]	417	友枝氏の来診への礼状
28-1	立花小一郎	書簡	封筒1、巻紙1		[1916-1917?]	1121	警務総監部衛生課長板東[板東義雄]神経衰弱で別府へ静養、御一診を蒙度
28-5	立花小一郎	書簡	封筒1、巻紙1		1919	701	入院への見舞状
56-1	立花小一郎	書簡	封筒1、巻紙1		[1921-1922?]	910	娘華[カ]病気の為御懇篤なる診断感謝。当地朝鮮よりは余程寒き模様
56-3	立花小一郎	書簡	封筒1、巻紙1		[1920-1926?]	1105	この書携帯の本人[渡辺大尉]は知友妹婿、目下陸軍砲兵学校高射術研究のため学校教官として在職、肺部の故障により校医官の軍医正より退職を勧告。診察願う
56-2	立花小一郎	書簡	封筒1、巻紙1		1925	101	年賀挨拶。酒の方も宴会多く候得共遅くも九時には帰宅
14-1	田中義一	書簡	封筒1、巻紙1		1914	1227	白井の病氣に対する配慮感謝
14-2	田中義一	書簡	封筒1、巻紙1、罫紙1		1918	111	(1)1月11日付 田中義一書簡「尊著人口動態統計二関スル観察御恵贈」。(2)1918年1月11日付 関東都督府警務総長隈部親信[兎]朝鮮駐劄軍軍医部長医学博士佐藤恒丸殿「今般日本朝鮮及独逸ニ於ケル人口動態統計二関スル観察ト題スル貴著御寄贈被下難有」
72-10	田中義一	書簡	封筒1、巻紙1		[1920-1927?]	924	過日愚妻入院中の御高配感謝、昨日退院
76-55	田中幸一	書簡	封筒1、巻紙1		1933	224	
76-54	田中幸一	書簡	封筒1、巻紙1		1942	715	
76-394	棚橋源太郎	書簡	封筒1、便箋2		[1940?]	1015	「衛生日本回顧展」、「紀元二千六百年」
76-254	谷口吉太郎	書簡	封筒1、罫紙3		1897	518	南江堂と賀屋が会合して「フレイシエル」翻訳
76-253	谷口吉太郎	書簡	封筒1、巻紙1、整理メモ1、紐1		1897	617	
76-256	谷口吉太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1898	215	
76-255	谷口吉太郎	書簡	封筒1、罫紙2		1898	223	大学院入学までの間に台湾行を希望
76-257	谷口吉太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1898	331	
76-239	谷口吉太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1910	715	

76-240	谷口吉太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1929	127	
76-241	谷口吉太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1929	1109	
76-276	谷口吉太郎	書簡	[封筒無]、巻紙1		[年不明]	1109	
76-396	田村化三郎	書簡	封筒1、便箋3、整理メモ1、紐1		1903	1005	
76-29	田村俊次	書簡	封筒1、罫紙2		[年不明]	1122	外科医紹介の御礼、小生解職手続複雑、軍医部長
76-316	筑摩定三郎	書簡	封筒1、巻紙1		[1901-1902?]	1011	
76-436	千葉細菌学研究所	書簡	封筒1、用紙2		1919	616	(印刷物1)「押田氏人体用狂犬病予防薬剤使用書」、(印刷物2)「予防及治療剤品目表(大正七年九月改定)」/「診断剤品目表」「色素液及培養基類表」「検査物表」。
24-6	趙重応	書簡	封筒1、巻紙1		1915	128	御光臨感謝
24-1	趙重応	書簡	封筒1、巻紙1		1916	1228	年末挨拶。高麗磁器謹呈
24-5	趙重応	書簡	封筒1、巻紙1、用紙1	○	1916	1230	珍饌に感謝。用紙に「昌徳宮 李王殿下前吾児之拝診小生等深切感激」。
24-4	趙重応	書簡	封筒1、巻紙1		1918	728	暑中見舞。
24-3	趙重応	書簡	封筒1、巻紙1		1918	1230	閣下賤命恩人
24-2	趙重応	書簡	封筒1、巻紙1		1919	727	御病氣御全快を祝賀、倣周代古製純銀器 一基ほか謹呈
37-1	津軽英麿	書簡	封筒1、巻紙1		1910	1226	診察御礼、病状報告
37-2	津軽英麿	書簡	封筒1、巻紙1		[1910-1916?]	808	
76-215	都築甚之助	書簡	[封筒無]、巻紙1	○	1903	918	東洋第一の大都よりの旧知の音信に接し懐かしさの至り。貴官の帝国を代表して大官の間を往復せらるるより其の国威と共に貴名を挙げらるべきと信ず。身は熱帯の地に隔絶、二三等軍医と対立して分院長の位置を占め委任せらるる
76-443	堤元齡	書簡	[封筒無]、巻紙1		1919	500	御寄贈の額面十一個の受領証並びに予て御預り申置候書二枚を本日送付。なお額面は全部出来上がり不日経理部へ交渉し将校病室各室に掛け閣下の芳志を記念。
76-429	堤元齡	書簡	封筒1、巻紙1		1923	816	
77-28	鶴田賢次	書簡	封筒1、巻紙1		1906	1218	機械製作
76-301	鶴田禎次郎	書簡	封筒1、巻紙1、紐1	○	1919	1205	平井赤十字社病院長健康不勝趣を以て辞職申出。赤十字社長より後任者撰擇方依頼あり貴官を推薦致置候
76-207	鶴田禎次郎	書簡	封筒1、巻紙1		1920	1213	飯島茂
76-284	鶴田禎次郎	書簡	封筒1、巻紙1		[1920-1927?]	417	娘入院中の厚情に感謝
76-206	鶴田禎次郎	書簡	封筒1、巻紙1		[1921-1927?]	114	知人機関少将末次幸次郎氏の診察願ひ
76-367	鶴田禎次郎	書簡	封筒1、巻紙1		1931	517	
76-335	鶴田禎次郎	葉書	葉書1		1933	1118	
77-11	鉄門漕艇部	書簡	封筒1、用紙3		1954	201	(東京大学医学部)鉄門漕艇部先輩に寄付依頼
72-12	寺内寿一	書簡	封筒1、巻紙1		[1920-1926?]	1121	御高配に感謝
12-3	寺内正毅	書簡	封筒1、巻紙1	○	[1911-1915?]	1228	葡萄酒、反物を進呈

12-4	寺内正毅	書簡	封筒1、巻紙1	○	[1911-1916?]	421	先般来御配意御礼
12-1	寺内正毅	書簡	封筒1、巻紙1、整理メモ1、紐1	○	1919	819	御大患ニテ一時御重篤ニ有之候由。森安連吉、工藤壮平
12-2	寺内正毅	書簡	封筒1、巻紙1	○	1919	905	帰龍[龍山]後御容態如何、葡萄酒発送。山下英男
76-402	寺師義信	書簡	封筒1、巻紙1		[1921-1927?]	122	
76-33	寺師義信	書簡	封筒1、巻紙1		1939	801	
7-1	陶大均	その他	用紙1		[1903-1904?]	中歴24日	診療依頼
7-2	陶大均	その他	用紙1		[1903-1904?]	[月日不明]	診療依頼
7-3	陶大均	その他	用紙1		[1903-1904?]	[月日不明]	診療依頼
7-4	陶大均	その他	用紙1		[1903-1904?]	[月日不明]	診療依頼
76-195	遠山郁三	書簡	封筒1、便箋1		[1928-1931?]	1214	
76-167	遠山郁三	書簡	封筒1、便箋1		1943	222	遠路御光臨恐縮。立教大学も引退
76-489	徳岡熙敬	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1919?]	621	本日新聞にて般来御加療御入院中の報、発疹チフスの御模様驚入候
70-2	徳川国順	書簡	洋封筒1、便箋2		1922	1220	診察御礼
70-1	徳川国順	書簡	封筒1、巻紙1		[1920-1922?]	409	検査結果御報告御礼
69	徳川義親	書簡	封筒1、巻紙1		1931	622	
76-471	徳田仙吉	書簡	封筒1、便箋4		[1939?]	1204	
76-470	徳田仙吉	書簡	封筒1、便箋2		1940	116	
76-125	戸田正三	書簡	封筒1、便箋3		1935	725	コンクリートの害影響につき
76-124	戸田正三	書簡	封筒1、便箋1		1937	205	コンクリートの害影響につき
76-184	土肥慶蔵	書簡	封筒1、巻紙1		1926	303	日本赤十字社病院の看護婦に志望
76-183	土肥慶蔵	書簡	封筒1、巻紙1		1926	420	
76-182	土肥慶蔵	書簡	封筒1、巻紙1、罫紙1		1926	421	履歴書御届
76-181	土肥慶蔵	書簡	封筒1、巻紙1		[1920-1923?]	1231	佐竹男爵食道狭窄につきラジウム療法勧告。小生の経験では内臓癌に対するラジウム療法は間接的
76-178	土肥慶蔵	書簡	封筒1、巻紙1		1927	224	『シャルコウ講義録』二冊を贈呈の御礼
76-180	土肥慶蔵	書簡	封筒1、巻紙1		1929	831	
76-179	土肥慶蔵	書簡	封筒1、巻紙1		1929	1210	『錦山遺稿』贈呈の御礼
76-176	土肥慶蔵	書簡	封筒1、巻紙1		1930	928	
76-175	土肥慶蔵	書簡	封筒1、便箋2		1930	1003	
76-177	土肥慶蔵	書簡	封筒1、便箋2		1931	926	
76-185	土肥慶蔵、鈴木愛之助	書簡	洋封筒1、便箋1		[1920-1927?]	331	
76-24	富田忠太郎	書簡	封筒1、罫紙2		1900	1230	

76-17	鳥居百三	書簡	封筒1、罫紙1		1915	427	御話の赤痢予防液左記通本日発送。甲-伝染病研究所製造、甲-朝鮮駐劄軍軍医部請求にかかるもの
76-490	鳥居百三	書簡	[封筒無]、巻紙1		1919	615	御不例に驚入申候。快癒祈申上候
76-465	鳥居百三	書簡	封筒1、巻紙1		1925	422	
5	トルハウトオ[土爾扈特王]	書簡	封筒1、罫紙1		[1904?]	519	病状報告。軍医今晚診視もし病勢重大ならば入院療養。差出人に「土爾扈特王」
72-1	内藤久寛	書簡	封筒1、巻紙1		1926	1223	
76-73	長尾優	書簡	封筒1、巻紙1		1939	1222	
76-62	長尾優	書簡	封筒1、巻紙1		1940	1231	
76-350	中川十全	書簡	封筒1、巻紙1		1912	520	先般京城衛戍病院記念の小生写真ご請求下され感謝。現今随時検閲中、来月中旬より特命検閲
76-149	永坂周二	書簡	[封筒無]、巻紙1		[年不明]	1230	
76-213	中沢達三	書簡	封筒1、巻紙1		1942	1023	
76-258	中島襄吉	書簡	封筒1、罫紙2		1897	613	
76-426	長野文治	書簡	[封筒無]、巻紙1		[年不明]	1216	貴著及び岡野軍医の原著送付への礼状
76-242	中原徳太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1895	807	
76-237	中原	その他	[封筒無]、便箋1		[1907?]	124	伯林に到着。賀屋氏[賀屋隆吉力]
76-438	中村政一朗	書簡	封筒1、巻紙1		1938	508	
76-328	中村秀樹	書簡	封筒1、巻紙1、用紙1		1918	1225	
76-40	中村秀樹	書簡	封筒1、罫紙3		1937	420	
76-412	中村秀樹	書簡	封筒1、便箋5		1929	925	
76-411	中村秀樹	書簡	封筒1、巻紙1、便箋1		1933	530	
76-413	中村秀樹	書簡	封筒1、便箋3		1942	326	
76-398	中村秀樹	書簡	封筒1、罫紙3		1942	1216	
76-329	中村秀樹	書簡	封筒1、巻紙1		[年不明]	308	
76-417	中村緑野	書簡	封筒1、巻紙1	○	1918	401	近き将来第一師団軍医部長若しくは軍医学校長に閣下を迎える必要可相成。未だ局長閣下の意図伺っておらず小生の一存
76-418	中村緑野	書簡	封筒1、便箋1	○	[1919?]	415	過日の書簡に対し御内意御漏らし被下難有存上候。決して御意志は誤解致さず。閣下の事も多分御希望通り決まるべく被存候。若し内決せば大臣より総督の内意を確かめるはず。異動発表は五月中旬となるべく
76-324	中村緑野	書簡	封筒1、罫紙2	○	[1919?]	529	今般閣下東京御転任の件に付諸事御都合良く進捗。最後の手続として大臣より総督へ交渉致処総督は容易に承諾せられず、是れ自己の都合の為にならず、殖民地の為め優秀の人物を必要とすとの理由の下に在任を切望。市川堅太郎
76-286	中村緑野	書簡	封筒1、罫紙1		1919	1223	赤十字社附属病院長就職については前例により貴官よりも陸軍大臣宛願い出を要する次第
76-400	中村緑野	書簡	封筒1、便箋2		1941	914	藤田[藤田嗣章]翁伝記
76-90	中山政男	書簡	封筒1、便箋3		1940	105	
76-60	中山政男	書簡	封筒1、便箋2		1941	411	
76-300	中山森彦	書簡	封筒1、便箋1		1917	508	先年来関節リウマチスで先般辞職
76-44	中山森彦	書簡	洋封筒1、便箋1、用紙1		1927	1212	
21	奈良武次	書簡	封筒1、巻紙1		1921	228	全快の報告



51	奈良武次	書簡	封筒1、巻紙1		1933	503	
76-111	西川義方	書簡	[封筒無]、巻紙1		[年不明]	419	揮毫
76-37	西沢行蔵	書簡	封筒1、便箋3		1928	614	local Immunitatについては礮膿菌にて証明され疑いなし。本邦にて動物試験の実験は諸方面より出て就中赤痢菌について見るべき成績あり。人体に対する経口免疫の実地応用は赤痢について最も広く仏国及び其領土(熱帯)又露西亜方面に於て行はれているが然し腸チフス(パラチフス、コレラ)に対しては多くの応用例は無之。当研究所にて岡本学士の試みたるチフスの経口免疫は多大の菌量を用い僅かに免疫反応を呈せるに過ぎず
76-369-2	西沢行蔵	書簡	封筒1、巻紙1		[1931?]	518	
76-369-1	西沢行蔵	書簡	封筒1、便箋1		[1931?]	531	
76-174	西野忠次郎	書簡	封筒1、便箋1		1941	611	
76-13	西真男	書簡	封筒1、巻紙1		1916	1128	先月一八日より北州地方で行軍、三一日より西播東備作州で演習。長野医正補京都へ栄転
76-34	野崎藤三郎	書簡	封筒1、巻紙1		1939	718	
76-41	野崎藤三郎	書簡	封筒1、便箋2		1939	1122	
32	野田卯太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1915	705	立花中将の症状
72-7	野村龍太郎	書簡	封筒1、巻紙1		[1920-1927?]	407	赤十字社病院での治療御礼
76-502	野山忠幹	書簡	封筒1、巻紙1		1939	610	清史撃[攪の異体字力]
76-339	芳賀栄次郎	書簡	封筒1、巻紙1		1901	713	
76-340	芳賀栄次郎	書簡	封筒1、巻紙3		1902	1220	
76-216	芳賀栄次郎	書簡	封筒1、巻紙2	○	1907	1128	船中の御生活如何。小生並に鶴田[鶴田禎次郎]、本堂[本堂恒次郎]、戸塚[戸塚機知力]、中山[中山森彦力]諸兄の旧知なる普国軍医ドクトル・コワルクを紹介。彼れ目下スパンダウ衛戍病院長たり、何か御調になりたき時は御面会されては如何
76-337	芳賀栄次郎	書簡	封筒1、巻紙1		1910	1105	老兄の医院[大韓医院]に入るを断られたること凡人のできざる業なり。此の事大に人物を挙げられたると信じ候
76-338	芳賀栄次郎	書簡	封筒1、巻紙1		1919	825	近々御快方の義大慶
76-291	芳賀栄次郎	書簡	封筒1、巻紙1		1920	908	見舞感謝。貴院[赤十字社病院]再び最近研究室増設種々発展の模様誠に慶賀
76-378	芳賀栄次郎	書簡	封筒1、便箋2		[1931?]	517	
76-287	橋本盛十郎	書簡	封筒1、巻紙1、領収書1		1920	217	記念品拝受。馬島和爾両君の御話しによれば車中御嬢様発熱釜山以東の御行旅如何被為候哉。し久保局長、山田閣下。浄法寺[浄法寺五郎]閣下の嬢ジフテリアで総督府医院に入院したが逝去
76-203	橋本長俊	書簡	封筒1、便箋1		1916	1021	別邸本年落成御通過の際は御立寄被下度。欧州戦争の御所感我帝国将来各種の成行等如何
76-356	長谷川与一郎	書簡	封筒1、巻紙1		1920	217	京城中学校に御令息学業の件で昨日出頭。卒業見込書交付し難き由遺憾。四学年終了の証明書ならば交付せらるる由。他専門学校への入学も間に合う様卒業試験も繰り上げらるる由
13-2	長谷川好道	書簡	封筒1、巻紙1	○	1918	1212	流行性感冒猛威、軍隊でも感染を被り数名の死亡者、王世子殿下御婚儀
50-5	長谷川好道	書簡	封筒1、巻紙1		1921	1211	病状報告
13-1	長谷川好道	書簡	封筒1、巻紙1	○	[1920-1922?]	[月不明] 15	病状報告
50-3	長谷川好道	書簡	封筒1、巻紙1		1923	420	胃病

50-2	長谷川好道	書簡	封筒1、巻紙1		[1920-1923?]	1110	小水(検尿)
50-4	長谷川好道	書簡	封筒1、巻紙1		[1922-1923?]	630	病状報告
50-1	長谷川好道	書簡	封筒1、巻紙1		[1923-1924?]	125	検尿
76-164	秦佐八郎	書簡	封筒1、罫紙1		1919	505	昨年フランクフルトのスパイエルハウスより製出し数カ所の病院にて試用中なる Silber-Salvarsanについて臨床家の報告数度発表され、昨年のD.M.W No431に出でたる報告中に記載あるべし。御蔵書中に右等の内容あれば御貸し下され度
76-163	秦佐八郎	書簡	封筒1、便箋1		1919	515	早速御貸与下さり御厚情に感謝
76-107	秦佐八郎	書簡	封筒1、便箋2		1935	731	
71-5	蜂須賀正韶	書簡	封筒1、巻紙1		1924	129	宮中にて久しぶりにお目にかかり
71-4	蜂須賀正韶	書簡	封筒1、巻紙1		1924	526	
71-3	蜂須賀正韶	書簡	封筒1、巻紙1		1924	1125	
71-8	蜂須賀正韶	書簡	洋封筒1、葉書3		1929	115	
71-1	蜂須賀正韶	書簡	封筒1、巻紙1		1929	1130	
71-2	蜂須賀正韶	書簡	封筒1、巻紙1		1932	1028	
71-6	蜂須賀正韶	書簡	封筒1、巻紙1		1932	1121	
71-7	蜂須賀正韶	書簡	封筒1、巻紙1		1933	123	
76-109	八田善之進	書簡	封筒1、巻紙1		1930	903	
76-110	八田善之進	書簡	封筒1、巻紙1		1937	502	
4	服部宇之吉	書簡	封筒1、巻紙1	○	[年不明]	329	蔣式惺(御史、大学役員)
76-238	林川長兵衛	書簡	封筒1、巻紙1		1907	109	
76-272	林川長兵衛	書簡	封筒1、便箋1		1942	809	
15	林銑十郎	書簡	封筒1、巻紙1		1917	403	小官旧臘帰朝昨今当地で俘虜相手に勤務
77-29	林田是心	書簡	封筒1、便箋4、罫紙3		1922	530	赤十字社病院への転職希望。林田履歴書
76-118	林直助	書簡	封筒1、巻紙1		1929	611	
76-262	林春雄	書簡	封筒1、巻紙1		1897	1213	試問完了
76-487	林春雄	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1919?]	621	新聞紙上で散見、重患御入院御加療の由驚入
76-204	林春雄	書簡	封筒1、罫紙1		1920	225	御転任
77-21	原和雄、ひろ	書簡	封筒1、巻紙1		1929	308	無事帰着
76-32	原田豊	書簡	封筒1、巻紙1		1939	803	
76-20	半田久雄	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1898?]	1001	兼て御希望之通内科御専修に決まり大慶之至、当地御在職中の懇情に御礼
76-464	坂東儀八郎	書簡	封筒1、用紙1		1925	718	御令男塙三郎殿御逝去
76-219	肥田七郎	書簡	封筒1、巻紙1		1923	630	
67-5	日比野寛	書簡	封筒1、巻紙1		1903	512	
67-1	日比野寛	書簡	封筒1、巻紙1		1916	309	
67-2	日比野寛	書簡	封筒1、巻紙1		1925	410	
67-7	日比野寛	書簡	封筒1、巻紙1、印刷物2		1929	818	
67-8	日比野寛	書簡	封筒1、巻紙1		1931	919	
67-4	日比野寛	書簡	封筒1、巻紙1		1931	1216	
67-6	日比野寛	書簡	封筒1、巻紙1		1932	904	

67-9	日比野寛	書簡	封筒1、巻紙1		1933	1213	
67-10	日比野寛	書簡	封筒1、巻紙1		1934	130	
67-3	日比野寛	書簡	封筒1、巻紙1		1937	919	
76-4	平井政道	書簡	封筒1、罫紙1		[1904?]	821	豫て御依頼の脚気病調査は精密の御研究は困難、麦飯説
36-1	平井政道	書簡	封筒1、巻紙1		1913	1022	大学病院に入院、盲腸部の硬結で佐藤鶴田[鶴田禎次郎]の治療、自宅にて静養中
36-2	平井政道	書簡	封筒1、巻紙1		1915	606	寺内大将閣下御帰任前に一度拝見仕度
76-285	平井政道	書簡	封筒1、巻紙1		1916	1008	奉祝御栄転。遠山氏。寺内閣下大命拝受
36-3	平井政道	書簡	封筒1、罫紙3		1918	505	診察御礼、病状報告
76-379	平井政道	書簡	封筒1、巻紙1		1931	512	
76-477	平井政道	書簡	封筒1、巻紙1		[1933-1937?]	324	
76-363	平賀精次郎	書簡	封筒1、便箋2		1917	624	上京の際は御訪問感謝。相変わらず永井教授の下でつまらぬ仕事に興味を覚え居り候。西村翁萎縮胃、先月中旬発熱其curveは結核を疑わしめたるも理化学検査の結果は断ずるを得ず。大谷周庵氏にも診を乞う
59-6	平山成信	書簡	封筒1、巻紙1		1920	513	
59-4	平山成信	書簡	封筒1、巻紙1		1926	913	朝鮮在勤之高楠[高楠栄]医学士(婦人科之由)貴院へ転勤希望
59-1	平山成信	書簡	封筒1、巻紙2		[1920-1926?]	1027	産院建築之事宮内省は認可済
59-2	平山成信	書簡	封筒1、巻紙1、名刺1		[1921-1927?]	116	東京医学専門学校教授兼幹事川上為次郎紹介
59-5	平山成信	書簡	封筒1、巻紙1		[1921-1927?]	128	
59-3	平山成信	書簡	封筒無、巻紙1		[年不明]	825	九鬼男爵ヨリ別冊送付アリ
76-45	平山増之助	書簡	洋封筒1、便箋1	○	1908	416	コッホ博士
11-3	福島安正	書簡	封筒1、巻紙1		1903	102	病状経過につき報告
11-4	福島安正	書簡	封筒1、巻紙1		1903	112	病状経過につき報告
11-2	福島安正	書簡	封筒1、巻紙1		1903	304	病状経過につき報告、退院
11-5	福島安正	書簡	封筒1、巻紙1		1903	321	病状経過につき報告、小手術
11-1	福島安正	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1903?]	406	病状経過につき報告、創口全治
11-6	福島安正	書簡	封筒1、巻紙1、名刺1		1903	819	病状経過につき報告、軽井沢ニ転地
76-10	藤井善一	書簡	封筒1、巻紙1		1907	214	
76-211	藤井宏通	書簡	封筒1、巻紙1		1934	107	
76-146	富士川游	書簡	封筒1、巻紙1		1919	702	中外医事新報御送り下さり感謝。医海時報より御病気の趣拝承
77-5	藤田敬二	書簡	封筒1、巻紙1		1922	208	
75-4	藤田嗣章	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1911-1914?]	711	殖村君[カ]の事は動かすべからざる種々理由を付し下の方は確定し総督閣下の御承認相経候、直ちに帰郷、本人と申合で秘密に下された。園丁本六老人
75-2	藤田嗣章	書簡	封筒1、巻紙1		[1920?]	202	御栄転慶賀、該院[赤十字社病院]も万事弊害も少なからず
75-3	藤田嗣章	書簡	封筒1、巻紙1		1921	913	過般老妻御講話を仰ぎ手術も断念、御高諭の通り大発作もなく感謝

75-1	藤田嗣章	書簡	封筒1、巻紙1		1929	308	長男ご逝去の趣御愁傷
75-7	藤田嗣章	その他	用紙1、写真1	○	1929	1000	藤田嗣治帰国記念会招待状。嗣治一七年ぶりに帰朝。発起人に与謝野晶子、島崎藤村ほか。
75-5	藤田嗣章	葉書	葉書1		1937	101	謹賀新年
75-6	藤田嗣章	葉書	葉書1		1937	728	
76-157	藤浪鑑	書簡	洋封筒1、巻紙1		1897	116	ドイツ・ベルリンから佐藤恒丸の大学卒業および陸軍に就職の祝い
76-151	藤浪鑑	書簡	封筒1、便箋1		1901	711	
76-152	藤浪鑑	書簡	封筒1、巻紙1		1901	809	
76-156	藤浪鑑	葉書	郵便書簡1		1905	808	
76-154	藤浪鑑	書簡	封筒1、巻紙1		1924	526	
76-153	藤浪鑑	書簡	封筒1、巻紙1		1931	215	恙虫病研究につき記述あり
76-155	藤浪鑑	書簡	封筒1、便箋1		[1933-1936?]	910	錦山遺稿二御添附の石版摺恐入候へ共頂戴致し度
76-80	藤浪剛一	書簡	封筒1、巻紙2、用紙1		1940	209	
23-1	朴泳孝	書簡	封筒1、巻紙1	○	1910	919	
23-2	朴泳孝	書簡	封筒1、巻紙1		1911	121	招待
23-3	朴泳孝	書簡	封筒1、巻紙1		1911	129	東京行の無事を祈る
23-4	朴泳孝	書簡	封筒1、巻紙1		1911	416	揮毫
23-5	朴泳孝	書簡	封筒1、便箋1		1914	1229	指教紙案を二三週日後に
76-18	星野健太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1917	816	半日の御優遇を賜り有益なる御教訓
77-7	細田彥雄	書簡	封筒1、巻紙1		1935	620	
76-468	堀内孝之	書簡	封筒1、巻紙2		1930	1025	揮毫礼状
39-4	本田幸介	書簡	封筒1、巻紙1		1912	927	二七日御来場
39-5	本田幸介	書簡	封筒1、巻紙1		[1914?]	1126	在京城友人農学士小西文之進氏、高診を希上度
39-3	本田幸介	書簡	封筒1、巻紙1		1915	420	友人小西農学士に対し診察願い上げ洵に恐縮、当人快方に赴き候。当地東山農場主任中尾堯瞬氏も一度御高診を受けたし
39-6	本田幸介	書簡	封筒1、巻紙1		1915	907	総督御撰生上御注意に感謝。今後は林檎の如き糖分少なきもののみ時々差し出すことに
76-414	本堂恒次郎	書簡	洋封筒1、便箋1		1904	101	
76-348	本堂恒次郎	書簡	封筒1、巻紙1		1911	330	論文寄贈感謝
76-349	本堂恒次郎	書簡	封筒1、巻紙1		1913	211	遠山氏(第一高中学生)御初診の処小池[小池正直]男爵閣下の御依頼にて診察、症状は右肺炎カタル
76-46	前田松苗	書簡	封筒1、便箋8、用紙1、整理メモ1、紐1		1933	415	赤十字社病院次長会議の東京開催、イギリスの大学につき
76-53	前田松苗	書簡	封筒1、巻紙1		1933	421	
76-52	前田松苗	書簡	封筒1、便箋2		1933	423	
76-51	前田松苗	書簡	封筒1、巻紙1		1933	509	
76-49	前田松苗	書簡	封筒1、巻紙1		1933	702	
76-48	前田松苗	書簡	封筒1、便箋6、罫紙1		1933	709	修憲寮壁画、「光明皇后とナイチンゲール壁画の件」
76-47	前田松苗	書簡	封筒1、便箋7		1933	714	修憲寮壁画、「光明」皇后、ナイチンゲール
76-50	前田松苗	書簡	封筒1、便箋4		1933	904	修憲寮壁画、「[光明]皇后様ナイチンゲール像の件」

76-421	牧田太	書簡	封筒1、巻紙1		1919	413	先般は御来広の光栄。十二日高級医官会議、十三日軍医分団総会に出席。臨時脚気病調査会
76-495	牧田太	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1919?]	615	下瀬[下瀬謙太郎]軍医監の通信に接し貴兄には先日来発疹チフス、驚入候
76-365	牧田太	書簡	封筒1、巻紙1、袋1		1931	531	
76-419	馬島春海	書簡	封筒1、罫紙3		[1911-1916?]	320	「総督閣下検尿成績」
76-283	馬島春海	書簡	封筒1、巻紙1、整理メモ1、紐1		1920	306	御嬢様も御到着と同時に全快遊ばされ安心。十年御指導に預かり感謝
76-119	真下正太郎	書簡	封筒1、巻紙1、便箋1		1927	1114	
76-144	真下正太郎	書簡	封筒1、巻紙1		[1922-1927?]	1211	篆刻につき
57	松井石根	書簡	封筒1、巻紙1		[1920-1927?]	814	小生甥松井伸六が大谷光瑞氏に従い南洋に滞在中之処疾病之為め帰願療養方申出
6-2	松井慶四郎	書簡	封筒1、巻紙1		[1903?]	905	
72-5	松浦寅三郎	書簡	封筒1、便箋2		1930	906	
76-385	松岡弁	書簡	封筒1、便箋2		1934	628	
76-384	松岡弁	書簡	封筒1、便箋4		1935	308	
55-1	松川敏胤	書簡	封筒1、巻紙1		1925	221	当所に移居に際しては無礼御海容被下度。茅屋は至極閑静。仁田原大将如何なる症状にや
55-2	松川敏胤	書簡	封筒1、便箋2		1927	1231	待医頭御栄転祝い。御名誉と同時に責任重大。杉浦博士
76-166	松下禎二	書簡	封筒1、巻紙1		1917	609	過日御地へ罷越候砌御厚遇感謝
76-117	松永琢磨	書簡	封筒1、巻紙1		[1928-1936?]	622	
76-380	松村謹	書簡	封筒1、便箋3、紐1		1939	831	島根、待命
76-294	丸山忠治	書簡	封筒1、巻紙1		1919	411	御陰により進級の恩命。斎藤君の他界、痛恨。斎藤は朝篠山衛戍病院、長田野廣野廠舎を視察、福知山衛戍病院にて休息当時かなり苦しき様子、篠山衛戍病院長の診察
62	[満鉄大連病院]	書簡	洋封筒1、用紙5		1927	518	病院新築開院式。田中義一、阮振鐸(後の満州国駐日大使)荒木寅三郎(石井四郎岳父)同席。用紙は各々「満洲医科大学長招宴座序 昭和二年五月十八日於奉天松梅軒」、「説唱の梗概」、「MENU 晚餐献立 南満洲鉄道株式会社 社長 安広伴一郎」、「菜单(献立) 奉天松梅件 満洲医科大学長」、「菜单 昭和二年五月二十三日 大連医院一同」
76-435	三浦謹之助	書簡	封筒1、便箋1		1925	1219	山田[山田鉄蔵]会頭逝去に付き日本内科学会臨時総会を招集し会頭補欠選挙。貴下御当選。
76-214	三木良英	書簡	封筒1、便箋1		[1940?]	312	旭日大綬章への祝辞に対する礼状
76-447	三木良英	書簡	封筒1、巻紙1		[1937-1944?]	610	石黒[石黒忠憲]子爵閣下傳記之事。石碑建立に関する御意見
76-318	三河内諄一	書簡	封筒1、罫紙3		1913	803	お申越の海水浴場調査。山口県長門国長府、豊前伊瀬郡名護や浜、福岡県糟谷[糟屋]郡西戸崎、福岡市伊崎海水浴場、佐賀県西松浦郡唐津浴場、大分県別府浜脇海水浴、箱崎海水浴
76-293	三崎麟之助	書簡	封筒1、巻紙1		1919	1216	不日進級。小児教育の関係上大阪付近にて何かしらの業を求むべく考居候。御心に掛けられ御周旋下されれば幸い
76-334	三崎麟之助	書簡	封筒1、巻紙1		1925	610	

76-212	三崎麟之助	書簡	封筒1、巻紙1		1934	209	
76-466	三崎麟之助	書簡	封筒1、巻紙1		1934	924	
77-24	水谷千万吉	書簡	封筒1、巻紙1		1937	420	
18	水野鍊太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1920	113	
45	水野鍊太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1922	130	治療御礼
76-139	水原豊	書簡	封筒1、巻紙1		[1932-1936?]	1213	小著「新樹」別便にて送付
76-138	水原豊	書簡	封筒1、巻紙1		1934	115	皇太子誕生奉祝の和歌につき
76-59	光田健輔	書簡	封筒1、巻紙1	○	1931	902	三月二十九日に長島愛生園に転任し四国中国畿内の浮浪徘徊の徒を手始めとし全国に亘りて患者を收容、四百名定員を七月に超過、目下四百六十名を收容。本園の将来について御教示請う
61-3	光永星郎	書簡	封筒1、巻紙1		1923	207	
61-1	光永星郎	書簡	封筒1、巻紙1		1927	728	
61-2	光永星郎	書簡	封筒1、巻紙1		1940	1227	電通引退挨拶
76-106	宮川米次	書簡	封筒1、巻紙1		1935	830	
76-170	宮川米次	書簡	封筒1、巻紙1		1943	615	
76-193	三宅鉦一	書簡	封筒1、便箋1		[1925-1927?]	[月日不明]	精神鑑定につき
76-77	三宅鉦一	書簡	封筒1、便箋2		1935	112	
76-188	三宅速	書簡	封筒1、巻紙1、用紙2		1916	116	
76-173	宮島幹之助	書簡	封筒1、巻紙1		1941	527	山谷[山谷徳治郎]博士追悼会で御話しの故石黒[石黒忠憲]子爵の慶応医学部開校式での御演説早速調候処其要旨慶応医学部十年史に掲載有之、右書御手許迄差出候
76-302	宮本叔	書簡	封筒1、巻紙1		1916	620	愛知医専校長も辞任の決心の由後任者物色の様に候へ共適當の人を得ず先生[青山胤通]も心配致居られ候、貴兄に御就任御相談申上呉れ候との事
76-303	宮本叔	書簡	封筒1、巻紙1	○	1919	524	過日御申聞の件早速心当りに二三問合せ、皆躊躇候者のみ、なほ研究所の二木君[二木謙三]の方へも手紙を遣し頼み置きが同人の懸合中の人は目下駒込病院にあり、大正四年時の卒業。臨床的にて学術的にもよろし。独英仏西語に通じ外国語学校にて露語講習中。高木君
76-323	村井徳寿	書簡	[封筒無]、巻紙1		[-1916?]	707	
77-17	村上唯吉	書簡	封筒1、巻紙1		1915	607	治療に専心中。宇佐美[宇佐美勝夫]長官の勧告で自宅静養。先生よりの玉章拝受。坂本部長
76-270	村松学佑	書簡	封筒1、巻紙1、便箋2		1920	412	赤十字社山梨支部商議員として
76-271	村松学佑	書簡	封筒1、巻紙1		1920	1201	
76-127	村山達三	書簡	封筒1、便箋1		1925	609	
76-126	村山達三	書簡	封筒1、便箋1		1927	1010	伝染病研究
76-128	村山達三	書簡	封筒1、便箋2		1935	1007	
76-208	村山有	書簡	封筒1、巻紙2		1923	208	生井法務官。閣下には数年前朝鮮にて御高診を仰候
76-491	室谷脩太郎	書簡	[封筒無]、巻紙1		1919	624	漸次軽快の吉報に接し結構至極
76-401	室谷脩太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1926	303	
76-474	室谷脩太郎	書簡	封筒1、便箋1		1935	522	受勲祝い

63-4	持地六三郎	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1912-1919?]	515	東萊温泉で療養中、昨日より出勤
63-2	持地六三郎	書簡	封筒1、巻紙1		1917	610	過日は賀詞を賜り感謝、遂に今回の任命と相成、別紙御返納
63-5	持地六三郎	書簡	封筒1、巻紙1	○	1919	1209	当府改革後小生及国分[国分三亥]氏留任仕候処小生は後任決定と同時に辞表提出の事。今回国分氏法務局長兼任解任の同時に小生の方も発表。至急辞表提出致したく添付すべき診断書御認め御恵投下されまし
63-3	持地六三郎	書簡	封筒1、巻紙1		[1920?]	428	一二月末に辞表提出。逋信省部内より後任者選定と決し五月総選挙後に着京
63-1	持地六三郎	書簡	封筒1、巻紙1		1923	404	往年大患の見舞状深謝。今春一月末台湾へ赴き蕃地を視察三週間溪山跋涉、健康を回復
76-67	森田信雄	書簡	洋封筒1、便箋2		1920	416	佐藤恒丸が朝鮮から赤十字社に異動の件
33-2	守田福松	書簡	封筒1、便箋3	○	1910	818	『満蒙の関鑰法庫門』(満蒙商工彙報に連載)および『鎮西医報』送付。石黒忠篤閣下の御知遇。入院十六名今日迄に手術、蒙古人結核性関節炎、銃創性的大腿骨髓、肋骨骨折
33-1	守田福松	書簡	封筒1、便箋12	○	1918	1205	欧州戦争の教訓。英米二大勢力の発現せるは我らのために幸福なりや。英国植民発達史を見れば和蘭西班牙の植民地奪取の如くやはり兵力援護の下に欲望を達せるに過ぎず。強盗はやはり強盗。米のモンロー主義も都合にて如何様にも解釈せらるる、比律賓合わせキューバを取りハワイを収め帝国主義政策を進めながらモンロー主義の名の下に他国の容喙を防止する。西伯利亞のチェック援助は我軍に委ねその利権獲得を狙っている。徒に自己の勢威を濫用して弱者に臨むは慎むべき、満洲あたりの戦利亡者連の対鮮満人の態度は唾棄すべき。甚だしき無理を通して支那人を困らせた一二土地租借事件の紛争交渉の結果
49	守田福松	書簡	封筒1、便箋4		1920	421	熊本医専出身の馬場剛毅君採用依頼
76-252	守屋伍造	書簡	洋封筒1、便箋1	○	1903	215	小生はハイムウェー[Heimweh. ホームシック]と言われる程の事は無し。高橋先生、三浦先生、橋本左武郎、吉川工学士。独逸には医者に非ずして病人を治療せる事は法律上公許されてあるので其結果として不良の徒が詐欺手段で患者を欺く、此点は日本の方が取締が届いている
M1	森林太郎(森鷗外)	書簡	封筒1、巻紙1、袋1		[1903?]	608	
M2	森林太郎(森鷗外)	書簡	[封筒無]、便箋1		[1907?]	1212	上海よりの書状落手
M3	森林太郎(森鷗外)	書簡	[封筒無]、便箋1		[1908?]	311	脚気調査会勅令にて建設することほほ出来そう
M4	森林太郎(森鷗外)	書簡	[封筒無]、便箋1		[1908?]	427	脚気調査会。河西[河西健次]は満鉄に参候事決定
M5	森林太郎(森鷗外)	書簡	[封筒無]、便箋1		[1908?]	613	脚気調査会委員両三日中に発表
M6	森林太郎(森鷗外)	書簡	[封筒無]、便箋1		[1908?]	720	脚気にきつコッホ先生の説
M7	森林太郎(森鷗外)	書簡	[封筒無]、便箋1		[1908?]	912	伯林よりの御書状到着いたし候、Batavia行の連中も出発
M8	森林太郎(森鷗外)	書簡	[封筒無]、便箋1		[1908?]	1022	脚気調査会。脚気調査会の派遣員はBuitenzorgにて研究中
M9	森林太郎(森鷗外)	書簡	[封筒無]、便箋1		[1908?]	1205	Batavia派遣の委員調査に一段落
M10	森林太郎(森鷗外)	書簡	[封筒無]、便箋2		[1909?]	126	バタヴィアの報告いまだ発表されず
M11	森林太郎(森鷗外)	書簡	[封筒無]、便箋1		[1909?]	201	

M12	森林太郎(森鷗外)	書簡	[封筒無]、便箋1	[1909?]	317	赤十字病院長後任は平井[平井政適]にほぼ内定
M13	森林太郎(森鷗外)	書簡	[封筒無]、便箋1	[1909?]	331	
M14	森林太郎(森鷗外)	書簡	[封筒無]、便箋1	[1909?]	422	平井[平井政適]が赤十字病院長になる件
M15	森林太郎(森鷗外)	書簡	[封筒無]、便箋1	[1909?]	429	今日平井は進級とともに赤十字社病院長任命の上奏
M16	森林太郎(森鷗外)	書簡	: [封筒無]、罫紙1	1909	603	去年の救難事業の会議の報告第二冊まいり候、自動車は戦用には難しきことあり、尤悪しき患者運搬車は„Räderbahre“ なりとて其説明あり。○Schaumann, Rojanvalm氏の説ハ大略を委員にも通報しおき候 Naemprüfenさせる積に候○民間の脚氣患者を入院せしむること次月より始めり(東京第一衛戍病院構内)
M17	森林太郎(森鷗外)	書簡	[封筒無]、罫紙1	[1909?]	709	鶴田[鶴田禎次郎]が赤十字社病院の外科を受け持ち平井[平井政適]とともに経営すること発表
M18	森林太郎(森鷗外)	書簡	封筒1、罫紙1	1910	729	総監二對して方針等一々御尤ニテ全然同意ニ候 豪傑揃ノ京城風雲甚急ナルコトユエ時々御書状ヲ切ニ相待居候 何卒遠慮ナキ処ヲ御記シ被下度
M19	森林太郎(森鷗外)	書簡	封筒1、便箋1	1910	1022	総督府医院の方は先方が諦めたよう
M20	森林太郎(森鷗外)	葉書	葉書1	1911	401	Charcot訳下巻御恵与、正に落手。御礼
M21	森林太郎(森鷗外)	書簡	封筒1、便箋1	1911	525	室谷[室谷脩太郎]の件気の毒。Charitas-KranKenhausなどとするも可ならんか、伯林のは免税のため王がLa chariteと名づけられし由、特に仏語にする理由もなき、ロンドンにはCharity Organisation Societyある由。○Militärärztliche Lehranstaltと小生は称し来りしにKowalk氏がMilitärärztliche Akademieと書き候、それにて可なるべし
M22	森林太郎(森鷗外)	書簡	封筒1、便箋1	1912	208	寺内閣下病気の詳報感謝
M23	森林太郎(森鷗外)	葉書	葉書1	1915	1210	錦山集今日卒読
M24	森林太郎(森鷗外)	書簡	封筒1、巻紙1	1916	228	独逸衛生部員戦地勤務函御郵送被下難有
M25	森林太郎(森鷗外)	書簡	封筒1、巻紙1	1917	918	
M26	森林太郎(森鷗外)	書簡	封筒1、巻紙1	1918	130	
M27	森林太郎(森鷗外)	書簡	封筒1、巻紙1	1918	1102	
M28	森林太郎(森鷗外)	書簡	封筒1、巻紙1	1918	1124	
M29	森林太郎(森鷗外)	葉書	葉書1	1918	1202	拓本一種御恵授被下忝奉存候
76-260	矢崎茂	書簡	封筒1、巻紙1	1897	610	
76-345	矢島柳三郎	書簡	封筒1、巻紙1	1916	106	登省局長以下元気候故部内の風穩やかならぬ噂幕開けは三月頃ならむ。
76-297	矢島柳三郎	書簡	封筒1、巻紙1	○ 1916	412	昨日会議始まり台湾、第十九の部長事故不参以外は総て参同。中谷内は歩の一九(廠口)坂本の解職近く発表。六月頃発表の薬局方改正案につき村田薬剤生召集可相成、同案漸く研究
76-298	矢島柳三郎	書簡	封筒1、巻紙1	1916	508	鮮地二力年在務奉謝
76-1	矢島柳三郎	書簡	封筒1、便箋3、整理メモ1、紐1	1916	1010	脚氣に関する御著書を御恵送感謝。先日室谷[室谷脩太郎]君辞表提出
76-346	矢島柳三郎	書簡	封筒1、巻紙1	1917	523	瀧田軍医正御進級其の後任に和爾軍医御希望の所同人は眼科専攻にて小生も適任と信じ候へ共目下本郷聯隊まで徴兵副医官として出張中
76-2	矢島柳三郎	書簡	封筒1、巻紙1	[1920-1927?]	131	患者小井ワカ症状
76-209	矢島柳三郎	書簡	封筒1、巻紙1	[1920-1927?]	[月不明] 9	御高診願う



76-364	矢島柳三郎	書簡	封筒1、巻紙1		1931	1221	御高診感謝
76-3	矢島柳三郎	書簡	封筒1、巻紙1		[1932?]	129	田井中襄三(東亜同文会在学、昨年上海・四川・重慶を旅行)の症状
76-205	矢島柳三郎	書簡	封筒1、巻紙1		1932	307	老生退院後体力回復
76-317	安井洋	書簡	[封筒無]、罫紙2		[1915-1919?]	1129	御下命の調査日時遷延し申し訳なし。地質上の相談相手とすべき技師寺洞[カ]炭坑に出張中。時日切迫しているので提出致候。地形錯雑する故現状の調査のみならず工事の着手に関しても衛生上喙を挿むべき事項少なからず。若し総督府より技師派遣の場合小生にも相談するよう願上候(技師池田賢太郎とは幸い旧知)。附記平壤市街衛生の一章は総督府当局の参考までに草したので提出材料としては不適當
76-368	安井洋	書簡	封筒1、巻紙1		[1931?]	531	御招宴への礼状
76-58	矢野清史	書簡	封筒1、巻紙1		1937	1013	
76-392	山岡淑子	書簡	封筒1、巻紙1		1932	727	
76-391	山岡淑子	書簡	封筒1、巻紙1		[1928-1932?]	801	
17	山県伊三郎	書簡	封筒1、巻紙1		[1910-1919?]	1229	問診への礼状
44-1	山県伊三郎	書簡	封筒1、巻紙1		1922	322	山県有朋の葬式弔詞につき御礼
44-2	山県伊三郎	書簡	封筒1、巻紙1		[-1926?]	1226	山県吉朗
76-442	山県治郎	書簡	封筒1、巻紙1		1929	1221	
76-82	山川一郎	書簡	封筒1、罫紙1、便箋1、紙包入和歌書1		1931	807	和歌添削
76-71	山川一郎	書簡	封筒1、巻紙1		1939	509	
76-115	山川一郎	書簡	[封筒無]、巻紙1		[年不明]	226	
76-460	山田英太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1922	728	
76-382	山田英太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1930	413	
76-381	山田英太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1930	619	
76-42	山田鶴造	書簡	封筒1、巻紙2		1905	516	衛生隊は奉天会戦の後には滞在碌々として睡眠食事を貪るのみ。御参考に資するため脚気病に関し取調調査、多数の患者に接する能わず当隊に発生せし入院患者のみ。明治38年2月～5月の第一師団第二衛生隊における「脚気症ニ関スル調査」表あり。
76-263	山田弘倫	書簡	封筒1、巻紙1		1897	721	箱根の絵図あり
76-275	山田弘倫	書簡	封筒1、罫紙1		1910	714	韓国御出発の様子。旧友・先輩として苦言を呈せん。君の学と才と術とに於ける蘊蓄の深長なるは皆知らざるものなし、而して控え目にして人より意見を徴さるとき初めて口を開けば言々忽々皆首肯すべきものにして一層多くの人の尊敬を払うべし。局長[森林太郎]本堂[本堂恒次郎]鶴田[鶴田禎次郎]山口[山口弘夫]等皆寧ろ口無口、独り君は才気煥発抑えて堪えざるの風あり、余は此煥発を常に君の欠点と思う
76-467	山田弘倫	書簡	封筒1、罫紙3、電報用紙2	○	1912	722	[年月日不明]罫紙：令嬢御縁談。小生転任の儀青天霹靂の感。未だ碌々講義もせず種々の研究も準備中途にある今日突然韓国行とは誠に意外。諾否の権利が自分にあるのなら次の条件を挙げたい。軍医学校。平井政道、山口弘夫、森安連吉、大西亀次郎
76-497	山田弘倫	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1919?]	612	
76-325	山田弘倫	書簡	封筒1、巻紙1		1924	903	

76-274	山田弘倫	書簡	封筒1、便箋1	○	[1934?]	223	今般森鷗外先生の行蔵等を蒐集せんと一念発起、就ては貴兄の追憶を御指教下さるよう
76-210	山田清八	書簡	封筒1、巻紙1	○	1935	1120	過日第一五師団軍医部長平川龍直氏来往の節当師団軍医部長三宅二一氏他旧知相集まり会食、佐藤[佐藤恒丸]閣下の如きは軍医総監の栄職より日本赤十字社病院長侍医頭として我が国医界の最高位に現職せらるるは我ら常々尊敬。小生当地開業以来万事順調、偕行社医務囑託として今日に至り在郷軍人会の事も。徳光博久
76-26	山田太良	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1916?]	1024	軍医部長に御栄転奉賀。京城衛戍病院随分整理致こと矢崎[矢崎豊久力]部長より承り愉快
22	山梨半造	書簡	封筒1、巻紙1		1911	630	小生の疾病は慢性の腸カタル、身体衰弱
53	山梨半造	書簡	封筒1、巻紙1		[1920-1927?]	325	昨日愚息祐一貴院[赤十字社病院]に入院
76-190	山根正次	書簡	封筒1、巻紙1		1912	112	御寵招を蒙り深謝
76-104	山根正次	書簡	封筒1、巻紙1		1920	403	赤十字社へ御栄転祝い
60	山室軍平	書簡	封筒1、便箋2、整理メモ2、紐1		1924	702	
77-26	山本吉久	書簡	封筒1、罫紙1、用紙1		1920	224	
76-14	横川徳郎	書簡	封筒1、巻紙1		1917	503	
76-16	横川徳郎	書簡	封筒1、便箋2		1917	819	
76-15	横川徳郎	書簡	封筒1、巻紙1		1917	1005	
77-25	横瀬五郎	書簡	封筒1、巻紙1		1953	511	
77-18	横山彦六	書簡	封筒1、巻紙1		1935	1111	
76-458	吉岐益夫	書簡	封筒1、巻紙1		1936	513	勲一等瑞宝章親授の祝い
76-355	吉田章信	書簡	封筒1、巻紙1		[1920?]	221	日本赤十字社病院長栄転の祝い
76-142	吉本清太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1915	901	井上修一郎の症状。土井博士の治療、軽度の発熱食欲不振、一六日小生拝診。平井[平井政適]土井院長にも往診を乞い協議の上静岡病院長栄学士も毎日御見舞。今朝御薨去。大兄より寺内[寺内正毅]閣下へ御伝え願いたし
76-143	吉本清太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1930	214	新館拝見の御礼
76-137	吉本清太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1935	1100	御令嬢みち子様此程御婚約成立…」
76-136	吉本清太郎	書簡	封筒1、巻紙1		[1933-1936?]	930	御令嬢様御婚約成立
76-135	吉本清太郎	書簡	封筒1、巻紙1		1937	114	先般御約束申上候徳岡令息に関する件
72-3	米山梅吉	書簡	封筒1、巻紙1		1931	1111	
25-1	李夏栄	書簡	封筒1、巻紙1		1919	918	珍品御礼
25-4	李夏栄	書簡	封筒1、巻紙1		1919	1222	感冒
25-2	李夏栄	書簡	封筒1、巻紙1、用紙1		[1910-1918?]	1229	落馬の傷全快、ラジウム恵送御礼
25-3	李夏栄	書簡	封筒1、巻紙1		[1911-1919?]	1231	御菓子恵送
47-3	李夏栄	書簡	封筒1、巻紙1		1920	305	当地御在住中の御懇情に御礼
47-2	李夏栄	書簡	封筒1、巻紙1		1924	117	関東大震災の御見舞
47-1	李夏栄	書簡	封筒1、巻紙1		1928	824	侍医頭として御奉職の由国家の為め御芽出度く御祝ひ申上候

39-8	李斗璜	書簡	封筒1、巻紙1		1915	830	小生病気に御配慮感謝。本年六月長官会議のため上京の折御診察下さり療養に関する注意に付御懇篤なる御手紙感謝。かねて御依頼の拙筆揮毫は本日発送
76-444	龍沢寺	その他	[封筒無]、用紙1		1917	908	龍沢寺(伊豆国田方郡):「白隠会々員証」
6-1	Louis L Leawau	書簡	封筒1、便箋1		1905	713	
7-5	連徳	その他	用紙1		[1903-1904?]	[月日不明]	診療依頼
76-246	若林勲、佐和子	書簡	封筒1、巻紙1		[1925?]	130	
76-101	若林勲	書簡	封筒1、巻紙1		1940	923	
76-99	若林勲	書簡	封筒1、巻紙1		1940	925	
76-100	若林勲	書簡	封筒1、巻紙1		1940	1001	
76-102	若林勲	書簡	封筒1、便箋4、用紙1		1941	726	糖質、脂質たんぱく質の数値解析について
76-249	若林虎吾	書簡	封筒1、巻紙1		1901	810	
76-248	若林虎吾	書簡	封筒1、巻紙1		[1903?]	713	日露之関係喧しき折柄北京御出勤者実に男子として最も愉快なること
76-488	若林虎吾	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1919?]	622	本朝医海時報拝見、学兄御入院御加療中御軽快の由との祝事
76-201	若林虎吾	書簡	封筒1、巻紙1、整理メモ1、紐1		1920	203	平井[平井政道]総監の後任となり東京赤十字病院長に御就職と承知、家族で慶賀
76-279	若林虎吾	書簡	封筒1、巻紙2		1923	401	
76-245	若林虎吾	書簡	封筒1、巻紙1		1925	215	
76-462	若林虎吾	書簡	封筒1、巻紙1		1925	331	
76-463	若林虎吾	書簡	封筒1、巻紙1		1925	411	
76-247	若林虎吾	書簡	封筒1、巻紙1		1928	812	
76-91	若林虎吾	書簡	封筒1、巻紙2		1930	518	
76-280	若林虎吾	書簡	封筒1、便箋2		1932	126	
76-281	若林虎吾	書簡	封筒1、巻紙1		1932	723	
76-278	若林虎吾	書簡	封筒1、巻紙1		1932	1127	
76-277	若林虎吾	書簡	封筒1、巻紙1		1933	826	
76-282	若林虎吾	書簡	封筒1、巻紙1		1934	131	
76-96	若林虎吾	書簡	封筒1、巻紙1		1937	531	
76-93	若林虎吾	書簡	封筒1、便箋2		1937	717	
76-97	若林虎吾	書簡	封筒1、便箋4		1939	920	
76-94	若林虎吾	書簡	封筒1、巻紙1		1940	229	
76-98	若林虎吾	書簡	封筒1、巻紙1		1940	723	
76-95	若林虎吾	書簡	[封筒無]、巻紙1		[年不明]	529	本日倅の文通入手
76-331	渡辺泰造	書簡	[封筒無]、巻紙1		[1898?]	711	東京帝大医科大学大学院に入学の祝い。青山胤通
76-475	和爾忠隆	書簡	封筒1、巻紙1		1935	522	勲一等御叙勲の祝い
76-446	和爾忠隆	書簡	封筒1、巻紙1、紐1		[1937-1943?]	705	周輔様も既に就職、今は信雄様豊子様のみ家庭に居りとの事。小生毎度の朝鮮勤務、閣下龍山に御在任当時直接の部下として始めて来鮮の思い出懐かしく。当地[羅南]はかなりの発展、軍都という以外特別の意味ある都邑にもないらしく何ら活気ありとも思われず
76-445	[不明]	その他	[封筒無]、巻紙1		1912	215	先般京城ホテルへ御光来感謝。貴重な記念品を御寄贈下され感謝

## B 葉書

- ・『佐藤恒丸関係文書』を購入したときの整理番号順で配列しており、差出人や年代は区々である。
- ・「備考」には葉書の表裏に記された住所、消印等の情報を記してある。

番号	差出人	形態	数量	デジタル画像	年	月日	備考
78-1	□□	葉書	葉書1	○	1938	802	
78-2	遠山有能・和子	葉書	葉書1	○	[1954?]	730	
78-3	真下正太郎	葉書	葉書1	○	1932	1206	
78-4	山田弘倫	葉書	葉書1	○	1932	1201	
78-5	鶴田禎次郎	葉書	葉書1	○	[1928-1937?]	510	
78-6	一木儀一	葉書	葉書1	○	1931	511	
78-7	下瀬謙太郎	葉書	葉書1	○	1931	511	
78-8	遠山有能	葉書	葉書1	○	1945	804	葉書表に「検閲済」の印あり。
78-9	里村基三郎	葉書	葉書1	○	1937	317	
78-10	井出剛	葉書	葉書1	○	1953	1207	
78-11	高田晁安	葉書	葉書1	○	1903	415	葉書表に「陸軍々医学校 佐藤恒丸様」あり。葉書内容に「軍医学会雑誌ニ付御通報被下候」の記述あり。
78-12	北島多一	葉書	葉書1	○	1895	110	
78-13	中原	葉書	葉書1	○	1897	121	葉書表に「麻布 近衛歩兵第四聯隊 見習医院 佐藤恒丸殿」、大学第一[医]院外科 中原」あり。葉書裏面の内容はすべてドイツ語にて記述。
78-14	大西亀次郎	葉書	葉書1	○	[1928-1937?]	1121	葉書内容に「旧知懇親会の写真到来」の記述あり。葉書表および裏に和歌あり。
78-15	八十八□□	葉書	葉書1	○	1932	816	
78-16	坂口康蔵	葉書	葉書1	○	1918	1022	葉書内容に「今回記念トシテ故青山恩師御指導ノ下ニ出テタル業績全部ノ目録作製議相起リ」の記述あり。
78-17	下瀬謙太郎	葉書	葉書1	○	1941	510	
78-18	岩田一	葉書	葉書1	○	1931	513	
78-19	藤田嗣章	葉書	葉書1	○	1931	510	
78-20	山田弘倫	葉書	葉書1	○	[1928-1937?]	530	
78-21	A. Mallegans	葉書	葉書1	○	1909	405	葉書表に「MÜNCHEN」消印あり。
78-22	和田生	葉書	葉書1	○	1908	614	葉書表に「WARNEMÜNDE」消印あり。
78-23	佐藤物外	葉書	葉書1	○	1948	1205	
78-24	武庫川龍雄	葉書	葉書1	○	[1946-1949?]	1112	葉書表に「C.C.D. J-3458」(GHQ民間検閲局、Civil Censorship Detachment)のスタンプあり。
78-25	飯島茂代	葉書	葉書1	○	[1946-1949?]	1120	葉書表に「C.C.D. J-3925」(GHQ民間検閲局、Civil Censorship Detachment)のスタンプあり。
78-26	飯島郁	葉書	葉書1	○	1948	102	葉書表にRELEASED BY CENSORSHIP／検閲済」(GHQ民間検閲局、Civil Censorship Detachment)のスタンプあり。
78-27	井出剛	葉書	葉書1	○	[1946-1949?]	106	葉書表にRELEASED BY CENSORSHIP／検閲済」(GHQ民間検閲局、Civil Censorship Detachment)のスタンプあり。

78-28	斎藤文雄	葉書	葉書1	○	1948	1014	葉書表に「[東京都]愛育研究所 斎藤文雄」。葉書表に「C.C.D. J-3972」(GHQ民間検閲局、Civil Censorship Detachment)のスタンプあり。往復はがきの「返信」葉書。
78-29	杉本敬二郎	葉書	葉書1	○	1948	1211	葉書表に「[東京都]日本赤十字社中央病院 杉本敬二郎」。往復はがきの「返信」葉書。
78-30	谷口吉太郎	葉書	葉書1	○	1920	408	葉書内容に「今般赤十字病院長に就任之由」の記述あり。
78-31	中沢達三	葉書	葉書1	○	1909	108	葉書表に「Herren Dr. Sato Berlin Kesselstr. 29」、「Wien Mariannen gasse I II」。葉書表に「WIEN」消印あり。
78-32	前田亘	葉書	葉書1	○	1933	101	葉書表に「BERLIN.S.M.」消印あり。
78-33	田中幸一、萩原竹子、山崎文子	葉書	葉書1	○	[1933?]	806	差出人は「田中幸一、萩原竹子、山崎文子」の3名。葉書表に「CHICAGO」消印あり。
78-34	山崎文子、萩原竹子	葉書	葉書1	○	1929	802	差出人は「山崎文子、萩原竹子」の2名。葉書表に「WASHINGTON D.C.」消印あり。葉書内容に「モントリオール大会の後、ボストン、紐育、フィラデルフィア、パルチモアと、病院見学仕りの記述あり。
78-35	June Inouye[井上]	葉書	葉書1	○	1925	6019	葉書表に「東京市外下渋谷 日本赤十字社」の判字あり。葉書表に「COLOMBO」消印あり。
78-36	加藤キン	葉書	葉書1	○	1923	520	葉書表に「東京渋谷町 赤十字社病院 佐藤院長閣下」、「ポーセイド 加藤キン」。「PORT SAID」消印あり。 ※エジプト・ポートサイドか？
78-37	中沢[達三]	葉書	葉書1	○	1908	418	葉書表に「Herren Dr. T. Sato Hochwohlgeboren. Berlin Kesselstr. 29.」、「Leipzigニテ 中澤生」。葉書表に「LEIPZIG」消印あり。葉書内容に「但し当地大学の建物ハ少し古び居れども其規模ハ三大学の列ニ加ハるに恥ぢ口るべくと存候」の記述あり。
78-38	S. Yamaguchi[山口]	葉書	葉書1	○	[1908-1909?]	408	葉書表に「T. Sato □□gr. bei Fr. Bredow Kessel Strasse 29 III Berlin Germany」、「57 Chorley Old Road. Bolton. Lancashire.」および「S. Yamaguchi.」。葉書表に「BOLTON」消印あり。葉書内容に「小生は此度ポルトンと云ふ小市に移り工場に入り申し候こゝはマンチエスターの附近で日本人もマンチュリーには沢山居つて」の記述あり。
78-39	稲葉良太郎	葉書	葉書1	○	1908	520	葉書表に「Monsieur Medecin major Dr. T. Sato Kesselstrasse 29 Berlin Allemagne.」、「馬港グランホテル 稲葉良太郎」。葉書表に「MARSEILLE」消印あり。 ※馬耳塞港(マルセイユ港)
78-40	[山田]弘倫	葉書	葉書1	○	1909	1024	葉書表に「Herren Dr. T. Sato (aus Japan) b./ Frau Renker Altona G[o]ethe Str. 24p.」。葉書表に「BERLIN.N.W.」消印あり。
78-41	宗正	葉書	葉書1	○	1909	1027	葉書表に「Herren Dr. T. Sato Hochwohlgeboren bei Frau Renker Goethestr. 24.p Altona」。葉書裏に「bei Haibach Longstr. 20 II. Giessen」。葉書表に「GIESSEN」消印あり。
78-42	長尾優	葉書	葉書1	○	[1928-1936?]	409	葉書表に「東京、宮内省 侍医寮 佐藤恒丸閣下」、「ニースにて 長尾優」。葉書表に「NICE」消印あり。
78-43	林川長兵衛	葉書	葉書1	○	1901	319	葉書表に「Herren T. Sato Tokyo Japan」。葉書裏に「Berlin, Linsenplatz 1 I」。葉書表に「BERLIN.N.W.」消印あり。
78-44	富永忠司	葉書	葉書1	○	1913	1106	葉書表に「Herren Dr. Sato. Seoul, Korea Japan 朝鮮京城竜山衛戍病院 佐藤博士殿」、「[コロンボ]にて 富永忠司」。葉書表に「CEYLON」切手および「COLOMBO」消印あり。 ※スリランカ(セイロン)
78-45	涼男[新宮涼男]	葉書	葉書1	○	1909	228	葉書表に「Herren Dr. Med. Sato. Berlin Kesselstr 29」。葉書表に「BERLIN.N.」消印あり。
78-46	近雄	葉書	葉書1	○	[1908-1909?]	409	葉書表に「Herren Dr. Med. Sato」、「Wien B.IV. Karls gasse 18 I t.8」。葉書表に消印あり。
78-47	涼男[新宮涼男]	葉書	葉書1	○	1909	412	葉書表に「Hoc[h]wohlgeb. Herren Dr. Sato Hier Kesselstr 29」。葉書裏に「N. W. 5 Rathenowerstrasse 50 III.I.」。葉書表に「BERLIN.N.W.」消印あり。

78-48	阿久津三郎	葉書	葉書1	○	1901	604	葉書表に「Herren Dr. Ts. Satō Japan Tokyo」。葉書裏に「プレスラウより 阿久津三郎 拝」。葉書表に「BRESLAU」消印あり。葉書裏の写真図に「内科」「フリュッゲル先生官宅」「耳鼻咽喉科」の書込みあり。※ポーランド、ウロツワフ(プレスラウ)大学
78-49	Sano Tamotsu [佐野保]	葉書	葉書1	○	1932	823	葉書表に「Herren Dr. T. Satō Tokio Japan」、「Tamotsu Sano(金沢医大 小児科)」。葉書表に「HEIDELBERG」消印あり。1896-1991 小児科学、医師
78-50	山口	葉書	葉書1	○	1908	615	葉書表に「Herren Dr. Sato Hochwohlgeboren Berlin Kesselstr 29.」、「伯林 山口生」。葉書表に「BERLIN.W」消印あり。
78-51	増田二郎	葉書	葉書1	○	1910	129	葉書表に「Herren Dr. Sato (aus Japan) Elisabeth str. 19 I pension Regina. München.」。葉書裏に「増田二郎」。葉書表に「BERLIN.W」消印あり。
78-52	大村有隣	葉書	葉書1	○	1937	401	
78-53	鳥山南寿次郎	葉書	葉書1	○	1900	106	葉書表に「Hrn. T. Sato Tokio Japam 日本東京神田区和泉橋 医科大学第二医院内科 医局 佐藤恒丸殿」。葉書裏に「増田二郎」。葉書表に「BERLIN.W」消印あり。新年賀状。
78-54	岡田捷五郎	葉書	葉書1	○	1929	801	葉書表に「Mr. T. Sato □ Tokyo Japam 東京市外 渋谷町永住十四 佐藤恒丸様」、「紐育にて 岡田捷五郎」。葉書表に「PHILADELPHIA」消印あり。暑中見舞。
78-55	Hans v. Bredow	葉書	葉書1	○	[1907-1910?]	[月日不明]	葉書表に「Herrn Dr Sato Hier Kesselstr. 29」とあり。消印なし。
78-56	英軍医正[英健也]	葉書	葉書1	○	1912	126	葉書表に「S.H Herrn prof.Dr T. Satō Chosen Keijo (japan) 日本 朝鮮京城衛戍病院長 医学博士 佐藤恒丸殿」、「伯林 英軍医正」。葉書表に「BERLIN.W」消印あり。葉書内容に「謹ンデ学位を授ケラレタル御光誉ヲ奉祝候」、「ウキンのNoowen[マ: Nouwenカ]及学兄の旧師Müller先生」の記述あり。
78-57	重五郎	葉書	葉書1	○	1909	518	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato (aus japan) Berlin N Kesselstr. 29Ⅲ.」。葉書表に「HAMBURG」消印あり。
78-58	連三	葉書	葉書1	○	1908	421	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato (aus japan) Berlin Kesselstr. 29.」。葉書表に「MARBURG」消印あり。
78-59	中原生	葉書	葉書1	○	1908	418	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato (aus japan) Berlin Kesselstr. 29Ⅲ.」。葉書表に「WURZ」消印あり。
78-60	長野文治	葉書	葉書1	○	1908	417	葉書表に「Herrn T. Sato bei Der Haiserl. - □ Botschaft in Berlin Kessel Str. 29. Ⅲ.」、「abs. B. Nagano bei gran geielmeier Augsburg Str. 109 münchen.」。葉書表に「MÜNCHEN」消印あり。
78-61	阿久津三郎	葉書	葉書1	○	1902	101	葉書表に「Herrn Dr. Satow Tokyo Japan [東京小石川] 医学士 佐藤恒丸様」。葉書裏に「ルイーゼン町六十一番地一階 阿久津三郎 拝」。葉書表に「BERLIN.N.W」消印あり。
78-62	秦佐八郎	葉書	葉書1	○	1909	618	葉書表に「An Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) Berlin, Kesselstr. 29.」。葉書表に「FRANKFURT」消印あり。葉書文中に「ローマのパチェリー博士日本のテタヌス殊に戦役中のテタヌス数及ビ血清診療数死亡数等を知り度と注文せられ候間」の記述あり。
78-63	富永忠司	葉書	葉書1	○	1914	524	葉書表に「Herrn Professor Sato. Seoul Korea 朝鮮京城竜山衛戍病院長 佐藤博士殿」。葉書表に「BERLIN」消印あり。
78-64	慶治	葉書	葉書1	○	1909	1023	葉書表に「Herrn Dr. Sato bei Fr. Renken Goethestr. 24p Altona.」。葉書表に「BERLIN.N.W」消印あり。
78-65	熊谷幸之輔	葉書	葉書1	○	1910	101	葉書表に「Herrn Dr. med. T. Sato. [Bei Renken, Goethestr. 24p. Altona: 削除] 4/1 München.」。葉書表に「GIESSEN」消印あり。
78-66	川嶋明八	葉書	葉書1	○	1909	4020	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato Kesselstr. 29 Berlin.」。葉書裏に「伯林ニテ」「Blüsen str.2 Ⅲ」。葉書表に「MUENCHEN」消印あり。葉書裏に描かれた写真に「之レハ写真術稽古ノ為メ例ノ紀念写真ヲ複写シタルモノニ候」との説明書きあり。
78-67	中山政男	葉書	葉書1	○	1910	101	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato bei Munchen Elisabethstr. 19.1.」。葉書表に「B□□」消印あり。葉書裏に「西郷吉弥 若林庸(寅)吾」の記述あり。

78-68	川嶋[明八]	葉書	葉書1	○	1909	1130	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato Hier Elisabeth str. 19 I Pension Regina」。葉書裏に「伯林ニテ」Blüsen str.2 Ⅲ」。葉書表に「MUENCHEN」消印あり。
78-69	[河西カ]	葉書	葉書1	○	1908	104	葉書表に「Herrn Ob□□ Dr. Sato Berlin Kesselstr 29 II [マ: Ⅲカ]」。葉書裏に「伯林ニテ」Blüsen str.2 Ⅲ」。葉書表に「MUENCHEN」消印あり。葉書裏に「□[健?]原学人」署名の漢詩あり。
78-70	佐野□□	葉書	葉書1	○	1909	726	葉書表に「Herrn Dr. m. Sato Japanoflgeboren Berlin Kesselstr. 29.」。葉書表に「CHARIOTTE□」消印あり。
78-71	長[尾少佐カ]	葉書	葉書1	○	1909	924	葉書表に「Herrn Sato Hochwohlg□ Hier Kesselstr29 Ⅲ」。葉書表に「BERLIN」消印あり。
78-72	Dr. Hübotter[Franz Hübotter]	葉書	葉書1	○	1909	802	葉書表に「Herrn Dr. Ts. Satō, 29 Ⅲ Kesselstrasse, Berlin」。葉書表に「FONTAINEBLEAU」消印あり。Franz Hübotter (1881-1967) 医師、中国学者、医学史研究者。第一次世界大戦後4年間熊本滞在
78-73	坂井清	葉書	葉書1	○	1911	718	葉書表に「京城衛戍病院長 佐藤恒丸殿 Korea」。葉書表に「FRANKFURT」消印あり。
78-74	岡部剛二	葉書	葉書1	○	1926	1213	葉書表に「Herrn Bof Dr. T. Sato Tokio Japan 東京市外下渋谷百十七 佐藤恒丸先生」。葉書表に「HEIDELBERG」消印あり。
78-75	[中山]森彦	葉書	葉書1	○	1903	802	葉書表に「An Herrn □□ Dr. T. Sato □□ Tokio, Japan. 大日本帝国東京市小石川区小日向臺町一ノ六二 佐藤恒丸殿」。葉書表に「BERLIN.N.W」消印あり。
78-76	佐藤清	葉書	葉書1	○	1928	124	葉書表に「東京府下 渋谷町下渋谷町117 佐藤恒丸閣下 Tokyo Japan」。葉書表に「□□」消印あり。
78-77	K. Muto[武藤カ]	葉書	葉書1	○	1909	200	葉書表に「Herren Dr. T. Sato. □ pension Regina Elisabeth str 19 I München.」、 「K. Muto Luisen str67 I. Berlin N. W.」。葉書表に「BERLIN.W」消印あり。
78-78	[新村出カ]	葉書	葉書1	○	1898	1106	葉書表に「Herrn □□ Dr. T. Satō Tokyo Japan 日本東京神田区和泉町。医科大学第二医院 医学博士 佐藤恒丸君」。葉書表に「ZABERN」消印あり。葉書内容に「一たび伯林ニ来りて奮死一ニたひ鶴堡[ルビ: ストラスブルヒ]に在テ激死す 奮激死して「死せる木石如来」となり、……因て称して死せる新村木石如来と□□、「君□大学院入学を喜ぶ」の記述あり。
78-79	高木背水	葉書	葉書1	○	1932	101	葉書表に「Monsieur T. Satō Tokyo Japan 東京渋谷永住町 佐藤恒丸閣下」。葉書裏に「Paris」「高木背水」。葉書表に「□」消印あり。
78-80	M. Onaka[大仲カ]	葉書	葉書1	○	1910	110	葉書表に「An Herrn Dr. T. Sato. Elisabethstr. 19 I München」。葉書裏に「Berlin, 9.1.10 M. Onaka」。葉書表に「BERLIN.W」消印あり。
78-81	熊谷[幸之輔カ]	葉書	葉書1	○	1910	109	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato □ (aus Japan) München. Elisabethstr. 19 I.」。葉書表に「GIESSEN」消印あり。
78-82	[川岡カ]守三	葉書	葉書1	○	1910	112	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato München Elisabethstr. 19 I」。葉書表に「BERLIN.W」消印あり。
78-83	K. Toda[or Toba] [戸田 or 鳥羽]	葉書	葉書1	○	1908	521	葉書表に「K. Toba[or Toda] Esq Philadelphia Pa Amerika」。葉書裏に「21/V Dr. T. Sato Kesselstr. 29. Berlin」。葉書表に「BERLIN.W」消印あり。葉書表に「ZURÜCH」=[戻る]および「□□ch for Address. Philadelphia Pa.」の判印あり。葉書裏に「此葉書米国ヨリ帰リ来レリ依テ記念トシテ保存 七月十一日」の記述あり。※佐藤恒丸がベルリンからアメリカ宛に送った葉書が差戻されたものと推測される。
78-84	Dr. Hübotter[Franz Hübotter]	葉書	葉書1	○	1908	711	葉書表に「Herrn Oberstabsarzt Dr. med Sato Berlin N.4. Kesselstr. 29 Ⅲ」、および「Misdroy, □str. 3.」「Dr. Hübotter」。葉書表に「MISDROY」消印あり。
78-85	Dr. Hübotter[Franz Hübotter]	葉書	葉書1	○	1909	818	葉書表に「Oberstabsarzt Dr. Sato 20/8 Wien VIII [削除: Berlin N.4. Kesselstr. 29 Ⅲ.」、および「Wien VIII □gasse 25 Tür 5 bei Dr. Fuji□□□」。葉書表に「WIEN」消印あり。葉書裏に「Hotel Hammerand, Florianigasse 8, Zimmer 44」滞在地情報記載あり

78-86	Heyrich, Elke	葉書	葉書1	○	1910	112	葉書表に「Herrn Dr. Sato München Elisabethstr. 19 I」、 「Elke □」。葉書表に「BERLIN.N」消印あり。葉書裏に「Sehr geehrter Herr Dr. Sato, vielen Dank für ihre freundlichen Glückwünsche, die ich gern erwidere. So bald wollen Sie nach Ihrer Heimat? (...) lang, Ihre Familie, werden Sie uns (...) Ich würde mich sehr freuen, Sie vorher noch einmal zu sehen, Herzlichen Gruß von Ihrer Elke Heyrich」
78-87	政周[久保田政周カ]	葉書	葉書1	○	1909	513	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato Hochwohlgeboren Hier Kesselstr. 29」。葉書表に「BERLIN.W」消印あり。葉書内容に「ボート会御催ノ由」の記述あり。
78-88	佐野[会輔カ]	葉書	葉書1	○	1909	512	葉書表に「Herrn Dr. Sato Hochwohlgeboren Berlin Kesselstr. 29」。葉書表に「□ OTTENBURG」消印あり。葉書内容に「ボート会ノ件大賛成」の記述あり。
78-89	山口[修カ]一	葉書	葉書1	○	1908	728	葉書表に「Herrn Dr. Sato, bei Fr. Bredow, Kessel str. 29 III Berlin, Germany」、 「6. Lorne Grove, Granville Road, Fallowfield Washington England」。葉書表に「WASHINGTON」消印あり。葉書内容に「ボート会ノ件大賛成」の記述あり。
78-90	[差出人不明]	葉書	葉書1	○	1908	801	葉書表に「Herrn Dr. Ts. Satō, Kessel str. 29 IV [マ: IIIカ] bei Frau Bredow, Berlin」。葉書表に「STOCKWELL」消印あり。葉書内容に「ボート会ノ件大賛成」の記述あり。葉書内容(裏面)に「工藤佐野両君二宜シク」の記述あり。
78-91	K.Kasai[河西健次カ]	葉書	葉書1	○	1906	916	葉書表に「An Herrn Oberarzt Dr. T. Satō. □ Tokio Japan 東京小石川区小日向臺町 陸軍二等軍医正 佐藤恒丸殿」、 「Abs: K. Kasai in Berlin N. W. Philippstr 23 II.」。葉書表に「BERLIN.N.W」消印あり。
78-92	達三[中沢達三カ]	葉書	葉書1	○	1908	504	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) Hochwohlgel. Berlin Kessel str. 29」。葉書表に「CROSSNESS」消印あり。「ボート会ノ件大賛成」の記述あり。
78-93	□三	葉書	葉書1	○	1908	430	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato Hochwohlgeboren Hier Kesselstr. 29」。葉書表に「MARBURG」および「BERLIN.N」消印あり。
78-94	Y. Saito[斎藤雄助カ]	葉書	葉書1	○	1912	807	葉書表に「朝鮮京城衛戍病院 佐藤病院長殿 Söul, Korea Japan」。葉書裏に「Abs: Dr. Y. Saito □ Frau Gohlsch Invalidenstr. 40 II Berlin.」。葉書表に「BERLIN.N」消印あり。
78-95	中原徳太郎	葉書	葉書1	○	1907	805	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato Tokyo Japan 小石川区小日向台町一ノ三五 佐藤恒丸様」。葉書裏に「中原徳太郎」。葉書表に「SINGAPORE / VICTORIA」消印あり。
78-96	鳶峯(鳥峰)徹	葉書	葉書1	○	1909	101	葉書表に「Herrn Dr. med. Sato Kessel str. 29. Berlin.」、 「Bei Land, Dessauerstr. 18 I Breslau.」。葉書表に「BRESLAU」消印あり。葉書内容に「ボート会ノ件大賛成」の記述あり。
78-97	□□桂一郎	葉書	葉書1	○	1909	513	葉書表に「Herrn Dr Sato Kesselstr. 29 Berlin」。葉書表に「BERLIN.N.W」消印あり。
78-98	A. Munthe [Axel Munthe]	葉書	葉書1	○	1910	105	葉書表に「Monsieur le Docteur Sato. Elisabethstrass. 19 I Pension Regina Munich」、 「A □」。葉書表に「BELFORT」消印あり。 ※BELFORT(ベルフォール)=フランスの東部、ブルゴーニュ地方。Axel Munthe (1857-1949) Swedensの医学者。
78-99	長[長尾優カ]	葉書	葉書1	○	1910	620	葉書表に「Herrn Dr. Sato Tokyo Japan 東京小石川区小日向台町二丁目六十二番地 佐藤恒丸様」。葉書裏に「中原徳太郎」。葉書表に「BERLIN.N.W」、 「Böhmische Schweiz」消印あり。葉書裏に「20/VI 01」の書込みあり、年月日はこの記述と消印により判断した。
78-100	[氏家]参頭	葉書	葉書1	○	1917	615	
78-101	三郎	葉書	葉書1	○	1908	330	葉書表に「Herrn Doctor Sato, Hochwohlgeboren Berlin Kesselstr. 29」。葉書表に「WIEN」消印あり。
78-102	梶、捨、和種[カ]生	葉書	葉書1	○	1909	218	葉書表に「Herrn Dr. Sato (aus Japan) Berlin, (Germany) Kesselstr 24 [マ: 29カ]」。葉書表に「M O C K B A」消印あり。



78-103	田原鎮雄	葉書	葉書1	○	[1920-1927?]	617	葉書表に「Herrn Sato Esq. Tokyo, Japan 東京、渋谷日本赤十字[社]病院長 佐藤恒丸閣下」。葉書表に「□□」消印あり。葉書表内容に「独逸に来て今迄に最も驚嘆したものはクラウスの臨床講義にて候」の記述あり。葉書裏内容に「今般電気診察に関する一小著を刊行」の記述あり。
78-104	中林[or村]万口	葉書	葉書1	○	1923	624	葉書表に「東京府小石川区小日向台町一ノ三五、赤十字社病院 佐藤恒丸先生」、および「Via America Yokohama Japan」。葉書表に「□□」消印あり。
78-105	中原	葉書	葉書1	○	1908	811	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) Berlin Kesselstr. 29 III」。葉書表に「WURZBURG」消印あり。
78-106	佐藤清	葉書	葉書1	○	1928	428	葉書表に「Herrn prof T. Sato Sibuya Tokio Japan 東京市外渋谷町永住十四番地 佐藤恒丸閣下」、 「K. Sato b/Hermann Jenaer str.22 Wilmersdorf(w.30)」。葉書表に「BERLIN-WILMERSDORF」消印あり。
78-107	井上孝哉	葉書	葉書1	○	1924	909	葉書表に「Dr. T. Sato Tokio Japan 渋谷赤十字[社]病院 佐藤院長殿 五斗博士殿」、 「K. Sato b/Hermann Jenaer str.22 Wilmersdorf(w.30)」。葉書表に「DETROIT. MICH」消印あり。葉書裏に「井上孝哉」の書込みあり。 ※五斗欽吾博士 ※DETROIT MICHIGAN
78-108	簡野松太郎	葉書	葉書1	○	1924	302	葉書表に「Dr. T. Sato Tokyo, Japan. 東京府下渋谷日本赤十字社病院 佐藤恒丸閣下」。葉書表に「WASHINGTON D.C.」消印あり。葉書裏に「簡野松太郎」の書込みあり。
78-109	T. Sannai	葉書	葉書1	○	1926	1116	葉書表に「Mr. T. Sato Japanese Central Red Cross hospital. Toky, Japan 東京市外下渋谷 日本赤十字社病院 佐藤院長閣下」。葉書裏に「T. Sannai 10 Mrs. M. Ha□ 990. N. madison ave. Pasadena Calif. U.S.A.」。葉書表に「PASADENA」消印あり。葉書内容に「当市の郊外パサデナに歯科矯正学の元祖ともいふべきアングル博士のカレッヂあり。博士の勧めにより本年中此地ニ滞在」の記述あり。
78-110	角田[隆]	葉書	葉書1	○	1909	1205	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato aus Japan München Elisabethstr. 19 I.」。葉書裏に「Tsunoda Berli Kestostr」。葉書表に「BERLIN.W」消印あり。
78-111	Y.Wada[和田八千穂]	葉書	葉書1	○	1908	113	葉書表に「Herrn Dr. Sato (aus Japan) Berlin Kesselstr 29.」、 「31 Woburn Place London W.C.」。葉書裏に「S□ssaus London 13. I. 08. Ywada.」。葉書表に「LONDON W.C.」消印あり。
78-112	増田二郎	葉書	葉書1	○	1911	101	葉書表に「Herrn Dr. Sato. Chosen, Japan 朝鮮京城衛成病院長 佐藤博士様」、 「□bach str. 18 Berlin, Germany」。葉書表に「BERLIN.W」消印あり。葉書裏に「増田二郎」の書込みあり。
78-113	橋本長俊	葉書	葉書1	○	1909	220	葉書表に「Monsieur Herrn Dr. Proressor Sato [以下削除: La□ du Japon Berlin (□ agre)] Berlin Kesselstr. 29 独逸大日本大使館 佐藤軍医正殿」。葉書表に「ERFURT」消印あり。
78-114	量七郎[雨宮量七郎]、伊丹繁、和種[カ]生	葉書	葉書1	○	1908	821	葉書表に「Herrn Dr. Sato (aus Japan) Berlin N. Kesselstr. 29 III.」。葉書表に「HEIDELBERG」消印あり。
78-115	J Misumi /R. Amenomiya /Yachio. Wada [三角恂カ][雨宮量七郎][和田八千穂]	葉書	葉書1	○	1908	808	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) Berlin N. Kesselstr. 29 III.」。葉書表に「BONN」消印あり。
78-116	Y. Wada /Amenomiya [和田八千穂][雨宮量七郎]	葉書	葉書1	○	1908	817	葉書表に「Herrn T. Sato (aus Japan) Berlin N. Kesselstr. 29 III.」およびロンドンの住所。葉書表に「ESSEN」および「LONDON」消印あり。
78-117	[隆興カ]	葉書	葉書1	○	1908	1215	葉書表に「An Herrn Dr Satō Kesselstr. 29 Hir」およびロンドンの住所。葉書表に「ESSEN」および「LONDON」消印あり。
78-118	[厳カ]	葉書	葉書1	○	1909	519	葉書表に「Herrn Dr Sato Kesselstr. 29 Berlin」。葉書表に「M O C K B A」消印あり。

78-119	K. Tanaka[田中]	葉書	葉書1	○	1929	1103	葉書表に「Herrn prof. T. Sato Tokio Japan 東京市外渋谷永住十四 佐藤恒丸様」。葉書裏に「NEUBABELSBERG」消印あり。
78-120	山口鋭	葉書	葉書1	○	1908	711	葉書表に「Herrn Dr. Satō (aus Japan) Hochwohlgeboren Berlin N.W. Kesselstr 29. Germany」。
78-121	Z. Hotta[堀田カ]	葉書	葉書1	○	1927	1123	葉書表に「Herrn Prof. T. Sato Tokyo Jpan 東京市下渋谷一一七 佐藤恒丸殿」。葉書裏に「Z. Hotta b/ R. Kruse □orubeeger str I Berlon W 30」。葉書表に「BERLIN.W」消印あり。葉書内容に「本日 Prof. Umberを訪問仕り二三日引続き病院の模様参観シ」の記述あり。 ※Friedrich Umber(1912年~ベルリンの市立病院ウエストエンド・第1部門、内科)カ。
78-122	中沢達三	葉書	葉書1	○	[1908-1910?]	224	葉書表に「Herrn Dr. med Sato Berlin Kesselstr. 29 Germany」。葉書表に「SINGAPORE」消印あり。
78-123	伊藤元春／三浦操一郎／石岡繁太郎／高橋伝吾／角田隆	葉書	葉書1	○	1910	731	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato. Korea 韓国京城衛戍病院長 佐藤恒丸君」、「□bach str. 18 Berlin, Germany」。葉書表に「POTSUDAM」消印あり。葉書裏に「伊藤元春 三浦操一郎 高橋伝吾 角田隆 石岡繁太郎」の書込みあり。
78-124	大平	葉書	葉書1	○	1919	1216	葉書表に「Prof. Dr. T. Sato. Souel, Corea, Japan. 朝鮮駐劄軍医部(京城竜山) 佐藤恒丸閣下」、「Utrecht, Holland.」。葉書表に「UTRECHT」消印あり。葉書裏に「大平」の書込みあり。
78-125	梅谷光貞	葉書	葉書1	○	[1922-1928?]	101	葉書表に「Mr. T. Sato. Tokio. Japan. 東京市外下渋谷一一七 佐藤恒丸殿」、「元旦 サムパウル 梅谷光貞」。葉書裏に「梅谷」の書込みあり。
78-126	阿久津[三郎]	葉書	葉書1	○	1901	915	葉書表に「Herrn Dr. Ts. Satō Tokyo Japan 東京小石川区小日向水道[マ:台カ]町一丁目[マ:二丁目]六十二番地 医学士 佐藤恒丸様」。葉書表に「BERLIN.N.W.」消印あり。葉書裏に「今日十七日ロストックニ衛生学会ガアルソウデ宮本 志賀 戸塚 三名ハ明後日出発」の記述あり。
78-127	石原誠	葉書	葉書1	○	1903	1011	葉書表に「Mr. Dr. Ts. Satō e/o the Japanese Legation Peking China」。葉書表に「MARBURG」および「PEKING」消印あり。葉書表に「日本」「佐藤」の書込みあり。葉書裏に「さて北京に御転任被遊ル由」の記述あり。 ※志賀潔?
78-128	川村麟也	葉書	葉書1	○	1909	1205	葉書表に「Herrn Dr. Ts. Satō Wohlgeboren München Elisabethstr. 19 I bei Pension Regina」。葉書表に「FREIBURG」消印あり。
78-129	伊藤賢[軍医正]	葉書	葉書1	○	[1922-1927?]	1115	葉書表に「General T. Sato, Tokio Japan 東京府下下渋谷百十七 佐藤恒丸閣下」、「伊藤軍医正」。葉書表に「LONDON」消印あり。葉書裏に「伊藤賢」の書込みあり。
78-130	井上恒子／等々力いく	葉書	葉書1	○	1925	103	葉書表に「東京渋谷 日本赤十字社病院長 佐藤閣下」。葉書表に「LONDON N.W. I」消印あり。葉書表に「昨日はロンドンより六十哩あります結核患者療養所を視察に参り」の記述あり。葉書裏に「井上 等々力」の書込みあり。
78-131	内村安太郎	葉書	葉書1	○	1920	101	葉書表に「Generalstabsarzt Sato Esq Seoul Corea Japan 京城龍山軍司令部 陸軍軍医監 佐藤恒丸閣下」、「Bei Frau Eckert Helvetia strasse 29 III. Bern, Sc□.」。葉書表に「BERN」消印あり。葉書裏に「内村安太郎」の書込みあり。 ※Generalstabsarzt=(独)参謀医師、参謀医
78-132	佐藤達次郎	葉書	葉書1	○	1928	607	葉書表に「Herrn Generalarzt T. Sato. 東京市外渋谷町一一七. 侍医頭 佐藤恒丸殿 Japan Tokyo.」。葉書表に「LUZERN 2」消印あり。葉書裏に「佐藤達次郎」の書込みあり。 ※Generalarzt=(独)一般医
78-133	三郎	葉書	葉書1	○	1903	227	葉書表に「Herrn St□ Sato Tokyo Japan 東京麹町 陸軍々医学校 陸軍一等軍医 佐藤恒丸様」。葉書表に「□」消印あり。
78-134	高木背水	葉書	葉書1	○	1927	101	葉書表に「Monsieur T. Sato Tokyo Japan 東京下渋谷 佐藤恒丸先生」。葉書表に「CRO □」消印あり。葉書裏に「高木背水」の書込みあり。

78-135	高木背水	葉書	葉書1	○	1926	927	葉書表に「Monsieur Sato Tokyo Japan 東京下渋谷 佐藤恒丸先生」、「93 Rue de Vaugirard Paris」。葉書表に「□」消印あり。葉書裏に「高木背水」の書込みあり。
78-136	龍	葉書	葉書1	○	1904	1106	葉書表に「An Herrn Dr. T. Satō. Hochwohlgeboren. Jaaoan Tokio. [東京市小石川区] 佐藤恒丸様」。葉書表に「STRAS□」消印あり。葉書内容に「当地ニテ日本ノ連戦連勝ヲ盛ニ賞揚致シロシ肩身廣ク感シ候」、「今度当地ノ「ホーフマイステル」先生ノ所ニ転学科シ医化学実習ノ心組ニ御座候」の記述あり。
78-137	Carl Neuberg	葉書	葉書1	○	1910	508	葉書表に「[Dr. Sato Tokio (Japan)]」、「Carl Neuberg」。葉書表に「KÖNIGSTEIN」消印あり。葉書裏に「Abs. Prof. Neuberg. Berlin」の書込みあり。
78-138	中山[政男]／中泉行徳／若林虎吾	葉書	葉書1	○	1910	724	葉書表に「[Dr. T. Sato, Tokio, Japan] [東京小石川区] 佐藤恒丸様」。葉書表に「MUENCHEN」消印あり。葉書裏に「中山政男 中泉行徳」の書込みあり。
78-139	N. Hashimoto [橋本長俊]	葉書	葉書1	○	1908	1231	葉書表に「Monsieur b Dr. Sato [Munchien] Deu[ts]che land 佐藤軍医殿」、「N. Hashimoto [(Versailles)]」。葉書表に「VERSAILLES」消印あり。
78-140	[差出人不明]	葉書	葉書1	○	1910	110	葉書表に「Dr. T. Sato. [München]」。差出人名無。葉書表に「BERLIN.N」消印あり。
78-141	古城胤秀	葉書	葉書1	○	1922	101	葉書表に「[Tokio Japan] [東京市小石川区] 佐藤恒丸閣下」、「米国ワシントン 古城胤秀」。葉書表に「WASHINGTON D.C.」消印あり。
78-142	高木背水	葉書	葉書1	○	[1932-1943?]	1104	葉書表に「MR T. Sato Tokyo Japan [東京渋谷永住町] 佐藤恒丸閣下」、「高木背水 巴理市外ニテ」。葉書表に「C□AMAR□」消印あり。
78-143	[林]春雄	葉書	葉書1	○	1904	508	葉書表に「T. Sato Esq c/o Japanese Legation. Pekin g. China. 大清国北京日本公使館陸軍一等軍医医学士 佐藤恒丸殿」。葉書表に「STRASSBURG」および「上海 / SHANGHAI」消印あり。
78-144	Y.Wada=和田八千穂	葉書	葉書1	○	1908	1213	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) [Berlin]」。葉書裏に「13. XII. 08 Y. Wada.」。葉書表に「HALLE」消印あり。
78-145	ヒポター [Franz Hübotter]	葉書	葉書1	○	1908	1119	葉書表に「Herrn Oberstabsarzt Dr. Sato [Berlin]」。葉書裏に「[ロンドン]」「ヒポター学士」。葉書表に「STOKE NEWINGTON」消印あり。※ストーク・ニューイントン(イギリス、ロンドン郊外)
78-146	A. Munthe[Axel Munthe]	葉書	葉書1	○	1909	103	葉書表に「Monsieur le D' Sato [Berlin]」、「A□」。葉書表に「BELFORT」消印あり。※BELFORT(ベルフォール)=フランスの東部、ブルゴーニュ地方。
78-147	Rudolf Kowalk	葉書	葉書1	○	1910	6029	葉書表に「Herrn Generaloberarzt □ Dr. Sato Hochwohlgeboren Tokio Riku Gun. Y. Gakko」、「Kowalk」。葉書表に「BAD MÜNSTER A STEIN」消印あり。葉書表に「軍達別料カ」の書込みあり。
78-148	Rudolf Kowalk	葉書	葉書1	○	1932	432	葉書表に「Herrn Dr. Sato Tokio(Japan) Shibuja Nagasumi 14」、「(Ihr alter) Kowalk」。葉書表に「NEUBABELSBERG」消印あり。葉書表に「永住 サトー」の書込みあり。
78-149	R. Amenomiya [雨宮量七郎]	葉書	葉書1	○	1909	1023	葉書表に「An Herrn Dr. T. Sato aus Japan b/ Fr. Renken Hamburg(Altona) Goethe str. 24 pt.」、「Berlin, I. 23 Okt. 09」。葉書裏に「R. A□」。葉書表に「BERLIN.N.W.」消印あり。
78-150	A. Munthe[Axel Munthe]	葉書	葉書1	○	1909	5014	葉書表に「Monsieur le Docteur Sato [Berlin]」、「A□」。葉書表に「BELFORT」消印あり。※BELFORT(ベルフォール)=フランスの東部、ブルゴーニュ地方。
78-151	Heyrich, Elke	葉書	葉書1	○	1909	703	葉書表に「Herrn Dr. Sato bei Frau Bredow [Berlin]」。葉書表に「GÖTTINGEN」消印あり。
78-152	Rudolf Kowalk	葉書	葉書1	○	1908	1230	葉書表に「Herrn Oberstabsarzt Dr. Sato Hochwohlgeboren Berlin N Kesselstr. 29」、「Familie Kowalk」。葉書表に「BERLIN.N.W.」消印あり。
78-153	[Drカ] von Lotzbeck	葉書	葉書1	○	1910	707	葉書表に「Dr. T. Sato Nr.35 Kobinata Daimachi, Koishikawa Tokio Japan」、「Von L□」。葉書表に「FELDAFING」消印あり。葉書表に「小日向台二ノ三五 サト」の書込みあり。
78-154	Rudolf Kowalk	葉書	葉書1	○	1932	121	葉書表に「Herrn Dr. Sato Tokio Shibuja Nagasumi 14」。葉書裏に「□ kowalk?」。葉書表に「NEUBABELSBERG」消印あり。葉書表に「永住一四 サトウ」の書込みあり。

78-155	Dr. Karczag	葉書	葉書1	○	1909	810	葉書表に「Herrn Dr. Karczag Physiolog. Institut in Napoli (Italien)」。葉書裏に「Dr Sato」。葉書表に「BERLIN.N.W.」および「SCONOSCIUTO」消印あり。葉書表に「永住一四サトウ」の書込みあり。葉書裏に「此ハガキハ明治四十二年八月十日ナポリノドクトルカルチャック宛ニ送リタルヲ受取人不在ノ為十一月九日伯林ヲ経テアルトナヘ帰着シタルモノナリ」の書込みあり。 ※Ladislaus Karczag ※Physiolog Institut=生理学研究所 ※SCONOSCIUTO(伊語)=不明の、未知の(アドレス不明で返送)
78-156	Dr. Karczag	葉書	葉書1	○	1909	318	葉書表に「Herrn T. Sato Hochwohlgeb. [Berlin]」。葉書裏に「Dr. Karczag」。葉書表に「BUDAPEST」消印あり。
78-157	Dr. Karczag	葉書	葉書1	○	1909	318	葉書表に「Hochwohlgeb. Herrn T. Sato Hochwohlgeb. [Berlin]」。葉書裏に「Dr. Karczag」。葉書表に「BUDAPEST」消印あり。
78-158	Rudolf Kowalk	葉書	葉書1	○	1909	316	葉書表に「Herrn Generalobrtarzt Sato Hochwohlgeboren [Berlin]」、Kowalk」。葉書表に「STETTIN」消印あり。
78-159	Rudolf Kowalk	葉書	葉書1	○	1913	617	葉書表に「Herrn Generaloberarzt Dr. Sato Hochwohlgeboren Söul (Japan) Keijo Yeiju Bioin」。葉書表に「Berlin West Fürtherstr. 7」、Kowalk」。葉書表に「BERLIN.W」消印あり。葉書表に「衛戍病院 竜山」の書込みあり。
78-160	Y.Wada[和田八千穂]	葉書	葉書1	○	1908	109	葉書表に「Herrn Dr. med. T. Sato (aus Japan) [Berlin]」。葉書裏に「和口生執筆」、Gruss aus Warnemünde Y.Wada」。葉書表に「WARNEMÜNDE」消印あり。葉書内容に「「コペンハーゲン」ニ参リマス」の記述あり。
78-161	A. Munthe[Axel Munthe]	葉書	葉書1	○	1909	414	葉書表に「Monsieur le Docteur Sato. [Berlin]」、A□」。葉書表に「BEL[FORT]」消印あり。 ※BELFORT(ベルフォール)=フランスの東部、ブルゴーニュ地方。
78-162	Yamaguchi [山口]	葉書	葉書1	○	1908	723	葉書表に「Hochwohlgeboren Herrn Dr. Sato [Berlin]」。葉書表に「Yamaguchi」。葉書表に「PORT-SAID」消印あり。
78-163	Dr. Yie	葉書	葉書1	○	1908	[月日不明]	葉書表に「AI□ Dr med. Sato [Berlin]」。葉書表に「Dr □ie」。葉書表に「BA□TI□」消印あり。
78-164	Y. Ban	葉書	葉書1	○	1908	303	葉書表に「Herr. Dr. T. Sato. bei Fr. Bredow [Berlin]」。葉書裏に「Y. Ban [Shanghai]」。葉書表に「SCHANGHAI CHINA」および「BERLIN.N 8.4.1908」消印あり。 ※「SCHANGHAI」=上海のドイツ語表記。
78-165	Crüger	葉書	葉書1	○	1909	411	葉書表に「Herrn Dr. Sato. □ [Berlin]」。葉書表に「□rü□」。葉書表に「SPANDAU」消印あり。 ※SPANDAU=ベルリン州の西部
78-166	Amenomiya [雨宮量七郎]	葉書	葉書1	○	1908	728	葉書表に「Herrn Dr. mad. T. Sato. [Berlin]」。葉書表に「Amenomiya」[雨宮カ]。葉書表に「BERLIN.N」消印あり。
78-167	Dr. Hübotter[Franz Hübotter]	葉書	葉書1	○	1909	614	葉書表に「Herrn Oberstabsarzt Dr. Sato [Berlin]」。葉書表に「Dr. Hübotter」。葉書表に「PARIS」消印あり、消印の日付は「1909.8.14」。
78-168	Erna Gollmer	葉書	葉書1	○	1912	101	葉書表に「Herrn Generalstabsarzt Dr. Sato. P.adr. Keijo Yeiju Bioin. Keijo Korea.」。葉書表に「wünscht Ihnen Erna Gollmer. Kesselstr. 29.」。葉書表に「BERLIN.N」およびロシア語「K O P I Я」消印あり。葉書表に「衛戍病院」の書込みあり。 ※Generalstabsarzt=軍医総監
78-169	三内	葉書	葉書1	○	1927	106	葉書表に「General T. Sato Tokyo Japan [東京市外下渋谷] 佐藤恒丸閣下」。葉書裏に「Jun. 6. '27 T. Sannai」。葉書裏に「三内」の書込みあり。葉書表に「ALBUQUERQUE. N. MEX.」消印あり。 ※ニューメキシコ州アルバカーキ
78-170	田村[中佐]	葉書	葉書1	○	1910	407	葉書表に「Tokyo Japan 東京市糀町区陸軍々医学校 二等軍医正 佐藤恒丸殿」。葉書表に「STGLITZ」消印あり。 ※シュテーグリッツ(ベルリン郊外)
78-171	久保田政周	葉書	葉書1	○	1909	613	葉書表に「Herrn Dr. Sato Hochwohlgeboren [Berlin]」。葉書表に「BERLIN.W」消印あり。

78-172	Kowalk, Rudolf	葉書	葉書1	○	1936	801	葉書表に「Herrn Dr. Sato Tokio (Japan) Shibuya Nagasumi 14」。葉書表に「Dr. Kowalk」の書込みあり。葉書表に「永住一四 サトウ」の書込みあり。葉書表に「NOWAWES」消印あり。※NOWAWES=ポツダム郊外。
78-173	Kowalk, Rudolf	葉書	葉書1	○	1935	101	葉書表に「Herrn Dr. Sato Tokio (Japan) Shibuya Nagasumi 14」、「Kowalk Neubabelsberg Berlin」。葉書表に「永住一四 サト氏」書込みあり。葉書表に「NEUBABELSBERG」消印あり。※ノイバーベルスベルグドイツ
78-174	Kowalk, Rudolf, Kamienska, Elvira	葉書	葉書1	○	1936	124	葉書表に「Herrn Dr. Sato Nagasumi 14 Tokio-Shibuya」、「Dr. Kowalk」。葉書表に「永住一七[ママ:四カ] サトウ」の書込みあり。葉書表に「BERLIN-CHARLOTTENBURG2」消印あり。※ベルリン-シャルロテンブルク
78-175	鈴木朝資	葉書	葉書1	○	1909	627	葉書表に「Herrn Dr. Satoo Hochwohlgeboren [Berlin]」。葉書表に「BERLIN.W」消印あり。
78-176	Kowalk, Rudolf	葉書	葉書1	○	1909	618	葉書表に「Herrn Generaloberarzt Dr. Sato Hochwohlgeboren [Berlin N]」。葉書表に「FALKENBURG」消印あり。
78-177	真一	葉書	葉書1	○	1909	603	葉書表に「□ Dr. Sato [Berlin]」。葉書表に「FRANKFURT」消印あり。
78-178	[差出人なし・日本人]	葉書	葉書1	○	[1908-1909?]	1019	葉書表に「Herrn Dr. Ts. Sato. [Berlin]」。葉書表に「BAIL□」消印あり。
78-179	Fr. Bredow, N. Schwartze	葉書	葉書1	○	1909	607	葉書表に「Herrn Generaloberarzt Sato [Berlin]」。葉書表に「SCHLACHTENSEE」消印あり。※ベルリン、シュラハテン湖
78-180	水野礼司	葉書	葉書1	○	1927	903	葉書表に「Prof. Dr. T. Sato. Tokyo. Japan 東京市外下渋谷 日本赤十字社病院 佐藤恒丸様」。葉書裏に「水野礼司」の書込みあり。葉書表に「NEW YORK. N. Y」消印あり。※ニューメキシコ州アルバカーキ
78-181	岩一生[岩田一カ]	葉書	葉書1	○	1910	409	葉書表に「Herrn General oberarzt Dr. T. Sato Hochwohlgeb. Tokyo Jaoan 東京(九段□)陸軍々医学校 陸軍二等軍医正 佐藤恒丸殿」。葉書表に「BERLIN.N」消印あり。
78-182	[差出人なし]	葉書	葉書1	○	1909	1125	葉書表に「Monsieur le Dr. Sato Bei Frau Renken Goethestr. 24p Altona Deut[s]ch[e]land」、「L' Ambassade du Japon Paris」。葉書表に「VERSAILLES」消印あり。消印の日付は「26-10/09」。※差出人の記載は無いが、パリの日本大使館と記述されている。
78-183	真一	葉書	葉書1	○	1909	1023	葉書表に「Monsieur le Dr Sato [以下削除:Kessel str 29 Berlin N.W. Allemagne]」。住所転移のため訂正の書込みあり。葉書表に「A Θ H N A I」消印あり。消印の日付は「26-10/09」。※ギリシャ、アテナ
78-184	広瀬藤五郎	葉書	葉書1	○	[1908-1909?]	809	葉書表に「Dr. T. Sato. [Berlin]」、「塙都「ヴイン」にて 廣瀬藤五郎」。葉書表に「□」消印あり。
78-185	新宮涼男	葉書	葉書1	○	[1908-1909?]	816	葉書表に「Herrn Generaloberarzt Dr. Satō Hochwohlgeb. [以下削除:Berlin Kesselstr. 29]」。住所転移のため「20/8 Wien」他の訂正の書込みあり。葉書表に「□」消印あり。
78-186	Crüger	葉書	葉書1	○	1908	814	葉書表に「Herrn Dr. Sato [Berlin]」。葉書表に「NAP□」消印あり。
78-187	Kowalk, Rudolf	葉書	葉書1	○	1909	728	葉書表に「Herrn Generaloberarzt Dr. Sato Hochwohlgeboren [Berlin]」。葉書表に「DREI-AEHREN」消印あり。
78-188	Kowalk, Rudolf	葉書	葉書1	○	1909	508	葉書表に「Herrn Generaloberarzt Dr. Sato [Berlin]」。葉書表に「HEIDELBERG」消印あり。
78-189	角田隆	葉書	葉書1	○	1909	725	葉書表に「Herrn Dr. Sato [Berlin]」。葉書表に「MARSEILLE-GARE」消印あり。※マルセイユ駅(フランス)
78-190	戸田謙二	葉書	葉書1	○	1908	309	葉書表に「Dr. T. Sato bei Frau Breslow [Berlin]」。葉書表に「PHILADELPHIA」消印あり。
78-191	Heyrich, Elke	葉書	葉書1	○	1910	817	葉書表に「Japan Herrn Dr. Sato Tokio n. 35 T Kobinata Daimachi Koishikawa.」、「□ Heyrich」。葉書表に「□ノノ三五 サトー」書込みあり。葉書表に「BERLIN.N」消印あり。葉書裏に「□ Heyrich」の書込みあり。※小日向台町、小石川

78-192	若林虎吾／高	葉書	葉書1	○	1910	822	葉書表に「Generaloberarzt Dr. T. Sato, Tokio Japan [東京市小石川区] 佐藤軍医正殿」。葉書表に「BERLIN.NW」消印あり。葉書裏に「若林 高」の書込みあり。
78-193	川嶋明八	葉書	葉書1	○	1913	404	葉書表に「Herrn Dr T. Sato Kesselstr. 29 III Berlin」。葉書表に「ROMA」消印あり。
78-194	川村麟也、川島慶治	葉書	葉書1	○	1910	905	葉書表に「Herrn Generalobersarzt Dr.Sato Soul Japan-Korea 韓京城衛戍病院二等軍医 佐藤恒丸殿」。葉書裏に「mit bestem Gruß / 5. □□□. 1910」および「川村麟也川島慶治」の書込みあり。
78-195	御子柴影行	葉書	葉書1	○	[年不明]	717	葉書表に「日本 東京市外 渋谷町永住十四 佐藤恒丸殿」、「上海北四川路一八〇 御子柴影行」。葉書表に「SHANGHAI / 上海」消印あり。葉書裏に「御子柴影行」の加筆あり。
78-196	川島	葉書	葉書1	○	1909	1203	葉書表に「Herrn Dr. Sato bei Pension Regina München Elisabethstr. 19i」。葉書表に「BERLIN.N」消印あり。葉書裏に「gruss aus Berlin Kawashima 3/XII.09.」の書込みあり。
78-197	Dr. Iwata[岩田]	葉書	葉書1	○	1909	1107	葉書表に「Herrn Generalobersatz Dr. T. Sato Hochwohlgeboren Goethestr. 24 p r bei FrauRenken Altona (Elbe)」、 「Abs. Dr. Iwata Invalidenstr. 40iii, bei Frau Windtke, Berlin」。葉書表に「BERLIN.N」消印あり。葉書裏に日本語での書込みあり。日付が11月3日。
78-198	田原鎮雄	葉書	葉書1	○	1923	320	葉書表に「Mr. T. Sato Esq. Tokyo Japan」。
78-199	堀内次雄	葉書	葉書1	○	1916	1010	葉書表に「Prof. T. Sato Esq. Korea Japan」。
78-200	S. Uemura[植村俊二カ]	葉書	葉書1	○	1916	312	葉書表に「T. Sato Esq. Chosen, Japan 朝鮮京城龍山衛戍病院 佐藤恒丸」。葉書裏に「12.März1916, S. Uemura」の書込みあり。
78-201	S. Uemura[植村俊二カ]	葉書	葉書1	○	1915	820	葉書表に「Prof. T. Sato Korea, Japan 朝鮮京城龍山衛戍病院 佐藤恒丸」。葉書裏に「12.März1916, S. Uemura」および「c/o YMCA, 2330 Calamet Ave, Chicago, USA」の書込みあり。
78-202	横山	葉書	葉書1	○	[1908-1909?]	711	葉書表に「Monsieur le Dr. Sato Kesselstr. 29 Berlin N.W.」。葉書表に「Ostende (Station)」消印あり。
78-203	梶浦軍医正	葉書	葉書1	○	1928	1126	葉書表に「Herrn Prof. Dr. T. Sato Tokyo Japan」。葉書表に「Berlin Charlottenburg」消印あり。
78-204	[差出人不明]	葉書	葉書1	○	1909	729	葉書表に「An Herrn Dr.T. Sato Kesselstr. 29ii, Berlin N.W., Deutschland」。葉書表に「ZUERICH」消印あり。
78-205	Dr. N. Suitsu[水津カ]	葉書	葉書1	○	1919	713	葉書表に「Prof. T. Sato Chosen Japan」。葉書表に「Philadelphina」消印あり。
78-206	角田隆	葉書	葉書1	○	1909	1107	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato bei Frau Renken Altona Göthestr. 24P.」。葉書表に「Postkarte」書込みあり。葉書裏に「Tsunoda Resp□□□」の書込みあり。葉書表に「Berlin」消印あり。
78-207	多宝生[カ]	葉書	葉書1	○	1909	115	葉書表に「Dr. T. Sato Kesselstrasse 29 Berlin N. Alemania」。葉書表に「Madrid」消印あり。
78-208	A. Mallegans[カ]	葉書	葉書1	○	1909	405	葉書表に「Herrn Dr. Satou Pathologisches Institut an der Charite Berlin」。葉書裏「Mallegans」の書込みあり。葉書表に「München 2 BP」消印あり。
78-209	梅谷	葉書	葉書1	○	1930	201	葉書表に「Mr. T. Sato, Tokio Japan」。※切手はBrasilのもの。
78-210	石原□□	葉書	葉書1	○	1927	504	葉書表に「Herrn Dr. t. Sato Tokio Japan」。葉書表に「Marburg」消印あり。
78-211	川崎生	葉書	葉書1	○	1908	1203	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato Berlin Kesselstr. 29」。葉書表に「München」消印あり。
78-212	A. Mallegans[カ]	葉書	葉書1	○	1909	516	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) Berlin N Kesselstr. 28」、 「Berlin N W」消印あり。葉書の裏に「Herzlichen Abschiedsgruß Berlin NAME , den, 16. Mai 1909」
78-213	中沢生 三好軍医 氏家医正	葉書	葉書1	○	1909	112	葉書表に「Herrn Dr. Sato Berlin N Kesselstr. 29」。葉書表に「München」消印あり。
78-214	Y.Wada[和田八千穂]	葉書	葉書1	○	1909	129	葉書表に「Herrn Dr. Sato (aus Japan) Berlin Kesselstr. 29」、 「Karl Vinohrady 1 ?」消印あり。「Berlin N」消印あり。葉書裏に「Gruss aus Prag」書込みあり。

78-215	S.Kajiura [梶浦捨松カ]	葉書	葉書1	○	1908	1009	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato Kesselstr. 29 Berlin N.」、「Berlin N」消印あり。葉書裏に「S. Kajimura[カ] Glen Tower 81 St. Georges Av. London」書込みあり。
78-216	Inouye, June[井上カ]	葉書	葉書1	○	1925	612	葉書表に「Greetings from Singapore June Unouye」。葉書裏に「Singapore」消印あり。
78-217	Dr. Kawashima[川島カ]	葉書	葉書1	○	1910	405	葉書表に「An Generaloberarzt Herrn Dr. Sato Tokio Japan」。葉書表に「Berlin NW」消印あり。葉書裏に日本語の書込みあり。
78-218	Dr. Hübotter[Franz Hübotter]	葉書	葉書1	○	1908	1022	葉書表に「Herrn Oberstabsarzt Dr. Sato Kesselstr. 29 Berlin N 4 Germany」。
78-219	北村徐雲	葉書	葉書1	○	1907	101	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato Tokio Japan」。葉書表に「Berlin NW」消印あり。葉書裏に日本語の書込みあり。
78-220	尾中守三	葉書	葉書1	○	1909	1231	葉書表に「An Herrn Dr. T. Sato München Elisabethenstr. 19I」。葉書表に「Berlin NW」消印あり。
78-221	[差出人不明]	葉書	葉書1	○	1901	1231	絵書表に「An Herrn Dr. T. Sato Tokyo, Japan」。葉書表に「Berlin NW」消印あり。葉書裏に「Philippstr. 6」の書込みあり。
78-222	勝野克己	葉書	葉書1	○	[年不明]	1210	葉書表に「東京市外下渋谷町豊分一七 佐藤恒丸閣下 Tokio Japan」、「カルカット口口 グランドホテル 勝野克己」。葉書裏に「勝野克己」の加筆あり。葉書表に「CALCUTTA」消印あり。
78-223	佐藤生	葉書	葉書1	○	1909	607	葉書表に「An Herrn Dr. T. Sato, Kesselstr. 29」。葉書表に「Charlottenburg」消印あり。
78-224	隆吉	葉書	葉書1	○	1908	824	葉書表に「Madame Sato Tokio Japan」。
78-225	Dr. Kawashima[川島慶次郎]	葉書	葉書1	○	1915	1213	葉書表に「Drucksache L. 26 Herrn Generaloberarzt Dr. Sato Chosen Japan」。葉書表に「Berlin NW」消印あり。葉書裏に「川島慶次郎」の加筆あり。
78-226	□□□□	葉書	葉書1	○	1909	524	葉書表に「Herrn Dr. T. Satho, Hochwohlgeboren Kesselstr. 29」。葉書表に「Marburg」消印あり。
78-227	宗正	葉書	葉書1	○	1910	401	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) Elisabethenstr. 19 I. München」。葉書表に「Giessen」消印あり。葉書裏に「川島慶口」の加筆あり。
78-228	霞安[カ]生、西村生、賀屋	葉書	葉書1	○	1907	415	葉書表に「佐藤恒丸殿 東京小石川小日向町一丁目廿五 Japan, Tokyo」。葉書裏に「佐々木隆興」他の書込みあり。
78-229	Dr. Susumu Watanabe[渡辺カ]	葉書	葉書1	○	1919	816	葉書表に「Hochwohlgeb. Herrn Prof. Dr. T. Sato, Rinsan, Keijo, Japan」、「Dr. Susumu Watanabe Lenzgasse 25, Basle, Switzerland」。葉書表に「BASEL」消印あり。
78-230	梶浦隆二	葉書	葉書1	○	1928	630	葉書表に「Herrn Generaloberstabsarzt Sato, Shibuya-machi, Tokyo, Japan」。葉書表に「BERLIN W」消印あり。
78-231	藤田病院	葉書	葉書1	○	1923	101	葉書表に「Via Amerique Monsieur Sato, Tokio, Japon」。
78-232	伊藤[軍医正]	葉書	葉書1	○	1923	112	葉書表に「General. Sato, Tokio, Japon」。葉書表に「Budapest」消印あり。葉書裏に「伊藤軍医正」の加筆あり。
78-233	Dr. N. Suitsu[水津カ]	葉書	葉書1	○	1919	1020	葉書表に「Prof. Sato, Rinsan, Chosen Japan」。葉書表に「Philadelphia」消印あり
78-234	龍	葉書	葉書1	○	1922	712	葉書表に「An Herrn Dr. T. Sato, aus(消しマーク),Tokyo, Japan」。葉書表に「Wuerzburg」消印あり。
78-235	龍	葉書	葉書1	○	1936	1020	葉書表に「An Herrn Dr. T. Sato, ,Tokyo, Japan」、「Wuerzburg」消印あり。
78-236	高木背水	葉書	葉書1	○	1926		葉書表に「Mr Sato, ,Tokyo, Japan」。
78-237	Higashi[カ][東カ]	葉書	葉書1	○	[年不明]	515	葉書表に「Mr T. Sato, Tokyo, Japan」。葉書表に「SIMLA」消印あり。葉書裏に「Higashi, US Climb, Simla」の書込みあり。
78-238	龍	葉書	葉書1	○	1905	806	葉書表に「Via America An Herrn Dr. T. Sato, Hochwohlgeboren, Japan, Tokio」。葉書表に「Strassburg」消印あり。
78-239	鳥山[カ]	葉書	葉書1	○	[1908-1909?]	810	葉書表に「Hochwohlgeboren Herrn Dr. T. Sato Berlin Kesselstraße 29」。

78-240	□□□	葉書	葉書1	○	1897	909	葉書表に「Monsieur le docteur Sato, Himeji, Japon」。葉書表に「Trellborg-Sassnitz」消印あり。
78-241	高木背水	葉書	葉書1	○	1927	511	葉書表に「Via Siberia Mr T. Sato, Tokyo, Japan」。葉書表に「Richmond Surrey」消印あり。
78-242	高木背水	葉書	葉書1	○	[年不明]	301	葉書表に「Via Siberia Monsieur T. Sato, Tokyo, Japan」。
78-243	七郎[カ]	葉書	葉書1	○	[年不明]	1204	葉書表に「Colonel T. Sato, Elisabethstr. 19, Pension Regina, München, Germany」。葉書表に「South Kensington SW」消印あり。
78-244	相馬半治	葉書	葉書1	○	[年不明]	505	葉書表に「Tokyo Japan」。葉書裏に「相馬半治」の加筆あり。
78-245	梶浦	葉書	葉書1	○	[年不明]	829	葉書表に「Dr. T. Sato, 146, Park Road, Stockwell, Brixton」。葉書表に「Holloway」消印あり。
78-246	[差出人不明]	葉書	葉書1	○	[年不明]	828	葉書表に「Major Sato, c/o Mrs. McCandle, 146 Stockwell Park Rd, Brixton S.W.」。葉書表に「□aling W.」消印あり。
78-247	中沢達三	葉書	葉書1	○	1908	526	葉書表に「Postkarte Herrn Dr. Sato Berlin Kesselstraße 29」。
78-248	□□□□	葉書	葉書1	○	1908	505	葉書表に「MajorLeutenant Sato, c/o Japanese Embassy, Berlin」。葉書表に「Mockba」消印あり。 ※Mockba=Moscow
78-249	□[78-248と同一人物カ]	葉書	葉書1	○	[年不明]	520	葉書表に「Herrn Sato (aus Japan) Hochwohlgeboren Berlin Kessel Straße 29」。
78-250	G. Kuwaki[カ]	葉書	葉書1	○	1908	505	葉書表に「Herrn Dr. Sato Hier Kesselstraße 29」(※hier=英語hereのドイツ語、Berlinを指す)、「Leipzig, Braustr. 1, bei Fr. Schön[カ], [bei Dr. Shionoya]」。葉書表に「Berlin W」消印あり。
78-251	Dr. S. Kano[加納作太郎]	葉書	葉書1	○	1908	919	葉書表に「Herrn Dr. Sato (aus Japan) Berlin Kesselstraße 29」。葉書裏に「Dr. S. Kano, Luitpoldstr. 28II, Erlangen.」。葉書表に「Erlangen」消印あり。葉書表の文中に「Prof. Denker」の記述あり。
78-252	阪[カ]本	葉書	葉書1	○	1913	920	葉書表に「Herrn Dr. Sato (aus Japan) Berlin Kesselstraße 29」。葉書表に「Roma」消印あり。
78-253	隆□	葉書	葉書1	○	1908	921	葉書表に「An Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) Berlin Kesselstraße 29」。葉書表に「V□□burg」消印あり。
78-254	川崎生	葉書	葉書1	○	1908	204	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato Kesselstraße 29III Berlin」。葉書裏に「川崎生 bei Fr. Fanny Michal, Adalbertstr. 33I München」。葉書表に「München」消印あり。
78-255	三好	葉書	葉書1	○	1908	129	葉書表に「Herrn Dr. Sato (aus Japan) Kesselstraße 29 Berlin」。葉書表に「Berlin W」消印あり。葉書裏に「一月二十九日三好氏Dr」の加筆あり。
78-256	牧田太	葉書	葉書1	○	1908	127	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato hochwohlgeboren Berlin Kesselstraße 29III bei Frau Bredow」。葉書表に「Heidelberg」消印あり。
78-257	恒家[カ]	葉書	葉書1	○	1908	315	葉書表に「Herrn Dr. Sato (aus Japan) Berlin Kesselstraße 29」。葉書表に「Würzburg」消印あり。
78-258	木医生[カ]	葉書	葉書1	○	1908	309	葉書表に「Herrn Dr. Kayan. Sato Kesselstraße 29III Berlin Deutschland」
78-259	川崎生	葉書	葉書1	○	1908	316	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato Kesselstraße 29III Berlin」。
78-260	橋本長俊	葉書	葉書1	○	1913	305	葉書表に「Monsieur Dr. Sato bei Frau Bredow Kesselstr. 29III (Allemagne) Berlin」。葉書表に「Paris」消印あり。
78-261	三好	葉書	葉書1	○	[年不明]	302	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato u. Kaya (aus Japan) Kesselstraße 30 Berlin」。切手はフランスのもの。
78-262	S. Yamaguchi[山口カ]	葉書	葉書1	○	1908	128	葉書表に「Herrn Oberstabsarzt Dr. T. Sato. [削除: Kaiserlich Japanische Botschaft in Berlin Blumenhof 12] Germany」、「Kesselstraße. 29.」。葉書表に「London」消印あり。



78-263	Y.Wada[和田八千穂]	葉書	葉書1	○	1908	115	葉書表に「Monsieur le Docteur T. Sato du Japon Belfort Frankreich」。葉書表に「Berlin W.」消印あり。
78-264	三好	葉書	葉書1	○	1908	102	葉書表に「Herrn Dr. Sato aus Japan hier Kesselstr. 29」。葉書表に「Berlin N W」消印あり。
78-265	M. Matsuda[松田]	葉書	葉書1	○	1908	120	葉書表に「Monsieur T. Sato chez l'ambassade du Japon Berlin Allemange」、「Kesselstr. 29III」。葉書表に「Bruxelles.」消印あり。
78-266	引田[乾作カ]	葉書	葉書1	○	1908	120	葉書表に「Herrn Dr. Sato Hochwohlgeboren Berlin Kesselstr. 29III adr. Frau Bredow」。葉書表に「München」消印あり。
78-267	Dr. H. Shiota[塩田カ]	葉書	葉書1	○	1903	502	葉書表に「Herrn Dr. Sato Berlin Kesselstr. 29」。葉書表に「Wien」消印あり。葉書表に「Dr. H. Shiota Wien 1X Eisengasse 2」スタンプあり。
78-268	三好	葉書	葉書1	○	1905	122	葉書表に「Herrn Dr. Sato (aus Japan) hier Kesselstr. 29」。葉書表に「Berlin N W」消印あり。
78-269	中原生	葉書	葉書1	○	1908	116	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) Paris, France, by ambassade du Japon」、葉書裏に「Schönleinstr. 5II Würzburg」。葉書表に「Würzburg」消印あり。
78-270	中原生	葉書	葉書1	○	[1908-1909?]	429	葉書表に「Herrn Dr. Sato (aus Japan) Berlin Kesselstr. 29」。葉書表に「Würzburg」消印あり。
78-271	橋本長俊	葉書	葉書1	○	1906	229	葉書表に「Monsieur Le Dr. Sato bei Frau Bredow Kesselstr 29III (Deutschland) Berlin」。葉書表に「Paris Seine」消印あり。
78-272	秦佐八郎	葉書	葉書1	○	1908	501	葉書表に「An Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) Berlin Kesselstr. 29」、葉書裏に「Andrees Rathenower Str. II, Moabit」。葉書表に「Berlin W」消印あり。
78-273	K. Muto[武藤喜一郎カ]	葉書	葉書1	○	1909	1119	葉書表に「An Herrn Dr. T. Sato Goethestr. 24p. bei Fr. Renken, Altna Deutschland」、葉書裏に「K. Muto Luisenstr. 67II. Berlin NW」。葉書表に「Berlin W」消印あり。
78-274	戸上	葉書	葉書1	○	1908	1101	葉書表に「Herrn Dr. Sato Berlin Kesselstr. 29」。葉書表に「Charlottenburg」消印あり。
78-275	山口修一	葉書	葉書1	○	1908	222	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato bei Fr. Bredow Kesselstr. 29III Berlin」。葉書表に「Kilburn」消印あり。
78-276	橋本長俊	葉書	葉書1	○	1908	213	葉書表に「Monsieur Le Dr. Sato L'ambassade du Japon (Allemagne) Berlin」、「Kesselstr. 29III」。葉書表に「Main a Paris」消印あり。
78-277	横前[カ]俊二	葉書	葉書1	○	1916	701	葉書表に「佐藤恒丸殿 Chosen Japan」。葉書表に「Basel 2」消印あり。
78-278	Y.Wada[和田八千穂カ]	葉書	葉書1	○	1908	1012	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) Berlin Kesselstr. 29III」。葉書表に「Berlin-Sassnitz」消印あり。
78-279	M. Kato	葉書	葉書1	○	1908	1015	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) Berlin Kesselstr. 29III」、「M. Goto Bahnhofstr. No 11. Freiberg in Sachsen」。葉書表に「Freiberg」消印あり。
78-280	梶浦捨松	葉書	葉書1	○	1908	1215	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato Kesselstr. 29 Berlin, N.I.」。葉書表に「Holloway」消印あり。
78-281	中沢達三	葉書	葉書1	○	1908	1107	葉書表に「Herrn Dr. med Sato Berlin Kesselstr. 29」。葉書表に「Marburg」消印あり。
78-282	T. Nakahara[中原徳太郎カ]	葉書	葉書1	○	1908	1105	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) Berlin Kesselstr. 29」。葉書表に「Heidelberg」消印あり。
78-283	西沢行蔵	葉書	葉書1	○	1911	101	葉書表に「朝鮮京城衛戍病院長 佐藤恒丸殿 Corea[ママ] Japam」、「伯林 西沢行蔵」。葉書表に「BERLIN. N」消印あり。葉書裏に「西沢行蔵」の加筆あり。
78-284	□□□	葉書	葉書1	○	1909	1109	葉書表に「Herrn Dr. Sato bei Frau Renken Altona (Elbe) Goethe Str. 24p.」。葉書表に「Berlin W.」消印あり。
78-285	N. Yamada[山田]	葉書	葉書1	○	[1909?]	908	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) by Frau Renken Altona Goethe Str. 24b」、葉書裏に「Besten Gruss aus Breslau 8.09 N. Yamada」。葉書表に「Breslau」消印あり。
78-286	角田隆	葉書	葉書1	○	1910	911	葉書表に「Post Karte Herrn Dr. T. Sato aus Japan Altona Goetestr. 24 P.」、葉書裏に「Herrn Dr. T. Sato Altona Abs. Tsunoda Kesselsrr. 29 Berlin」。葉書表に「Berlin N.」消印あり。

78-287	中山	葉書	葉書1	○	1909	1121	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato bei Fr. Renken, Goethestr. 24P.」。葉書表に「Berlin N.」消印あり。
78-288	遠藤道孝	葉書	葉書1	○	1912	105	葉書表に「via Siberia Herrn Generalstabsarzt T. Sato 朝鮮龍山京城衛戍病院長 Chosen Japan」、葉書表に「hier Uhlandstr. 148 Berlin」。葉書表に「Berlin W.」消印あり。
78-289	Dr. J. Misumi[三角恂カ]	葉書	葉書1	○	1908	629	葉書表に「Herrn Dr. med. T. Sato Berlin Kesselstraße 29」、葉書裏に「HerzlichstenGruss Dr. J. Misumi」。 「Bonn」消印あり。
78-290	森友[カ]	葉書	葉書1	○	1903	315	葉書表に「An Herrn Stabsarzt Dr. S. Sato Hochwohlgeboren Tokyo, Japan」とある。葉書表に「Berlin N. W.」消印あり。
78-291	川嶋明八	葉書	葉書1	○	[1908-1909?]	702	葉書表に「Herrn Dr. Sato Berlin Kesselstr. 29III」、「Adalbertstr. 33I」。葉書表に「München」消印あり。
78-292	永阪源一	葉書	葉書1	○	1926	326	葉書表に「Herrn Prof. T. Sato Tokio Japan」。葉書表に「London W.C.」消印あり。
78-293	凉男[新宮凉男]	葉書	葉書1	○	1909	128	葉書表に「Hochwohlgeb. Herrn Generaloberarzt Dr. Sato Berlin Kesselstr. 29」、「Adalbertstr. 33I」。葉書表に「Berlin N」消印あり。葉書裏に「28.1.09 S. Shisug[カ]u」の書込みあり。
78-294	kouzou[カ] 西沢生[カ]	葉書	葉書1	○	1929	627	葉書表に「Via Siberia T. Sato, Esq. Tokyo, Japan」、葉書裏に「Jun 27th 1929 Greeting from London. Yours sincerely, Shingo」。葉書表に「London W.」消印あり。
78-295	川嶋明八	葉書	葉書1	○	1908	421	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato Kesselstr. 29 Berlin」。葉書表に「München」消印あり。
78-296	阿久津三郎	葉書	葉書1	○	1902	1008	葉書表に「Herrn Dr. Sato Tokyo Japan via America」。切手はオーストリアのもの。
78-297	新宮口男	葉書	葉書1	○	1909	102	葉書表に「Herrn Generaloberarzt Sato Berlin Kesselstr. 29」、「Mariahilferstr. 12-16 Tür 7, Wien」。葉書表に「München, München Elisabethenstr. 19I □□□ 2/1」の書込みあり。葉書表に「Wien」消印あり。
78-298	春口	葉書	葉書1	○	1903	1229	葉書表に「Herrn Dr. Sato Tokio Japan」。葉書表に「Strassburg」消印あり。
78-299	T. Nakazawa[中沢達三カ]	葉書	葉書1	○	1908	425	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato Hochwohlgeb. Kesselstr. 29 Berlin」、葉書裏に「T. Nakazawa Biegenstr. 2」。葉書表に「Marburg」消印あり。
78-300	Y. Wada[和田八千穂]	葉書	葉書1	○	1908	426	葉書表に「Herrn Dr. Sato (aus Japan) Hier. Kesselstr. 29」。葉書表に「Berlin N.W.」消印あり。葉書裏に「April 26 Y. Wada」の書込みあり。
78-301	Dr. Sakai	葉書	葉書1	○	1909	1024	葉書表に「Herrn Dr. Sato Goethestr. 24 pt. Altona (Hamb urg) Bei Frau Renken」、 「Stabsarzt Dr. Sakai Ludiwgshafenerstr. 20 Strassburg i.E.」。葉書表に「Strassburg」消印あり。葉書裏に「April 26 Y. Wada」の書込みあり。
78-302	[差出人不明]	葉書	葉書1	○	[1928-1937?]	[月日不明]	葉書表に「Dr.T. Sato Tokio Japan」。Brasilの切手あり。
78-303	H. Ohira[大平カ]、R. Amenomiya[雨宮量七郎]	葉書	葉書1	○	1909	829	葉書表に「via Siberia Madame Sato Tokio Japan」。葉書表に「Pichelsdorf」消印あり。
78-304	角田隆、川島慶治	葉書	葉書1	○	1909	411	葉書表に「via Siberia Madame Sato Tokio Japan」。葉書表に「Berlin」消印あり。
78-305	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	1909	415	葉書表に「via Siberia Madame Sato Tokio Japan」。葉書表に「Le□」消印あり。
78-306	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	1909	412	葉書表に「via Siberia Madame Sato Tokio Japan」。葉書表に「Nürnberg」消印あり。
78-307	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	1909	418	葉書表に「via Siberia Madame Sato Tokio Japan」。葉書表に「Stuttgart」消印あり。
78-308	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	1909	419	葉書表に「via Siberia Madame Sato Tokio Japan」。葉書表に「Karlsruhe」消印あり。
78-309	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	1909	419	葉書表に「via Siberia Madame Sato Tokio Japan」。葉書表に「Baden Baden」消印あり。
78-310	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	1909	425	葉書表に「via Siberia Madame Sato Tokio Japan」。葉書表に「Altona」消印あり。
78-311	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	1910	211	葉書表に「Frau Dr. Sato Tokio Japan」。葉書表に「Berlin」消印あり。
78-312	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	1910	317	葉書表に「Madame Sato Tokio Japan」。葉書表に「Irkoutsk」消印あり。
78-313	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	[1910?]	306	葉書表に「Madame Sato Tokio Japan」。Wladiwostok(ロシア)から郵送されたと推定。
78-314	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	1908	808	葉書表に「Via Siberia Madame Sato Tokio Japan」。葉書表に「Potsdam」消印あり。
78-315	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	1908	812	葉書表に「Via Siberia Madame Sato Tokio Japan」。葉書表に「Berlin」消印あり。

78-316	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	1908	810	葉書表に「Via Siberia Madame Sato Tokio, Japan 小石川区小日向台町一丁目三十五佐藤梅子様」。葉書表に「POTSUDAM」消印あり。
78-317	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	1908	816	葉書表に「Via Siberia Madame Sato Tokio Japan」。葉書表に「Hannover」消印あり。
78-318	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	1908	914	葉書表に「Via Siberia Madame Sato Tokio Japan」。葉書表に「Berlin NW」消印あり。
78-319	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	1909	920	葉書表に「Carte Postale Via Siberia Madame Sato Tokio Japan」。葉書表に「Berlin NW」消印あり。
78-320	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	1909	922	葉書表に「Via Siberia Madame Sato Tokio Japan」。
78-321	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	1909	1016	葉書表に「Via Siberia Madame Sato Tokio Japan」。葉書表に「Grindelwald」消印あり。
78-322	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	1909	820	葉書表に「Carte Postale Via Siberia Madame Sato Tokio Japan」。葉書表に「Karlsbad」消印あり。
78-323	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	1909	127	葉書表に「Via Siberia Madame Sato Tokio Japan」。葉書表に「Berlin N」消印あり。
78-324	[佐藤]恒丸[佐藤梅子宛カ]	葉書	葉書1	○	[1908?]	111	封筒表に「一月十一日 其二」、「恒丸」の記述あり。
78-325	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	1908	1117	葉書表に「Via Siberia Madame Sato Tokio Japan」。葉書表に「Berlin N」消印あり。
78-326	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	1908	901	葉書表に「Via Siberia Madame Sato Tokio Japan」。葉書表に「Berlin N」消印あり。
78-327	佐藤恒丸[佐藤梅子宛カ]	葉書	葉書1	○	[1908-1909?]	531	葉書表に「Frau Dr. Sato Tokio Japan」とあり。ベルリンから発送されたと推定。
78-328	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	1908	330	葉書表に「Via Siberia 佐藤梅子殿 Tokio Japan」。葉書表に「Wannsee」消印あり。
78-329	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	1910	909	葉書表に「Via Siberia Madame Sato Tokio Japan」。葉書表に「Firenze」消印あり。
78-330	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	1909	1212	葉書表に「Carte Postale Via Siberia Tokio Japan」。葉書表に「München」消印あり。
78-331	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	1908	908	葉書表に「Via Siberia Madame Sato Tokio Japan」。葉書表に「Ruez」消印あり。
78-332	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	1908	920	葉書表に「Via Siberia Madame Sato Tokio Japan」。葉書表に「Bar Se□□」消印あり。
78-333	佐藤恒丸[佐藤梅子宛]	葉書	葉書1	○	1908	814	葉書表に「Via Siberia Madame Sato Tokio Japan」。葉書表に「Berlin N」消印あり。
78-334	Kowalk[カ]	葉書	葉書1	○	1908	717	葉書表に「Herrn Oberstabsarzt Dr.Sato Hochwohlgeboren Berlin W Kesselstr. 29」。葉書表に「Dresden」消印あり。
78-335	凉男[新宮凉男]	葉書	葉書1	○	1909	34	葉書表に「Hochwohlgeb. Herrn Generaloberarzt Sato Hier Kesselstr. 29」。葉書表に「Berlin N」消印あり。
78-336	長野文治	葉書	葉書1	○	1909	113	葉書表に「Hochwohlgeboren Herrn Dr. T. Sato in Berlin Kesselstr. 29」。葉書表に「Würzburg」消印あり。
78-337	藤井□□	葉書	葉書1	○	1913	716	葉書表に「Herrn Prof. Dr. T. Satoh Seoul Korea Japan」、葉書裏に「Adr. bei Frau Gohleack Geizbergstr. 41 Berlin W, 50」。葉書表に「Berlin W」消印あり。
78-338	S. Katayama	葉書	葉書1	○	1913	814	葉書表に「Herrn Prof. Dr. T. Satoh Seoul (Keijo) Japan Chosen Korea」。葉書表に「Würzburg」消印あり。
78-339	A. Fujinami[藤波鑑]	葉書	葉書1	○	1898	817	葉書表に「Tokyo Japan」、「A Fujinami, Neudorf bei Strassburg i. E., Heyritzweg 11」。葉書表に「Strassburg」消印あり。葉書裏の文中に「Wahrheit und Liebe」とドイツ語で書込みあり。
78-340	宮本叔	葉書	葉書1	○	[1898-1899?]	925	葉書表に「Monsieur T. Sato Tokyo Japan」。葉書表に「Marseilles」、「Vancouver」消印あり。
78-341	Dr. T. Nakabayashi	葉書	葉書1	○	1910	428	葉書表に「Via Sibiria An Herrn Dr. Generaloberarzt Sato Koishikawa Tokio Japan」。葉書表に「Berlin N」消印あり。
78-342	岩田一	葉書	葉書1	○	1910	501	葉書表に「Via Sibiria Herrn Dr. T. Sato Tokio Japan」。葉書表に「Werder (Havel)」消印あり。
78-343	恒雄	葉書	葉書1	○	30?	115	葉書表に「Mr. T. Sato Tokyo Japan」。葉書表に「Madrid」消印あり。
78-344	北山口	葉書	葉書1	○	1911	720	葉書表に「Via Sibirien Herrn Gen- ob.arzt Dr. Sato Hochwohlgeboren Chosen (Corea) Japan」。葉書表に「Dresden」消印あり。

78-345	川島慶治	葉書	葉書1	○	1910	512	葉書表に「Via Sibiria! Z.H.(=zu Händen, 宛)Herrn Generaloberarzt Dr. Sato Tokio Japan」。葉書表に「Berlin NW」消印あり。
78-346	川崎生	葉書	葉書1	○	1910	1029	葉書表に「Via Sibiria! Herrn Generaloberarzt Dr. Sato Tokio Japan」。葉書表に「Berlin NW」消印あり。
78-347	山田弘倫	葉書	葉書1	○	1910	103	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) München Elisabethstr. 19I」。葉書表に「Berlin」消印あり。
78-348	横山真一	葉書	葉書1	○	1910	320	葉書表に「Monsieur le Dr. Sato Elisabethstr. 19I Pension Regina München N.W. Allemagne」。葉書表に「Marceau」消印あり。
78-349	[差出人不明]	葉書	葉書1	○	1910	101	葉書表に「Herrn Dr. Sato bei Pension Regina Elisabethstr. 19I München」。葉書表に「Berlin」消印あり。
78-350	石田一	葉書	葉書1	○	1910	102	葉書表に「Herrn Generaloberarzt Dr. T. Sato Hochwohlgeboren München Elisabethstr. 19I」。葉書表に「Berlin N. W.」消印あり。
78-351	K. Kumagai[熊谷幸之輔]	葉書	葉書1	○	1909	1023	葉書表に「Herrn Generaloberarzt Dr. T. Sato Kesselstr. 29 Berlin NW」、葉書裏に「Prof. Dr. K. Kumagai Lüberstr. 26II. Giessen」。葉書表に「Altona (Elbe)」、「Altona Goethestr. 24 NP Renken ? 26/10」の書込みあり。葉書表に「Giessen」消印あり。
78-352	[和田]八千穂	葉書	葉書1	○	[1908-1910?]	118	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) Berlin Kesselstr. 29」。葉書表に「London」消印あり。
78-353	西村生	葉書	葉書1	○	1908	529	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) Berlin Kesselstr. 29III」。葉書表に「Charlottenburg」消印あり。
78-354	氏家参頭、山田基	葉書	葉書1	○	1917	821	葉書表に「H. Dr. General. Sato, Chosen Japan」。葉書表に「Luzern-Flüelen」消印あり。
78-355	秦[秦佐八郎]	葉書	葉書1	○	1909	1220	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) München Elisabethstr. 29III」。葉書表に「Frankfurt」消印あり。
78-356	佐藤清	葉書	葉書1	○	1928	322	葉書表に「Herrn Prof. T. Sato Tokyo Japan Japanische Botschaft」。葉書表に「Berlin Charlottenburg」消印あり。
78-357	[差出人不明]	葉書	葉書1	○	1908	623	葉書表に「Dr. T. Sato bei Frau Breslow Kesselstr. 29 III Berlin Germany」。葉書表に「Coldspring Harbor NY」消印あり。
78-358	松本多喜馬、唐津漸徳[カ]、唐津光徳	葉書	葉書1	○	1922	904	葉書表に「Herrn Prof Sato Tokio Japan」。葉書表に「」。葉書表に「Wien」消印あり。葉書裏に「松本多喜馬、唐津漸徳[カ]」の加筆あり。
78-359	中村順一	葉書	葉書1	○	1937	629	葉書表に「General T. Sato Tokyo Japan」。葉書表に「London SW」消印あり。
78-360	近藤平三郎	葉書	葉書1	○	1908	524	葉書表に「An Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) Hier Kesselstr. 29」。葉書表に「Berlin N.W.」消印あり。
78-361	R. Amenomiya[兩宮量七郎]	葉書	葉書1	○	1909	124	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) Berlin N. Kesselstr. 29III」。葉書表に「Berlin N.W.」消印あり。
78-362	慶治	葉書	葉書1	○	1909	110	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) Berlin N. Kesselstr. 29III」。葉書表に「Port Said」消印あり。
78-363	工藤	葉書	葉書1	○	1909	107	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) Berlin Kesselstr. 29III」。葉書表に「Moscovia」消印あり。
78-364	達三	葉書	葉書1	○	1902	123	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) Berlin Kesselstr. 29 Germany」。葉書表に「North Woolwich」消印あり。
78-365	□□野新	葉書	葉書1	○	1903	911	葉書表に「Herrn T. Sato Tokio Japan」。葉書表に「Prahá」消印あり。
78-366	□□□□	葉書	葉書1	○	1925	927	葉書表に「S. Kensington S W」消印あり。葉書表に「TOKYO JAPAN」の判印あり。
78-367	等々力いく	葉書	葉書1	○	1925	813	葉書表に「Tokio Japan via. U.S.A.」葉書表に「Prahá」消印あり。
78-368	Y. Wada[和田八千穂]	葉書	葉書1	○	1908	723	葉書表に「Herrn Dr. Sato (aus Japan) Hochwohlgeboren Berlin Kesselstr. 29」、葉書裏に「Gruss aus Rostock Juli 23.08」。葉書表に「Rostock」消印あり。
78-369	岡部剛二	葉書	葉書1	○	1927	611	葉書表に「Herrn Prof. Dr. T. Sato Tokio Japan」。

78-370	[差出人不明・ハイデルベルグ留学中の軍医カ]	葉書	葉書1	○	1907	1014	葉書表に「Herrn T. Sato Hochwohlgeboren Tokyo Japan」。葉書表に「HEIDELBERG」及び「TOKYO」消印あり。
78-371	西沢[行蔵]	葉書	葉書1	○	1910	411	葉書表に「大日本東京市 陸軍軍医学校 佐藤恒丸様 Tokio Japan」、「香港ニテ 西沢」。葉書表に「[HONGKIONG]」の消印あり。
78-372	M. Nakayama[中山森彦カ]	葉書	葉書1	○	1910	427	葉書表に「Via Sibirien Herrn Dr. T. Sato Tokyo Japan」、葉書裏に「Gruss aus Roma M. Nakayama」。葉書表に「ROMA」、「TSURUGA」消印あり。
78-373	Tsunoda[角田隆カ]	葉書	葉書1	○	1910	424	葉書表に「Via Sibirien Herrn Dr. T. Sato Tokyo Japan」。葉書裏に「Am 24.4.10 Tsunoda」の書込みあり。葉書表にBerlin N、「TOKIO」消印あり。
78-374	角田隆	葉書	葉書1	○	1910	514	葉書表に「Via Sibirien Herrn Dr. T. Sato Tokio Japan」。葉書表に「Berlin N」、「TOKIO」消印あり。
78-375	角田生[角田隆カ]	葉書	葉書1	○	1910	515	葉書表に「Via Sibirien Herrn Dr. T. Sato Tokio Japan」。葉書表に「Berlin N」、「TOKIO」消印あり。
78-376	伯林 会職[カ]□	葉書	葉書1	○	1910	521	葉書表に「Via Sibirien 東京市 陸軍軍医学校教官 佐藤二等軍医正殿 Japan」。
78-377	中山、角田、松田、西岡 (T.Matsuda、T.Nishioka、 M.Naka、Tsunoda)	葉書	葉書1	○	1910	519	葉書表に「Via Sibirien Herrn Dr. T. Sato Japan」。葉書表に「Berlin N W」、「TOKIO」消印あり。葉書裏にT.Matsuda、T.Nishioka、M.Naka、Tsunodaの署名あり。
78-378	中沢達三	葉書	葉書1	○	1909	118	葉書表に「Mr. Dr. Sato Berlin Germany Kesselstr. 29」。葉書表に「Sheperds.Bush W」消印あり。
78-379	高橋熊[カ]	葉書	葉書1	○	[1907- 1909?]	1008	葉書表に「Herrn T. Sato Kesselstr. 29 Berlin」。葉書表に「M[ilano]」消印あり。
78-380	長尾優	葉書	葉書1	○	1929	1123	葉書表に「Herrn Prof. Dr. T. Sato Tokio Japan」。葉書表に「Berlin-Charlottenburg」消印あり。
78-381	J.Wake	葉書	葉書1	○	1935	305	葉書表に「Herrn Prof. Dr. T. Sato Tokio Japan」、「J. Wake Deutsche Forschungsanstalt für Psychiatrie, München 23」。葉書表に「München」消印あり。
78-382	Y. Iwase[岩瀬カ]	葉書	葉書1	○	1928	1223	葉書表に「Herrn T. Sato Tokyo Japan」、葉書裏に「Y. Iwase bei Frau Cohn, Bismarckstr. 112 III Charlottenburg Berlin」。葉書表に「Berlin-Charlottenburg」消印あり。
78-383	[差出人不明]	葉書	葉書1	○	1929	225	葉書表に「Herrn T. Sato Tokyo Japan」。葉書表に「Berlin-Charlottenburg」消印あり。
78-384	加藤信二	葉書	葉書1	○	1922	122	葉書表に「Herrn T. Sato Tokyo Japan」。葉書表に「Berlin-Wilmersdorf」消印あり。
78-385	桑本間[カ]	葉書	葉書1	○	1921	403	葉書表に「Tokyo Japan 東京市内小石川区小日向台町一ノ三五 佐藤恒丸閣下」。葉書表に「AMBULANT」消印あり。葉書裏に「Zurich 3.4.1921」の書込みあり。
78-386	新井吉郎	葉書	葉書1	○	1921	930	葉書表に「Via America Herrn T. Sato Tokio Japan」。葉書表に「Freiburg」消印あり。
78-387	杉本敬二郎	葉書	葉書1	○	1930	621	葉書表に「Über Sibirien Herrn Professor Ts. Sato Tokio, Japan」。葉書表に「Freiburg」消印あり。
78-388	S秦[秦佐八郎カ]	葉書	葉書1	○	1908	1230	葉書表に「Herrn Oberstabsarzt Dr. Sato Hochwohlgeboren Berlin Kesselstr. 29」。ロシアからの発送カ。
78-389	中沢達三	葉書	葉書1	○	1909	105	葉書表に「Herrn Dr. Sato Berlin Kesselstr. 29」。葉書表に「Dresden」消印あり。
78-390	Y. Wada[和田八千穂]	葉書	葉書1	○	1909	102	葉書表に「Herrn Dr. Sato (aus Japan) Berlin N.W. Kesselstr. 29」。葉書表に「Bruxelles」消印あり。葉書裏にフランス語で「Je vous presente mes meilleurs Souhails pour l'annee 1909」の新年挨拶の書込みあり。
78-391	大橋[カ]	葉書	葉書1	○	1908	1206	葉書表に「Monsieur le Docteur T. Sato Kesselstr. 29 Berlin」。葉書表に「Fontainebleau」消印あり。
78-392	Y. Wada[和田八千穂]	葉書	葉書1	○	1908	1205	葉書表に「Herrn Dr. Sato (aus Japan) Berlin (Deutschland) Kesselstr. 29」。葉書表に「Budapest」、「Berlin N」消印あり。葉書裏に「Besten Gruss aus Budapest 5. Dez 08 Y. Wada」の書込みあり。

78-393	清野□□	葉書	葉書1	○	1908	1202	葉書表に「Herrn Generalstabsarzt Sato Hochwohlgeboren Berlin Kesselstr. 29」、 「Naumburg a. S. Oststr. 21 II」。葉書表に「Naumburg」消印あり。
78-394	長□	葉書	葉書1	○	1899	919	葉書表に「Via Amerika Herr Dr. Sato Tokyo, Japan」、葉書裏に「Gruss aus Schillerstr. No. 24 I München」。葉書表に「München」消印あり。
78-395	高橋高	葉書	葉書1	○	[1920- 1927?]	828	葉書表に「Tokio Japan 日本東京府下渋谷町 日本赤十字社病院 佐藤恒丸閣下 西郷吉 弥閣下」、「於コロポ 高橋高。葉書裏に「Zurich 3.4.1921」の書込みあり。葉書表に「高 橋高」の加筆あり。
78-396	佐藤達次郎	葉書	葉書1	○	1928	313	葉書表に「Mr. T. Sato Tokyo, Japan」、葉書裏に「Gruss aus Schillerstr. No. 24 I Mü nchen」。葉書表に「Grand Central Station NY」消印あり。
78-397	新井吉郎	葉書	葉書1	○	1920	909	葉書表に「Red-Cross-Hospital, Tokio, Japan」。葉書表に「Port Said」消印あり。
78-398	落田□□	葉書	葉書1	○	[1920- 1927?]	830	葉書表に「His Excelencie Sato Tokio, Japan」。葉書表に「LONDON」、「TOKIO」消印あ り。
78-399	帛吾[若林虎吾カ]	葉書	葉書1	○	1910	121	葉書表に「An Herrn Dr. T. Sato Elisabethstr. 19I Pension Regina München」。葉書表に 「Berlin NW」消印あり。
78-400	秋山練造	葉書	葉書1	○	1911	313	葉書表に「An Herrn Generaloberarzt Dr.Sato Hochwohlgeboren Chosen (Corea) Japan」。葉書表に「Berlin W」消印あり。
78-401	矢田生[矢田耕造カ]	葉書	葉書1	○	1910	118	葉書表に「Herrn Generaloberarzt Dr. T. Sato Hochwohlgeb. München Elisabethstr. 19I」。 葉書表に「Wien 72」消印あり。
78-402	山口修一	葉書	葉書1	○	1910	121	葉書表に「Herrn Dr. Tsunemaru Sato bei Fr. Bredow Kesselstr. 29I Berlin N」。葉書表に 「Elisabethstr. 19 München」、「Pension Regina München」の書込みあり。葉書表に「Berlin W」消印あり。
78-403	加藤鐵作	葉書	葉書1	○	1909	412	葉書表に「Herrn Dr. med. T. Sato Hier Kesselstr. 29」。葉書表に「Berlin □」消印あり。
78-404	Kowalk, Rudolf	葉書	葉書1	○	1936	310	葉書表に「Herrn Dr. Sato Tokio (Japan) Nagasumi 14 Shibuya」。葉書表に「NOWAWES」 消印あり。
78-405	森本	葉書	葉書1	○	1922	1010	葉書表に「Tokyo Japan 東京市内小石川区小日向台町 佐藤恒丸閣下」。葉書表に 「MARSEILLE R DE LA REPUBLIQUE BOURカ」消印あり。
78-406	中山	葉書	葉書1	○	1909	1208	葉書表に「Herrn Dr. Tsunemaru Sato Pension Regina München Elisabethstr. 19」。葉書 表に「Berlin N」消印あり。
78-407	Dr. H. Yamada[山田]	葉書	葉書1	○	1909	810	葉書表に「Sr. Hochwohlgeboren Herrn Dr.Ts. Sato (aus Japan) Hier Kessel-Str. 29」。葉 書表に「Berlin NW」消印あり。
78-408	角田隆	葉書	葉書1	○	1909	531	葉書表に「Herrn Dr. Sato Bei Frau Bredow Hier N.4 Kesselstr. 29III」。葉書表に「Berlin N」消印あり。
78-409	角田隆	葉書	葉書1	○	1910	331	葉書表に「Via Sibirien! Herrn Dr. T. Sato Tokyo Japan」。葉書表に「Berlin N」消印あり。
78-410	田村生	葉書	葉書1	○	1912	108	葉書表に「(Via Amerika) Herr Oberarzt Sato Hochwohlgeboren Japan Tokyao」。葉書表 に「Berlin W」消印あり。
78-411	川嶋明八	葉書	葉書1	○	1909	1017	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato Berlin Kesselstr. 29」、葉書裏に「Adalbertstr. 60」。葉書表 に「20-70 Altona」、「Elisabethstr. 24 Altona by Renken Hr. Wegener □」の書込みあり。 葉書表に「München」消印あり。
78-412	横道[カ]生	葉書	葉書1	○	1909	1020	葉書表に「An Herrn Sato Kesselstr. 29 Berlin Deutschland」。葉書表に「Altona」、 「Altona Elisabethstr. 24 Altona」との書込みあり。葉書表に「Wien」消印あり。葉書裏に 「□□□□ 1909」の書込みあり。
78-413	角田隆	葉書	葉書1	○	1909	727	葉書表に「Dr. Sato aus Japan Berlin N 4, Kesselstr. 29 III」、葉書裏に「den 26. Juli 1909 Zur Erinnerung meiner Reise T. TosunosXX in Hotel Magellan」。葉書表に「Paris」消印あ り。

78-414	凉男[新宮凉男]	葉書	葉書1	○	1908	1116	葉書表に「Herrn Oberstabsarzt Dr. Sato Berlin, Kesselstr. 19」。葉書表に「Berlin N」消印あり。
78-415	Y. Wada[和田八千穂]	葉書	葉書1	○	1909	1230	葉書表に「Herrn Dr. Sato (aus Japan) Berlin, Kesselstr. 29」。葉書表に「Amsterdam」消印あり。
78-416	守屋伍造	葉書	葉書1	○	1903	1017	葉書表に「Herrn Dr. Sato Peking, China Japanese Legation」。葉書表に「Berlin NW」消印あり。
78-417	高階虎治郎	葉書	葉書1	○	1927	1126	葉書表に「Via Siberia Prof. T. Sato Tokyo, Japan」。葉書表に「Königsberg」消印あり。
78-418	□本□人	葉書	葉書1	○	1908	119	葉書表に「Monsieur Dr. T. Sato, L'ambassade du Japon Berlin (Allemande)」。葉書表に「Kesselstr. 29III」の書込みあり。葉書表に「Nantes Seine」消印あり。
78-419	[消印のため差出人不明]	葉書	葉書1	○	1927	829	葉書表に「Prof. Dr. T. Sato, Tokyo Japan」。葉書表に「Washington DC」消印あり。
78-420	大口□	葉書	葉書1	○	1909	123	葉書表に「Herrn Dr. Sato Berlin N., Kesselstr. 29」。葉書表に「Berlin NW」消印あり。
78-421	[差出人不明]	葉書	葉書1	○	1909	1207	葉書表に「Herrn Dr. Sato bei Pension Regina Elisabethstr. 19I München Deutschland」。葉書表に「Zurich」消印あり。
78-422	吉岐幸義	葉書	葉書1	○	[1920-1926?]	1230	葉書表に「Dr. T. Sato T. Red Cross Hospital Tokyo Japan」。インドから郵送されたものと推測。
78-423	西村生	葉書	葉書1	○	1909	429	葉書表に「Herrn Dr. Sato Kesselstr. 29III Berlin Deutschland」。ロシアから郵送されたものと推測。
78-424	小原直躬	葉書	葉書1	○	[1927-1936?]	1203	葉書表に「Tokyo Japan. 日本東京 宮内省侍医寮 侍医頭 佐藤恒丸閣下」、「シンガポールにて 小原直躬」。葉書表に「[SINGAPORE]」消印あり。
78-425	小阪武雄[カ]	葉書	葉書1	○	1930	622	葉書表に「Via Siberia Mr. T. Satoh Tokio Japan」。葉書表に「Koblenz」消印あり。
78-426	□與	葉書	葉書1	○	1910	110	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato München Elisabethstr. 19I」。葉書表に「Berlin」消印あり。
78-427	H. Ka□mo	葉書	葉書1	○	1931	101	葉書表に「Япония Токио □□□ Т. С а т о 東京市外渋谷永住町14 佐藤恒丸閣様」、「Москва Н. Ко □мо」。葉書表に「МОСКВА □□□□」消印あり。
78-428	[差出人不明]	葉書	葉書1	○	1905	411	葉書表に「Mr. T. Satoh Tokyo Japan」。葉書表に「Umballa」消印あり。
78-429	[差出人不明]	葉書	葉書1	○	[1908-1910?]	223	葉書表に「Herrn Dr. Sato (aus Japan) Berlin Kesselstr. 29III」。葉書表に「Heidelberg」消印あり。
78-430	角田隆	葉書	葉書1	○	1908	526	葉書表に「Herrn Dr. Ts. Sato Berlin Kesselstr. 29III bei Frau Bredow」。葉書表に「Antwerpen」消印あり。
78-431	岡部剛二	葉書	葉書1	○	1927	925	葉書表に「Prof. Dr. T. Sato Tokio Japan」「佐藤恒丸殿、村松」。葉書表に「New York」消印あり。
78-432	鳥山南寿[鳥山南寿次郎]、林川長兵衛	葉書	葉書1	○	1900	613	葉書表に「Prof. Dr. T. Sato Tokio Japan」「佐藤恒丸殿、村松 三殿、岩淵善雄殿、中島襄吉殿」。葉書表に「Halle」消印あり。
78-433	[差出人不明]	葉書	葉書1	○	1899	228	葉書表に「Via Amerika! Herrn. Dr. med. Sato Hochwohlgeboren Tokio Japan」。葉書表に「STRASSBURG (ELSASS)」消印あり。
78-434	山口弘夫	葉書	葉書1	○	1903	714	葉書表に「Generaloberarzt T. Sato Tokyo, Japan」、葉書裏に「Bei Frau Schröder Scharnhorststr. 40I Berlin NW」。葉書表に「Berlin NW」消印あり。
78-435	橋本長俊	葉書	葉書1	○	1909	106	葉書表に「Monsieur Le Dr. Major Sato L'ambassade de Japon Berlin Allmagne」、葉書裏に「Bei Frau Schröder Scharnhorststr. 40I Berlin NW」。葉書表に「[削除: Erfurt Kurfürstenstr. 31]Berlin Kesselstr. 29」の書込みあり。葉書表に「Erfurt」消印あり。
78-436	凉男[新宮凉男]	葉書	葉書1	○	1909	108	葉書表に「Herrn Oberstabsarzt Dr. med. Sato Hochwohlgeboren Berlin Kesselstr. 299」。葉書表に「Berlin N」消印あり。
78-437	長尾少佐	葉書	葉書1	○	1909	1014	葉書表に「Herrn Dr. Sato Hochwohlgeboren Berlin Kesselstr. 29」。葉書表に「Magdeburg」消印あり。

78-438	遠藤道孝	葉書	葉書1	○	1912	529	葉書表に「Via Sibiria Postkarte Herrn Professor T. Sato Hochwohlgeboren Chosen Japan」、葉書裏に「Bei Frau Schröder Scharnhorststr. 40I Berlin NW」。葉書表に「Leipzig」消印あり。
78-439	林川長兵衛	葉書	葉書1	○	1900	101	葉書表に「Herrn Dr. Sato Tokyo Japan」。葉書表に「Halle」消印あり。
78-440	津田時若	葉書	葉書1	○	1909	927	葉書表に「Rohrpost Herrn Dr. Sato Berlin N Kesselstr. 29III」。葉書表に「Berlin W.」消印あり。
78-441	中山	葉書	葉書1	○	1910	124	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato Pension Regina München Elisabethstr. I」。葉書表に「Berlin N.」消印あり。
78-442	□男	葉書	葉書1	○	1910	128	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato bei Pension Regina München Elisabethstr. I」。葉書表に「Berlin N.」消印あり。
78-443	西沢行蔵	葉書	葉書1	○	1910	429	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato Tokio Japan」。葉書表に「Colombo」消印あり。
78-444	[差出人不明]	葉書	葉書1	○	1908	712	葉書表に「Dr. med. T. Sato Kesselstr. 29III」。葉書表に「Faling W」消印あり。
78-445	中沢達三	葉書	葉書1	○	1909	222	葉書表に「Herrn Dr.med. Sato Germany Berlin Kesselstr. 29」。葉書表に「Colombo」消印あり。
78-446	重秀[力]□	葉書	葉書1	○	1909	223	葉書表に「Herrn Dr.Sato Hochwohlgeboren Berlin N Kesselstr. 29」。葉書表に「Berlin W」消印あり。
78-447	S. Hata[秦佐八郎]	葉書	葉書1	○	1909	329	葉書表に「An Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) Berlin N Kesselstr. 29」、葉書裏に「S. Hata by Fr. Kalbfleisch Klüberstr. 14, Frankfurt a/M.」。葉書表に「Frankfurt」消印あり。
78-448	T. Iwatsuoki[力]	葉書	葉書1	○	1921	630	葉書表に「Exzellenz T. Sato Yokohama Japan」。葉書表に「Wien」消印あり。
78-449	[差出人不明]	葉書	葉書1	○	[1922年以前]	813	葉書表に「Mr. T. Sato Tokyo Japan」。葉書表に「SIMLA」消印あり。
78-450	宇沢益吉	葉書	葉書1	○	1934	101	葉書表に「Prof. Dr. T. Sato Tokio Shibuya Japan über Sibirien」。葉書表に「Berlin-Charlottenburg」消印あり。
78-451	百瀬五郎	葉書	葉書1	○	1934	825	葉書表に「Via Sibirien Z.H. Herrn Generalarzt Prof. Dr. T. Sato Chosen Japan」。葉書表に「Berlin W」消印あり。
78-452	新宮凉国	葉書	葉書1	○	1913	824	葉書表に「Herrn Prof. Generalarzt Dr. Sato Seoul Korea (Japan)」。葉書表に「Berlin W」消印あり。
78-453	□□□一	葉書	葉書1	○	1906	802	葉書表に「Herrn Oberstabsarzt Dr. T. Sato Koishikawa (Japan)」。葉書表に「Wien □□」消印あり。
78-454	神田□一	葉書	葉書1	○	1923	910	葉書表に「Monsieur Sato Tokio Japon」。葉書表に「Paris XV」消印あり。
78-455	森友[力]	葉書	葉書1	○	1903	618	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato Hchwohlgeboren Tokyo, Japan」。葉書表に「Berlin NW」消印あり。
78-456	三好	葉書	葉書1	○	1906	926	葉書表に「Herrn Dr. Sato Japan」。葉書表に「Berlin NW」消印あり。
78-457	Y. Wada[和田八千穂]	葉書	葉書1	○	1908	1010	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) Berlin (Germany) Kesselstr. 29」、葉書裏に「Herzlichste Grüße aus Kopenhagen Yachio Wada」。葉書表に「Kjobvanhaven」=Kopenhagen消印あり。
78-458	凉男[新宮凉男]	葉書	葉書1	○	1909	715	葉書表に「Herrn Dr. Sato Hochwohlgeboren Berlin N Kesselstr. 29」。葉書表に「BERLIN NW」消印あり。
78-459	Toda Kenji[戸田謙二]	葉書	葉書1	○	1909	1230	葉書表に「[削除:Herrn Dr. Sato, bei Frau Bredow, Kesselstr. 29 III Berlin.] München Elisabethstr. 19 Pension Regina Hr. Wegener 10/1 Germany」。葉書表に「München」の書込みあり。葉書表に「Chicago」消印あり。
78-460	横山生	葉書	葉書1	○	1920	711	葉書表に「Dr. Sato, Kesselstr. 29 Berlin NW」。ベルギーから発送されたもの。
78-461	角田隆	葉書	葉書1	○	1920	720	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato, Berlin NW, Kesselstr. 29.III. Germany」、葉書裏に「Tsunoda aus London Deu 20 Juli 09」。葉書表に「London」消印あり。



78-462	□山望□	葉書	葉書1	○	1899	420	葉書表に「Über America An Herrn Dr. med. T. Sato, Tokio Japan」、葉書裏に「Philipstr. 23II. I Links, Berlin N.W.」。葉書表に「BERLIN NW」、「SAN FRANCISCO」消印あり。
78-463	新宮涼男、長野[長野文治力]	葉書	葉書1	○	1909	805	葉書表に「Dr. Sato, Kesselstr. 29 Berlin NW」。葉書表に「Würzburg」消印あり。
78-464	N. Hashimoto[橋本長俊]	葉書	葉書1	○	1908	127	葉書表に「Monsieur Dr. T. Sato bei Frau Bredow Kessel strasse 29III Berlin」、葉書裏に「Madame Bonnet 14 aAvenue Heri Martin Nanterre N. Hashimoto」。葉書表に「Nan□rre」消印あり。
78-465	S. Oukubo[大久保]	葉書	葉書1	○	[1907-1910?]	[月日不明]	葉書表に「Monsieur Le Dr. T. Sato Pension Regina Munich Elisabethstrase 19I」。フランスから発送されたもの。
78-466	Heyrich, Elke	葉書	葉書1	○	1910	527	葉書表に「Dr. Sato 35 I Kobinata Daimachi Koishikawa Tokio Japan」、葉書表に「E. Heyrich Berlin N. Kesselstr. 29 Deutschland」。葉書表に「Berlin NW」消印あり。
78-467	Kowalk, Rudolf	葉書	葉書1	○	1909	707	葉書表に「Herrn Generaloberarzt Dr. Sato Hochwohlgeboren Berlin N Kesselstr 29」、「IIIe」。葉書表に「Bad Münster」消印あり。
78-468	Dr. Hübotter[Franz Hübotter]	葉書	葉書1	○	1909	531	葉書表に「Monsieur Le Docteur Sato Berlin N. 4 Kesselstr. 29 III Allemagne」。葉書表に「Paris」消印あり。
78-469	von Schiller, Luise, von Stössel, von Bredow	葉書	葉書1	○	1909	616	葉書表に「Herrn General Oberarzt Dr. Sato Hochwohlgeboren, Berlin N4, Kesselstr. 29」、葉書裏に「wünschen Ihnen Frau von Schiller, Frau General von Stössel, Luise von Schiller, Frau von Bredow」。葉書表に「Gruss vom Kaffeetisch Pichselswerder」の書込みあり。葉書表に「Pichelsdorf」消印あり。
78-470	[差出人不明]	葉書	葉書1	○	1909	629	葉書表に「Herrn Doctor Sato Wirkow Institut Chemische Abteilung Königliche Charite Berlin W. 6」、Gruss aus Capessuoli Adresse Rapolano (Porv. di Siena) Italia」。葉書表に「Siene Napolano」消印あり。
78-471	Dr. Hübotter[Franz Hübotter]	葉書	葉書1	○	1909	921	葉書表に「Herrn Generaloberarzt D. Sato Berlin N 4, Kesselstr. 29 Allemagne」、葉書表に「Herzliche Grüsse vom Pharaonenlande Ihr ergebener Dr. Hübotter」。Cairoから発送されたもの。
78-472	Dr. Karczag	葉書	葉書1	○	1909	402	葉書表に「Herrn Dr. Sato Hochwohlgeb. Berlin Kesselstrasse 29」、Herz. Grüsse sendet Ihnen Ihr Dr. Karzag」。葉書表に「Venezia」消印あり。
78-473	Kowalk, Rudolf	葉書	葉書1	○	1908	726	葉書表に「Herrn Oberarzt Dr. Sato Hochwohlgeboren Berlin N Kesselstrasse 29」、葉書裏に「Über Ihre Karte mit freundlichem Gruss freute ich mich sehr. Sende herzlichen Gruss und Dank. Unser Aufenthalt hier ist herrlich. Auf baldiges Wiedersehen in Berlin hofft ihr ergebenster Kowalk」。葉書表に「Wilhelmshöhe」、「Berlin N」消印あり。
78-474	Dr. Karczag	葉書	葉書1	○	1924	409	葉書表に「Herrn Dr. Sato Hochwohlgeb. Berlin Kesselstrasse 29」、葉書裏に「Es grüsst Sie herzlichst Ihr Dr. Karzag」。葉書表に「Roma」消印あり。
78-475	Hoops, Arne	葉書	葉書1	○	1909	512	葉書表に「Herrn T. Sato by Pension Regina München Elisabethstr. !2I」、葉書裏に「Herzl. Gruss J. Hoops」。葉書表に「Berlin NW」消印あり。葉書表に「Mein lieber Freund! (...) Herzlichen Gruss Ihr Arne」の書込みあり。
78-476	伍造[守屋伍造]	葉書	葉書1	○	1908	1018	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) Hier Kesselstr. 29」、葉書裏に「Herzl. Gruss J. Hoops」。葉書表に「Berlin NW」消印あり。葉書表に「Mein lieber Freund! (...) Herzlichen Gruss Ihr Arne」の書込みあり。
78-477	A. Munthe[Axel Munthe]	葉書	葉書1	○	1908	1025	葉書表に「Monsieur le Docteur Sato Kesselstr. 29 Berlin」。葉書表に「Gare De Belfort」消印あり。
78-478	A. Munthe[Axel Munthe]	葉書	葉書1	○	1909	301	葉書表に「Herrn Dr. Sato Kesselstrasse 29 Berlin N」。葉書表に「Gare De Belfort」消印あり。

78-479	Dr. Karczag	葉書	葉書1	○	1912	607	」。葉書表に「Herrn Dr. Sato Berlin Pathol. Inst. der Universität Charite」、葉書裏に「mit Herzlichem Gruss Ihr Dr. Karzag」および「Parco Marpherita 5. Penson Drole」。葉書表に「Napoli」消印あり。
78-480	Neuburg, Hela u. Carl	葉書	葉書1	○	1909	1228	葉書表に「Herrn Dr. med. T. Sato Hochwohlgeboren Generaloberarzt München Elisabethstr. 19 Pension Regina」。葉書表に「Krummfeibal」消印あり。
78-481	Dr. Frigling	葉書	葉書1	○	1909	1203	葉書表に「An Herrn Dr. Sato Pension Regina München Elisabethstr. 19I」。葉書表に「Hamburg」消印あり。
78-482	Heyrich, Elke	葉書	葉書1	○	1910	1030	葉書表に「Japan via Siberia Dr. Sato N-35 I Kobinata Daimachi Koishikawa Tokio」。葉書表に「Berlin N」消印あり。
78-483	山川政[カ]修	葉書	葉書1	○	1910	216	葉書表に「An Herrn Dr. Sato (aus Japan) Berlin, Kesselstr. 29III」。葉書表に「München」消印あり。
78-484	岩田生	葉書	葉書1	○	1910	211	葉書表に「Herrn Dr. Sato (aus Japan) Hochwohlgeb. Hier Kesselstr. 29III」。葉書表に「Berlin NW」消印あり。
78-485	□寿勝□	葉書	葉書1	○	1900	519	葉書表に「Via Amerika. Herrn Dr. med. T. Sato」。葉書表に「Breslau」消印あり。
78-486	新井生	葉書	葉書1	○	1922	412	葉書表に「Via America. Herrn T. Sato Tokio Japan」。葉書表に「Napoli」消印あり。
78-487	井上孝哉	葉書	葉書1	○	1924	1201	葉書表に「Via Siberia. Mr Sato Shimoshibuya Tokio Japan」。葉書表に「Marseilles Gare」消印あり。
78-488	□□□□	葉書	葉書1	○	1922	[月日不明]	葉書表に「Via Siberia. Mr Sato Shimoshibuya Tokio Japan」。葉書表に「Firenze」消印あり。
78-489	田淵政代	葉書	葉書1	○	1921	929	葉書表に「Via America. Dr T. Sato Red Cross Hospital Tokyo Japan」「ロンドン 東洋館内」。葉書表に「London W」消印あり。
78-490	岩波武信[カ]	葉書	葉書1	○	1929	525	葉書表に「T. Sato Esq Tokyo Japan」。葉書表に「Hampstead NW」消印あり。
78-491	遠山郁三	葉書	葉書1	○	1935	905	葉書表に「Via Sibirien. Herrn T. Sato Der Chef der Leibärzte」。葉書表に「Berlin Charlottenburg」消印あり。
78-492	遠山郁三[カ]	葉書	葉書1	○	1935	1029	葉書表に「Via Sibiria. Dr. T. Sato Tokyo Japan」。葉書表に「Berlin Charlottenburg」消印あり。
78-493	長尾優	葉書	葉書1	○	1929	726	葉書表に「Via Sibiria. Tokio Japan」。葉書表に「Interlaken」消印あり。
78-494	周輔[佐藤周輔]	葉書	葉書1	○	[1945-1953?]	826	葉書表に「Mr. Tsunemaru Satow Tokyo Japan Kanagawa Pre.」。葉書表に「Seattle Wash.」消印あり。
78-495	□野悟□	葉書	葉書1	○	[1920-1927?]	827	葉書表に「Prof. Dr. T. Sato Tokyo Japan」。葉書表に「Mount Vernon」消印あり。
78-496	花房□太	葉書	葉書1	○	1916	323	葉書表に「Tokyo Japan 東京市小石川区小日向台町一丁目 佐藤恒丸様」。葉書表に「JAPAN」消印あり。
78-497	岡部剛二	葉書	葉書1	○	1927	603	葉書表に「Via Sibiria. Herrn Prof. Dr. T. Sato Tokio Japan」、 「Dr. K. Okabe b/ Gude. Blumenstr. 9, Heidelberg, Deutschland」。葉書表に「Heidelberg」消印あり。
78-498	横山秀一	葉書	葉書1	○	1909	702	葉書表に「Monsieur le Dr. Sato Kesselstr. 29 Berlin N.W.」。葉書表に「Marceau」消印あり。
78-499	[差出人不明]	葉書	葉書1	○	1908	521	葉書表に「An Herrn Dr. T. Sato Kesselstrasse 29 Berlin Deutschland」。葉書表に「Marseilles」消印あり。葉書表に「No.1」とあり。
78-500	中嶋襄吉	葉書	葉書1	○	1899	613	葉書表に「Via Amerika Herrn Dr. T. Sato Tokyo Japan」。葉書表に「Würzburg」消印あり。
78-501	Y. Wada[和田八千穂]	葉書	葉書1	○	1908	1202	葉書表に「An Herrn Dr. Sato (aus Japan) Berlin Kesselstr. 29」。葉書表に「Wien」消印あり。
78-502	若林虎吾	葉書	葉書1	○	1911	110	葉書表に「Via Siberia An Herrn Generalstabsarzt Dr. Sato Japan」、葉書裏に「Beste Grü Be aus Jena 10, I 11. V. Dr. T. Waka□」および「Magdelsteig No 11 II by Franke Jena」。葉書表に「Jena」、「日野」消印あり。

78-503	尾野	葉書	葉書1	○	[1906-1907?]	417	葉書表に「Japan Tokio 東京麹町区 陸軍々医学校 佐藤恒丸軍医正殿」。葉書表に「WILMERSDORF / bei Berlin1」、「TOKYO」消印あり。
78-504	氏家参顕	葉書	葉書1	○	1917	403	葉書表に「To Professor Excellency T. Sato Chosen Japan」。葉書表に「Geneve」、「山口」消印あり。
78-505	阿久津一郎	葉書	葉書1	○	1902	715	葉書表に「Via America! Herrn Dr. Sato Tokyo Japan」、葉書表に「阿久津一郎」の書き込み。葉書裏に「Lazarethgasse 18I Wien IX」、「Pクツあ」。葉書表に「Wien」、「Tokio」消印あり。
78-506	S. Miyamoto[宮本叔]	葉書	葉書1	○	1900	109	葉書表に「Herrn Oberarzt Dr. T. Sato Tokio, Japan」。葉書表に「Berlin NW」、「東京」消印あり。
78-507	Kowalk, Rudolf	葉書	葉書1	○	1909	802	葉書表に「Herrn Generaloberarzt Sato Hochwohlgeboren Berlin N Kesselstr. 29」。葉書表に「Strassburg」消印あり。
78-508	石原	葉書	葉書1	○	1909	811	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato Kesselstr. 29 Berlin」、「Krummbogenstr. 1 Marburg a/L」(a/L=an der Lahnの略)。葉書表に「Marburg」消印あり。
78-509	新見吉治	葉書	葉書1	○	1909	904	葉書表に「Herrn Dr. Sato (aus Japan) Berlin Kesselstr. 29」、「Braustr. 1 Leipzig」。葉書表に「Leipzig」消印あり。
78-510	中山	葉書	葉書1	○	1909	1021	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato bei Fr. Renken Altona Goethestr. 24P.」。葉書表に「Berlin N」消印あり。
78-511	康	葉書	葉書1	○	1909	1108	葉書表に「Hr Col. T Sato Altona (Elbe) Göthestr. 24 Bamberg」。葉書表に「Bruxelles」消印あり。
78-512	Amenomiya, N. van der Kamp[雨宮量七郎]	葉書	葉書1	○	1903	214	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato Berlin NW Kesselstr. 29」。葉書表に「Tr□」消印あり。Treptowから発送されたもの。
78-513	氏顕□[氏家参顕カ]、益知	葉書	葉書1	○	[1908-1910?]	222	葉書表に「Herrn Dr. Sato Berlin Chemische Abteilung d. Path. Instituts der Charite, Lusionenstr.」。葉書表に「München」消印あり。
78-514	□生	葉書	葉書1	○	1908	805	葉書表に「Herrn Dr.T. Sato Hier N. Kesselstr. 29III」。葉書表に「Berlin NW」消印あり。
78-515	谷吉[谷口吉太郎カ]	葉書	葉書1	○	1903	311	葉書表に「Herrn Oberarzt Dr. T. Sato Tokio, Japan」。葉書表に「Leipzig」、「Tokio」消印あり。
78-516	大橋修太郎[カ]	葉書	葉書1	○	1906	1114	葉書表に「Monsieur le docteur Sato aux sories d l'ambassade du Japon Berlin (Allemagne)」、「22 rue de la paroisse Fontainebleau」。葉書表に「Kesselstr. 29」の書き込みあり。葉書表に「Fontainebleau」消印あり。
78-517	Y.Wada[和田八千穂]	葉書	葉書1	○	1908	1114	葉書表に「Herrn Dr.T. Sato Hier N. Kesselstr. 29III」。葉書表に「Berlin NW」消印あり。
78-518	西沢生、小口	葉書	葉書1	○	1912	421	葉書表に「Via Sibiria Seoul Corea Japan」、「Invalidenstr. 40II bei frau Gohlsch」。葉書表に「Charlottenburg」消印あり。
78-519	川村麟也	葉書	葉書1	○	1909	1231	葉書表に「Herrn Dr.T. Sato München Elisabethstr. 19I」。葉書表に「Freiburg」消印あり。
78-520	M. Endo[遠藤道孝]	葉書	葉書1	○	1911	1126	葉書表に「Herrn Gen.stabsarzt T. Sato 龍山衛生病院長 Chosen Japan」、「M. Endo Hotel Berlin Moscou」。葉書表に「MOCKBA(=Moscova)」消印あり。
78-521	長島鷺太郎	葉書	葉書1	○	1908	906	葉書表に「Herrn Dr.T. Sato Kesselstr. 29 [削除:Hier] Berlin N」、「b/ Frau Dr. Baader Carlsbad 33」。葉書表に「Potsdam」消印あり。
78-522	角田隆	葉書	葉書1	○	[1908-1909]	713	葉書表に「Herrn Dr.Sato Berlin Kesselstr. 29III Germany」。葉書表に「London W」消印あり。
78-523	武内金平、全米子	葉書	葉書1	○	1910	1216	葉書表に「Mr. + Mrs. T. Sato Toko Japan」。葉書表に「Sydenham」消印あり。
78-524	長野文治	葉書	葉書1	○	1909	620	葉書表に「Madame Sato Tokio Japan」。葉書表に「Leipzig」、「Tokio」、「小石川」消印あり。
78-525	中沢生	葉書	葉書1	○	1909	1214	葉書表に「Dr. Sato Esquire Berlin Kesselstr. 29 Allemagne」。葉書表に「Paris」消印あり。

78-526	永阪源一	葉書	葉書1	○	1918	105	葉書表に「Dr. T. Sato Chosen Japan」、「C/O the Wislar Institute Philadelphia PA U.S.A.」。葉書表に「West Philadelphia Sta.」、「Philadelphia」消印あり。
78-527	久保田政周	葉書	葉書1	○	1909	202	葉書表に「Herrn Dr. Sato Hier Kesselstr. 29」。葉書表に「」。葉書表に「Berlin N W」消印あり。
78-528	津田[少佐]	葉書	葉書1	○	1909	109	葉書表に「Herrn Dr. Sato (aus Japan) Berlin N. Kesselstr 29Ⅲ」。葉書表に「ESSEN」消印あり。
78-529	藤田口輔	葉書	葉書1	○	1920	627	葉書表に「□□□□ Sato Tokio Japan 東京府下赤十字[社]病院 院長 佐藤閣下」、「於巴里 藤田口輔」。葉書表に「R DE LOURMEL」、葉書裏に「POMPELLE」消印あり。葉書裏に「藤田嗣章」の加筆あり。
78-530	河野[大佐]	葉書	葉書1	○	1912	220	葉書表に「Via Amerika Japan 朝鮮竜山 佐藤博士閣下」。葉書裏に「河野大佐」の加筆あり。
78-531	東	葉書	葉書1	○	[1907-1908?]	706	葉書表に「T. Sato Esq. Kessel st 29Ⅲ Berlin」。葉書表に「」。葉書表に「BERLIN N」消印あり。
78-532	戸田謙二	葉書	葉書1	○	[1910?]	1214	葉書表に「Dr. T. Sato, Tokyo, Japan 東京小石川小日向台町一丁目三十五番 佐藤恒丸様」、「シカゴ 戸田謙二」。葉書表に「CHICAGO」、「JAPAN」消印あり。葉書裏に「戸田謙二」の加筆あり。
78-533	伊藤[軍医正]	葉書	葉書1	○	1923	219	葉書表に「Via America M. Jeneral T. Sato, Tokio Japan 東京府下下渋谷百十七 佐藤恒丸閣下」、「ローマにて伊藤軍医正」。葉書表に「ROMA」消印あり。
78-534	A. Munthe[Axel Munthe]	葉書	葉書1	○	[1922年以前]	[月日不明]	葉書表に「Herrn Dr. Sato Generaloberarzt W. 35 I Kobinata Daimachi Koishikawa Tokio」。葉書表に「Belfort」消印あり。
78-535	牧田生[牧田太]	葉書	葉書1	○	1907	911	葉書表に「Mr. T. Sato c/o Militärakademie Fuji[カ] Kojimachi Tokyo Japan」。葉書表に「Victoria Hong Kong」、「Tokio」、「VIS□」消印あり。Singaporeから発送されたもの。
78-536	□□	葉書	葉書1	○	1924	707	葉書表に「Prof. Dr. T. Sato Direktor des Roten Kreuz Hospitals Tokio Japan」。葉書表に「Freiburg」消印あり。
78-537	岩淵	葉書	葉書1	○	1921	404	葉書表に「Exzellenz. T. Sato Yokohama Japan」、「bei Jap. Gesandtschaft Hotel Bristol Opernring Wien」。葉書表に「Wien」消印あり。
78-538	新井吉郎	葉書	葉書1	○	1921	101	葉書表に「Via America Herrn T. Sato Tokio Japan 東京市小石川区小日向台町一ノ三五 佐藤恒丸閣下」、「ウトレヒト 新井吉郎」。葉書表に「UTRECHT」、「JAPAN」消印あり。
78-539	高橋高	葉書	葉書1	○	[1920-1926?]	1105	葉書表に「Tokio Japan 東京市外渋谷日本赤十字社病院 佐藤恒丸閣下」、「ブタペスト 高橋高」。葉書表に「BUDAPEST」消印あり。
78-540	[差出人不明]	葉書	葉書1	○	[1909?]	1018	葉書表に「[削除: Monsieur Le Dr Sato Kessel Str. 29 Berlin NW] Altona」、「Altona Goethestr. 24 bei Frenken」。葉書表に「Pera」消印あり。
78-541	山尾[カ]	葉書	葉書1	○	1909	1121	葉書表に「Herrn Dr. Ts. Sato (aus Japan) b/. Frau Renken Altona Goethestr. 24b」。葉書表に「Berlin N」消印あり。
78-542	高木背水	葉書	葉書1	○	1926	809	葉書表に「Monsieur T. Sato Tokyo Japan 東京青山高樹町 赤十字[社]病院 佐藤恒丸先生」、「於巴里 高木背水」。葉書表に「ROANTON」消印あり。
78-543	幸本[カ]	葉書	葉書1	○	[1922年以前]	[月日不明]	葉書表に「Tokio Japan 東京小石川区小日向台町一ノ三五 佐藤恒丸閣下」
78-544	K. Tanaka[田中幸一カ]	葉書	葉書1	○	1930	116	葉書表に「Herrn Prof. Sato Tokio Japan (Via Siberia)」。葉書表に「Panterza」消印あり。
78-545	三角恂	葉書	葉書1	○	1906	609	葉書表に「Herrn Dr. med T. Sato Berlin N Kesselstr. 29」。葉書表に「Bonn」消印あり。
78-546	私種[カ]生	葉書	葉書1	○	1908	1126	葉書表に「Herrn Dr. Sato Kesselstr. 29 Berlin」。葉書表に「Wien」、「Berlin N」消印あり。
78-547	古城胤秀	葉書	葉書1	○	1923	301	葉書表に「Tokio Japan 東京下渋谷、豊分、一一七 医学博士 佐藤恒丸閣下」、「比律賓ニテ 古城胤秀」。葉書表に「MINDANAO」消印あり。葉書裏に「古城胤秀」の加筆あり。
78-548	梅谷光貞	葉書	葉書1	○	[1928-1937?]	924	葉書表に「Mr. T. Sato, Tokio, Japan 東京市外渋谷町永住十四 佐藤恒丸殿」。葉書表に「□□□」消印あり。

78-549	H.Kammo[カ]	葉書	葉書1	○	1936	1006	葉書表に「Япония Токио □□□ Т. Сато 東京府渋谷町永住町14 佐藤恒丸閣様」、「Москва Н.Ко□мо □□□□」。葉書表に「[МОС]KBA □□□□」消印あり。葉書裏に「□□□□」の加筆あり。
78-550	K. Muto[武藤カ]	葉書	葉書1	○	1910	124	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato Elisabethstr. 19I Pension Regina」、「K. Muto Luisenstr. 67I Berlin N.W.」。葉書表に「Berlin NW」消印あり。
78-551	等々力いく子	葉書	葉書1	○	1909	825	葉書表に「Via U.S.A. Dr. T. Sato Tokio Japan」、「Aug 25th Greetingds from Gernal Inue」。葉書表に「Geneve」消印あり。
78-552	武内金平、米子	葉書	葉書1	○	1912	100	葉書表に「Via Siberia Dr Satō Seoul Korea 京城衛戍病院 佐藤恒丸様」、「在英国ロンドン 武内金平、米子」。葉書裏に「武内金平、米子」の加筆あり。
78-553	等々力いく子、井上恒子	葉書	葉書1	○	1925	1010	葉書表に「Via U.S.A. Tokio Japan」、「Greetings from Argentina! We are both quite well Inue」。葉書表に「MA□」消印あり。
78-554	[川島]慶治	葉書	葉書1	○	1909	122	葉書表に「Herrn Generaloberarzt Dr. Sato Hochwohlgeboren Kesselstr. 29 Berlin N.」。葉書表に「Berlin N」消印あり。
78-555	田村中佐	葉書	葉書1	○	1909	1231	葉書表に「Herrn Oberstabsarzt Sato Hochwohlgeboren München Elisabethstr. 19I」。葉書表に「Steglitz」消印あり。
78-556	Capersuoli Dr. Kunropp[カ]	葉書	葉書1	○	1909	406	葉書表に「Doctor T. Sato Kesselstrasse 29 Berlin-Deutschland」。葉書表に「FIRENZE」消印あり。
78-557	川口	葉書	葉書1	○	1909	407	葉書表に「Herrn Generaloberarzt Dr.Sato Berlin Kesselstr. 29」。葉書表に「München 1 BP」消印あり。
78-558	引田龍心[カ]	葉書	葉書1	○	1911	924	葉書表に「Hochwohlgeb. Herrn Dr. Sato Hier Kesselstr. 29」。葉書表に「Berlin N」消印あり。
78-559	鈴木督	葉書	葉書1	○	1909	330	葉書表に「Herrn Tsunemaro Sato Berlin Kesselstr. 29」、「Münchenerstr. 42」。葉書表に「Berlin W」消印あり。
78-560	今井義一	葉書	葉書1	○	1909	331	葉書表に「Herrn Dr. Sato Hochwohlgeboren Kesselstr. 29 Hier」とあり。葉書表に「Berlin W」消印あり。
78-561	今井少佐	葉書	葉書1	○	1909	328	葉書表に「Herrn Dr. Med. Sato Kesselstr. 29 Berlin」、「by. Frau Tinen Augusburgerstr 74」。葉書表に「Berlin W」消印あり。
78-562	S. Takahashi[高橋]	葉書	葉書1	○	1909	327	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato Berlin Kesselstr. 29」、「S. Takahashi Plöck 101」。葉書表に「Heidelberg」消印あり。
78-563	陰山栄	葉書	葉書1	○	1924	321	葉書表に「Via America Prof. Dr. T. Sato Rotes Kreuz Hospitel Shibuya Tokio Japan」。葉書表に「Freiburg」消印あり。
78-564	来島要	葉書	葉書1	○	1923	429	葉書表に「Herrn Prof. Sato Tokio Japan 東京渋谷 赤十字[社]病院 佐藤院長閣下」。葉書表に「ZÜRICH」消印あり。
78-565	鈴木宇宙	葉書	葉書1	○	1924	910	葉書表に「Herrn Dr. med. Tsunemaru Sato Tokyo Japan」。葉書表に「Tooting SW」消印あり。
78-566	新井吉郎	葉書	葉書1	○	1922	925	葉書表に「Via America T. Sato Tokio Japan 東京市外下渋谷 日本赤十字社病院 佐藤院長閣下」、「ロンドンニテ 新井」。葉書裏に「新井吉郎」の加筆あり。
78-567	高木逸磨	葉書	葉書1	○	1926	100	葉書表に「Via America Herrn Prof. Sato. Tokyo Japan. 東京下渋谷一七 佐藤博士殿」、「旅行中ローマより 高木逸磨」。葉書裏に「高木逸磨」の加筆あり。葉書表に「GENOVA」消印あり。
78-568	新井吉郎	葉書	葉書1	○	1920	1002	葉書表に「Via America Mr. T. Sato Mr. K. Seigo Tokio Japan 東京市外渋谷 日本赤十字社病院 佐藤院長 西郷副院長 閣下」、「巴里にて 新井生」。葉書表に「PARIS」、「JAPAN」消印あり。葉書裏に「新井吉郎」の加筆あり。

78-569	松田道一、加茂正雄、山口修二	葉書	葉書1	○	1926	919	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato. Tokio. Japan 東京市外下渋谷町一一七 佐藤博士様」、「ローマニテ 松田道一」ほか。葉書裏に「松田道一 山口修二 加茂正雄」の加筆あり。葉書表に「ROMA」消印あり。
78-570	広口実	葉書	葉書1	○	[1920-1926?]	1207	葉書表に「Tokyo Japan via U.S.A. 渋谷 日本赤十字社病院 佐藤恒丸様」。葉書裏に「広口実」の加筆あり。葉書表に「MARSEILLE」消印あり。
78-571	持地ゑい子	葉書	葉書1	○	1925	904	葉書表に「Via Sibiria Herrn Dr. Sato Tokyo Japan 東京市外下渋谷 赤十字[社]病院長 佐藤恒丸様」。葉書裏に「持地夫人 巴里より」の加筆あり。葉書表に「PARIS」消印あり。
78-572	中山	葉書	葉書1	○	1909	1201	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato Pension Regina München Elisaebthstr. 19I.」とあり。「Berlin W」消印あり。
78-573	[稲葉カ]良太郎	葉書	葉書1	○	1909	[月不明]15	葉書表に「Prof. Herrn Generalstabsarzt Dr. Sato Kesselstr. 29 Berlin N.W.」。葉書表に「CHARLOTTENBURG」消印あり。
78-574	田中幸一	葉書	葉書1	○	[1928-1929?]	[月日不明]	葉書表に「Dr. T. Sato Tokyo. Japan 大日本東京市外渋谷永住一四 佐藤恒丸様」、「リバプールより 田中幸一」。葉書表に「□□□」消印あり。
78-575	[差出人不明]	葉書	葉書1	○	1908	[月不明]25	葉書表に「Monsieur T. Sato Kesselstr 29III. Berlin」。葉書表に「EALING. N」消印あり。
78-576	長尾口郎	葉書	葉書1	○	1908	112	葉書表に「Monsieur T. Sato Marseilles aux soins du bateu a vapeur "Hitatchimaru" Japonais」。葉書表に「Berlin W」消印あり。
78-577	杉口守道	葉書	葉書1	○	1908	612	葉書表に「Hochwohlgeboren Herrn Oberstabsarzt Sato in Berlin Kesselstr. 29 III.」。葉書表に「München」消印あり。
78-578	中原生	葉書	葉書1	○	1909	622	葉書表に「Dr. Sato (aus Japan) Berlin Kesselstr. 29」。葉書表に「Paris des Italiens」消印あり。
78-579	[若林]虎吾	葉書	葉書1	○	1914	517	葉書表に「Herrn Generalstabsarzt Dr. T. Sato, Chosen Japan 日本帝国 朝鮮京城 陸軍 衛戍病院長 佐藤軍医正殿」。葉書表に「JENA」、「JAPAN」消印あり。
78-580	隆吉[賀屋隆吉カ]	葉書	葉書1	○	1909	122	葉書表に「Herrn Dr. Ts. Sato Berlin, Kesselstr. 29III bei Frau Bredow」。葉書表に「S□□□□ NEW□OTON S. U. N.」消印あり。
78-581	隆吉[賀屋隆吉カ]	葉書	葉書1	○	1908	616	葉書表に「Herrn Dr. Ts. Sato, Berlin, Kesselstr. 29III bei Frau Bredow Germany」。葉書表に「STOCKWELL」消印あり。
78-582	賀屋[隆吉]	葉書	葉書1	○	1907	1120	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato Tokio, Japan. 東京小石川区小日向台町一丁目六十二 佐藤恒丸様」。葉書表に「BERLINE N. W.」、「JAPAN」消印あり。
78-583	凉男[新宮凉男]	葉書	葉書1	○	1908	212	葉書表に「Hochwohlgeb. Herrn Dr. med. Sato, Berlin, Kesselstr. 29III」。葉書表に「Berlin N」消印あり。
78-584	伴野広[カ]	葉書	葉書1	○	1910	212	葉書表に「An Herrn Dr. Tsunemaro Sato (aus Japan) Berlin, Kesselstr. 29」。葉書表に「MUENCHEN」消印あり。
78-585	□□敏□	葉書	葉書1	○	1908	1012	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato Berlin N4, Kesselstr. 29」。葉書表に「Charlottenburg」消印あり。
78-586	中山生、西沢生、角田隆生、若林[カ]、森	葉書	葉書1	○	1910	327	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato Tokio Japan」。葉書表に「Berlin N」、「TOKIO」及び「小石川」消印あり。
78-587	[差出人名なし]	葉書	葉書1	○	1910	411	葉書表に「Via Siberia Herrn Dr. T. Sato, Tokio, Japan 東京小石川区小日向台町一丁目三五 佐藤恒丸様」。葉書表に「BERLINE N.」、「小石川」消印あり。
78-588	島生、津田久三、外山口	葉書	葉書1	○	1909	906	葉書表に「Herrn Dr. Sato Berlin, Kesselstr. 29」。葉書表に「□(ロシア語)」消印あり。
78-589	稲田三之助	葉書	葉書1	○	1912	927	葉書表に「an Herrn Dr. T. Sato Kesselstr. 29/III Berlin.」。葉書表に「Hamburg」消印あり。
78-590	角田隆	葉書	葉書1	○	1909	1022	葉書表に「Post Karte Herrn Dr. T. Sato bei Fr. Renken Altona Goethestr. 24P」。葉書表に「Berlin N」消印あり。
78-591	三角恂	葉書	葉書1	○	1908	1012	葉書表に「Herrn Dr. Ts. Sato Hochwohlgeboren Berlin N. Kesselstr. 29」。葉書表に「Bonn」消印あり。

78-592	武内金平	葉書	葉書1	○	[1908-1909?]	403	葉書表に「Herrn Dr. Sato Kesselstr. 29 Berlin N. Germany」。葉書表に「London ES」消印あり。
78-593	川村生	葉書	葉書1	○	1909	1008	葉書表に「Herrn Dr. med. T. Sato Berlin Kesselstr. 29」および「nIII」、葉書表に「Eckerle, Thennenbacherstr. 21 Freiburg i/Br. (i/Br. =im Breisgau)。葉書表に「Freiburg」消印あり。
78-594	K. Muto	葉書	葉書1	○	1909	1116	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato per. Ad. Frau Renken Goethestr. 24P Altona Deutschland」とあり。「Berlin NW」消印あり。葉書表に「K. Muto Luisenstr. 67i Berlin N.W.」差出人住所書込みあり
78-595	川嶋明八	葉書	葉書1	○	1909	102	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato Berlin Kesselstr. 29」。葉書表に「Muenchen」消印あり。
78-596	Y. Wada[和田八千穂]	葉書	葉書1	○	1908	1021	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato (aus Japan) Hier Kesselstr. 29」。葉書表に「Berlin NW」消印あり。
78-597	角田	葉書	葉書1	○	1910	612	葉書表に「Via Sibirien Herrn Dr. T. Sato Tokyo Japan. 東京小石川[区]小日向台町一丁目三十五 佐藤恒丸殿」。葉書表に「BERLINE N」、「小石川」消印あり。
78-598	田上清貞	葉書	葉書1	○	1910	215	葉書表に「An Herrn Dr. T. Sato Berlin Kesselstr. 29」。葉書表に「Muenchen」消印あり。
78-599	引田少佐	葉書	葉書1	○	1910	101	葉書表に「Herrn Dr. T. Sato s.H. München Elisabethstr. 191」。葉書表に「Berlin W」消印あり。※S.H.= Sehr Hochwohlgeboren
78-600	本庄謙三郎	葉書	葉書1	○	1913	706	葉書表に「Via Siberia Herrn Generalarzt Prof. Sato Seoul (Keijo) Korea-Japan」。葉書表に「Berlin N」消印あり。
78-601	□□	葉書	葉書1	○	1905	207	葉書表に「Major T. Sato Tokyo Japan」。葉書表に「Culaba」、「Tokio」消印あり。
78-602	春雄	葉書	葉書1	○	1902	515	葉書表に「Via America Herrn Dr. T. Sato Tokio Japan」、葉書裏に「Friedländerweg 51 Göttingen」。葉書表に「Göttingen」、「Tokio」消印あり。
78-603	牧田太	葉書	葉書1	○	[1907-1910?]	908	葉書表に「Herrn Dr. Sato aus Japan Kesselstraße 24[カ] Berlin Deutschland」。葉書表に「□(ロシア語)」消印あり。
78-604	浪本[カ]	葉書	葉書1	○	[1907-1910?]	[月不明]14	葉書表に「Dr. T. Sato (aus Japan) Berlin Kesselstr. 19」。葉書表に「□(ロシア語)」消印あり。
78-605	宮本[宮本叔カ]	葉書	葉書1	○	1899	1103	

## C書類・写真等

・書類、写真それぞれの作成時期順で配列した。

番号	文書タイトル	形態	数量	デジタル画像	年	月日	文書情報
8	[贈答品添書き]	書類	用紙11		[1903-1904?]	[月日不明]	大学堂、黄思永などの贈答品添書き
9	[皇帝頤和園の招宴献立]	書類	用紙2		1903	1000	1903年10月「明治三十六年十月謁見後(万寿山)二賜ハリタル午餐ノ献立」、1904年5月9日「明治三十七年五月九日頤和園賜宴」
10-1	[名票]	書類	用紙18、紙帯1		[1904?]	428	慶親王など各国総理事務衙門官員、佐藤恒丸の名票。用紙の背面に「国府台衛戍病院」罫氏の貼付あり(人名の記載あり)。紙帯に「佐藤大人」の記載あり。
10-2	[人名簿]	書類	罫紙1		[1904?]	328	
11	[英領インド旅程記録]	書類	用紙8、袋1		1902	922	袋表に「福島安正少将病歴」の記載あり。
79-1	[在独手記]	書類	袋1、手帳2		[1907-1910?]	[月日不明]	袋表に「在独中手記(医学)」の記載あり。
79-2	[在独中収集パンフレット、地図]	書類	袋2、冊子12、用紙13、地図1		1908-1909		袋裏に「在独中 収集書類 地図」の記載あり。1909年8月27日～9月4日にブダペストで開催された第16回国際医学会議のプログラム、ブダペスト市街地図、ミュンヘン市街地図ほか。
79-3	[伯林大学 ハンブルヒ熱帯病研究所 ブダペスト万国医学会 書類]	書類	袋1、洋封筒1、冊子1、用紙8、紙片1		1908-1909		袋裏に「伯林大学 ハンブルヒ熱帯病研究所 ブダペスト万国医学会 書類」の記載あり。
79-4	[「朝鮮ニ於ケル赤痢」]	書類	冊子1		1913	516	「陸軍」罫紙。
79-5	[永登浦監獄脚気調査書類]	書類	袋2、冊子6、罫紙13、用紙17、名刺1		1908-1911		袋表に「永登浦監獄脚気調査書類」の記載あり。「永登浦監獄に於ける脚気患者に関する諸表報告」1冊、「京城監獄永登浦分監脚気病発生概況」(1911年7月14日付、永監発第三四九号、永登浦分監長看守長 則近喜代熊より龍山衛戍病院長 陸軍二等軍医正 佐藤恒丸宛)1冊、永登浦監獄図3枚、そのほか京城監獄の諸病患者・収容状況・食事などの表多数。「京城監獄」、「京城監獄署永登浦分監」、「永登浦監獄」、「陸軍」各罫紙。
79-6	[脚気病調査書類]	書類	袋1、冊子4、罫紙3、用紙3、封筒3、巻紙2、便箋2、葉書1、写真15		1917-1922		袋表に「佐藤恒丸閣下来信書入 脚気調査」の記載あり。書簡(1920年5月12日付、末永軍医より佐藤軍医監宛)、白米病鳩の写真15枚、[朝鮮各地における食事状況表](年月日不明)用紙2枚、「脚気病理調査二閱スル件」(1917年10月22日付、咸鏡北道警務部長より朝鮮軍軍医部長宛)冊子1、「脚気 師団別 大正十一年」(1922年3月付)用紙1枚ほか。「咸鏡北道警務部」、「咸鏡南道警察官署」、「警察官署」、「陸軍」各罫紙。
80	[日赤病院長在勤時資料]	書類	袋1、冊子15、原稿用紙2、整理メモ1		[1920-1927?]		袋表に「公文草々稿」、「中野区新井町三一八 佐藤恒丸殿」、「下瀬氏」の記載あり。小池正直伝の材料カ(草稿1「課長時代と公文草々稿」、草稿2「報告、統計」以下、草稿14まであり)、各冊子は原稿用紙を金クリップにて一括。整理メモ「日赤病院長時」1枚も同封。



81-1	「侍医頭覚書」	書類	表紙1、罫紙・用紙多数	[1928-1936?]	[月日不明]	表紙に「侍医頭覚書」の記載あり。「(控)明治三十八年十二月三十一日 侍医侍医補現員調」(「宮内省」罫紙1枚)、「皇太子附侍医中二各主任者ヲ置クノ可否ニ就キテ 侍医頭 佐藤恒丸」(「宮内省」罫紙3枚を金具にて一括)、書簡(1929年12月20日付、増田胤次より佐藤恒丸宛)、「侍医定員ノ件ニ付意見具申」(1935年10月10日付、「宮内省」罫紙3、便箋3を金クリップにて一括)ほか多数。
81-2	[国際死因及疾病分類(一九二九年協定)関係書類]	書類	冊子4	1929-1931	[月日不明]	各冊子のタイトルは(1)「(参考)国際死因及疾病分類(一九二九年協定)」。(2)「死因及疾病分類改正案説明」。(3)「死因及疾病分類成案修正意見 佐藤恒丸」(1931年11月11日付、侍医頭 佐藤恒丸より内閣統計局長代理 鷺尾弘準宛)。(4)「改正死因及疾病分類案」(1931年10月24日付、内閣統計局長代理 鷺尾弘準より侍医頭 佐藤恒丸宛)。「宮内省」罫紙。
82	[佐藤恒丸 本人写真]	写真	写真15	1882-1934	[月日不明]	各写真裏に「昭和九年二月 参内記念」、「近衛歩兵第四聯隊 陸軍衛生部見習医官 佐藤恒丸 享年廿五才 明治二十九年十二月廿八日撮影」、「明治十五年七月 于時十一歳 佐藤恒丸」、「独逸協会学校在学中」、「東京医事新誌第壹千五百号記念 明治四十年二月廿三日」、「明治三十九年二月 旅順露国陸軍病院ニ於テ」ほかの記載あり。
83	[赤十字病院時期 集合写真]	写真	筒3、写真8、用紙1、厚紙2、整理メモ1	1916-1927	[月日不明]	「昭和二年四月 第六回講習会」、「帝大山上ニ於テ 極東熱帯医学会 大正十四年十月十二日」、「日本赤十字社病院第五回医学講習会記念写真 大正十五年四月二十六日撮之」、「行啓記念 日本赤十字社産院 大正十二年九月三十日」ほか。整理メモ1枚「赤十字病院講習会」も同封。
84-1	「日本赤十字社茨城支部病院落成記念帖」	写真帖	写真帖1	1924	315	
84-2	「復興」(東京市[編])	写真帖	写真帖1	1930	326	帝都復興事業
84-3	「今上陛下御即位式写真帖」(帝国軍人教育会[編])	写真帖	写真帖1、紙箱1、印刷物1	1914	423	印刷物1枚「紫宸殿に於ける御即位式之光景」も同入。
84-4	「帝都復興完成式典並復興帝都御巡幸写真帖」(復興局[編])	写真帖	写真帖1、紙袋1	1930	331	
85-1	T. Sato( aus Tokio.), "Beitrag zur Kenntnis des Nucleoproteids der Milz", <i>Biochemische Zeitschrift</i> , Bund 22, Heft 5 und 6, pp.489-494, Berlin.	その他	抜刷1	1909	1019	
85-2	Dr. T. Sato( aus Tokio, Japan), "Über die Entstehung der Ätherschwefelsäure im Organismus", <i>HOPPE-SEYLER'S ZEITSCHRIFT für PHYSIOLOGISCHE CHEMIE</i> , Bund 63, Heft 5, pp.378-396, Hidelberg.	その他	抜刷1	1909	1027	

85-3	Oberstabsarzt Dr. T. Sato und Oberarzt Dr. K. Nambu (Tokio), "Zur Pathologie und Anatomie des Skorbut", <i>Virchows Archiv für pathologische Anatomie und Physiologie und für klinische Medizin</i> , Bund 194, pp.151-182, Berlin.	その他	抜刷1		1908	[月日不明]	
85-4	医学博士 佐藤恒丸述「脳腫瘍(大正十三年四月二十四日 日本赤十字社病院講習会に於て講演)」(『東京医事新誌』第2396号、第2397号)	その他	抜刷1		1924	1122/1129	
85-5	医学博士 佐藤恒丸述「ヒステリー二例」(『東京医事新誌』第2496号、第2498号、pp.88-92、pp.18-22)	その他	抜刷1		1916	1126	
85-6	医学博士 三浦謹之助述「神経衰弱症ノ療法」(『臨床医学』第8年第10号、pp.1-8)	その他	抜刷1		1919	1000	
85-7	臨時脚気病調査会「脚気一小局部流行ノ調査報告」(『臨床医学』pp.1-31)	その他	抜刷1		1914	425	表紙に「謹呈 佐藤博士殿」の加筆あり。
85-8	医学博士 佐藤恒丸「一種の腰痛(脊椎前縦靱帯の損傷?)」(『実験医報』第24年第285号、pp.4-20)	その他	抜刷1		1938	712	表紙に「謹呈 佐藤博士殿」の加筆あり。
85-9	癌研究会評議員 医学博士 佐藤恒丸 「万国癌研究会の思出」	その他	校正刷1		1941	500	表紙に「附 長与会頭の書簡」の加筆あり。
85-10	入沢達吉「宮本博士の追憶」、宮入慶之助「宮本叔君の思ひ出で」、賀屋隆吉「故宮本叔氏を憶ふ」、平井毓太郎「宮本君を憶ふ」 (『日本伝染病学会雑誌』第4巻第1号、pp.1-7)	その他	抜刷1		1929	1020	
85-11	佐藤恒丸「宮本叔君を憶ふ」(『日本伝染病学会雑誌』第10巻第1号、pp.1-2)	その他	抜刷1		1935	1020	
85-12	医学博士 佐藤恒丸「内科的疾患の診療上の注意」(『治療及処方』第131号 記念特輯号(甲)別冊、pp.61-73)	その他	抜刷1		1931	211	
85-13	医学博士 佐藤恒丸述「旅順の思出」(『東京医事新誌』第2554号、第2555号、第2556号、pp.50-52、pp.22-25、pp.28-31)	その他	抜刷1		1928	114/121/128	
85-14	医学博士 佐藤恒丸述「腸「チフス」に於ける腓骨神経の神経炎」(『実験医報』第15年第171号、pp.277-281)	その他	抜刷1		1929	112	
85-15	医学博士 佐藤恒丸述「牛乳他二三の食品及薬品に対する特異素質」(『実験医報』第16年第183号、pp.14-19)	その他	抜刷1		1930	112	
85-16	医学博士 佐藤恒丸、医学士 堀庫一「本邦に於ける蜘蛛膜下出血」(『診断と治療』第23巻第1号、pp.1-18)	その他	抜刷1		1936	100	表紙に「保存」、「昭和十一年一月」の加筆あり。
85-17	佐藤恒丸述「朝鮮ニ於ケル赤痢」(『朝鮮]医学会雑誌』第6号、pp.1-76)	その他	抜刷1		1913	700	
85-18	陸軍一等軍医 大屋音市「最近ニ於ケル脚気ノ発生状況」(『軍医団雑誌』第166号、pp.413-445)	その他	抜刷1		1927	400	表紙表に「謹呈」の判印あり。
85-19	医学博士 佐藤恒丸述「副腎腫兼アチソン氏病ノ一例」(『東京医事新誌』第1851号、pp.1-4)	その他	抜刷1		1914	100	
85-20	医学博士 佐藤恒丸「異常の経過を示した肺炎」(『実験医報』第18年第207号、pp.12-20)	その他	抜刷1		1932	112	

85-21	医学博士 佐藤恒丸述「診断治療共ニ私ノ最モ苦心シタ肺疾患ノ一例」(『実験医報』第13年第150号、pp.1-8)	その他	抜刷1		1927	412	表紙表に「謹呈」の判印あり。
85-22	陸軍二等軍医正 佐藤恒丸講演、谷岡達治速記「ペスト病ニ関スル講演」(朝鮮駐劄軍司令部印刷)	その他	抜刷1		1911	126	
85-23	医学博士 佐藤恒丸述「患者となりて」(『東京医事新誌』第2158-2177号、pp.1-20)	その他	抜刷1		1920	101-515	表紙に「校了」の加筆あり。
85-24	癌研究会評議員 医学博士 佐藤恒丸「万国癌研究会の思出 附長与会頭の書簡」(『康楽』第5号、pp.9-17)	その他	抜刷1		1941	1031	
85-25	医学博士 佐藤恒丸述「療病一夕話」(『東京医事新誌』第2260号、第2261号、第2262号、pp.69-73、pp.17-20、pp.20-22)	その他	抜刷1		1922	101/114/121	表紙に「[削除] 謹呈」の判印あり。
85-26	東京 佐藤恒丸、同 帮助医員 大野禧一「脳膜炎ノ滲出液ヨリ窒扶斯菌ヲ獲タル一例」(『陸軍々医学会雑誌』第149号、pp.1-20)	その他	抜刷1		1906	131	
85-27	医学博士 佐藤恒丸述「疾病に及ぼす精神の影響 附精神療法」(『東京医事新誌』第1953号、pp.1-7)	その他	抜刷1		1919	101	
85-28	医学博士 佐藤恒丸述「脳腫瘍(大正十三年四月二十四日 日本赤十字社病院医学講習会に於て講演)」(『東京医事新誌』第2396号、第2397号)	その他	抜刷1		1914	1122/1129	表紙に「謹呈」の判印あり。
85-29	陸軍二等軍医正 佐藤恒丸講演、谷岡達治速記「ペスト病ニ関スル講演」(朝鮮駐劄軍司令部印刷)	その他	抜刷1		1911	126	
85-30	『治療薬報』第265号	その他	雑誌1		1916	1201	医学博士 佐藤恒丸「腸チフス患者の脚気に就て」pp.1-10、の掲載あり。表紙に「第一頁著者掲載」の判印あり。
85-31	『日本臨床』第9巻第8号(通巻第94号)	その他	雑誌1		1951	810	
85-32	『日本医事新報』No.1427	その他	雑誌1		1951	901	<吾等の業績> 佐藤恒丸「東京帝大医院レントゲン器械の起原」pp.31-32、の掲載あり。
85-33	『東京医事新誌』第68巻第1号	その他	雑誌1		1951	120	佐藤恒丸「少しも良くならぬ」pp.66-67、の掲載あり。
85-34	「明治二十七八年役 虎列拉及流行性脳脊髄膜炎」	その他	冊子1		1907	[月日不明]	中表紙に「明治二十七八年役陸軍衛生事蹟」の表題あり。

## 第2次受入分

### A書簡

番号	差出人	形態	数量	デジタル 画像	年	月日	内容
新1	北里柴三郎	書簡	封筒、巻紙1	○	1894	1008	是非出席致したし。封筒表に「[本]郷区元富士町 医科大学内 医科大学歓迎会 御中」。
新2-1	志賀潔	書簡	封筒、巻紙1		1948	330	
新2-2	志賀潔ほか9名	書簡	封筒、巻紙1	○	1932	1112	東京帝大医学部同窓生の寄書。封筒表に「同級生寄せ書 大正十一年 於箱根」
新2-3	志賀潔	葉書	葉書1	○	1932	1031	同窓会案内

### B書類

新3	辞令	書類	罫紙1		1902	612	[明治35年清国における虎列刺調査につき訓令]。「陸軍省」罫紙
新4	辞令	書類	罫紙1		1893	710	[医科大学特待生に選定につき]「帝国大学」罫紙
新5	辞令[医科大学特待生に選定につき]	書類	罫紙1		1894	710	「帝国大学」罫紙。
新6	辞令[医科大学特待生に選定につき]	書類	罫紙1		1895	710	「帝国大学」罫紙。
新7	辞令[医科大学特待生に選定につき]	書類	罫紙1		1896	710	「帝国大学」罫紙。
新8	「仮証辞令[医科大学の卒業証明につき]」	書類	罫紙1		1896	1208	「医科大学」罫紙。
新9	辞令[東京帝国大学大学院に入学許可につき]	書類	罫紙1		1989	627	「東京帝国大学」罫紙。
新10	辞令[医科大学の指導教授につき]	書類	罫紙1		1989	627	「東京帝国大学」罫紙。
新11	辞令[東京帝国大学医科大学の副手を嘱託につき]	書類	罫紙1		1989	715	「東京帝国大学」罫紙。
新12	辞令[附属病院勤務を嘱託につき]	書類	罫紙1		1989	715	「医科大学」罫紙。
新13	辞令[東京帝国大学医科大学の副手嘱託を解任につき]	書類	罫紙1		1900	704	「東京帝国大学」罫紙。

### 第3次受入分

・書簡・葉書の差出人や年月日、書類等の作成年月は確定できておらず未整理状態である。

#### A 書簡・葉書の部

番号	内容・差出人	数量	デジタル画像
301	在朝鮮時期葉書	33 通	○
302	日赤・医学者よりの書簡	40 通	
303	在欧中書簡	13 通	
304	小池正直宛佐藤恒丸書簡	13 通	
305	佐藤梅子宛恒丸葉書	5 通	
306	海軍軍医総監雨宮量七郎葉書	5 通	
307	越山大尉死亡関係書類	8 通	
308	医科大学教授書簡（青山胤通・三浦謹之助・入沢達吉など）	51 通	
309	同葉書	9 通	
310	将軍書簡	30 通	
311	日本赤十字社病院長平井政適書簡	15 通	
312	志賀潔案内状	1 通	
313	石黒直恵葉書	2 通	
	<b>■以下は主な個人書簡</b>		
314	倉富勇三郎（朝鮮総督府司法部長官、枢密院議長）	1 通	
315	宇佐美勝夫（朝鮮総督府内務部長官）	2 通	
316	関屋貞三郎（朝鮮総督府学務局長、宮内次官、枢密顧問官）	2 通	
317	坂本鈺之助（同郷人、日赤副社長、枢密顧問官、永井荷風伯父）	3 通	
318	河井弥八（皇后宮大夫兼侍従次長、参議院議長）	6 通	
319	長崎省吾（宮内官僚、宮中顧問官）	1 通	
320	青山胤道（東京帝国大学教授、佐藤恒丸の恩師）	2 通	
321	長与又郎（東京帝国大学総長、ガン研究の世界的権威、石井四郎と交流）	1 通	
322	松井慶四郎（外務大臣、枢密顧問官）	1 通	
323	清水澄（憲法学者、枢密院議長）	1 通	
324	織田萬（国際司法裁判所判事、関西大学学長、立命館名誉総長）	1 通	
325	塩谷温（東京帝国大学教授、中国文学者）	1 通	
326	阿部充家（京城日報社長）	1 通	
327	岡倉秋水（日本画家、岡倉天心の甥）	1 通	
328	賀古鶴所（陸軍軍医監、旅順での恒丸の上司、森鷗外友人）	1 通	
329	藤田嗣章（陸軍軍医総監、韓国駐劄軍軍医部長、朝鮮総督府医院長）	1 通	
330	飯島茂（陸軍軍医総監、軍医学校長）	4 通	

331	畑英太郎（陸軍大将、関東軍司令官）	1	通	
332	立花小一郎（陸軍大将、朝鮮駐劄憲兵隊司令官、浦塩派遣軍司令官）	1	通	
333	長岡外史（陸軍中将、参謀次長、衆議院議員）	1	通	
334	本郷房太郎（陸軍大将、青島守備軍司令官、久邇宮家宮務監督）	1	通	
335	菅野尚一（陸軍大将、台湾軍司令官）	1	通	
336	南次郎（陸軍大将、朝鮮総督、関東軍司令官、枢密顧問官）	1	通	
337	奈良武次（陸軍大将、侍従武官長）	1	通	
30泰	佐藤恒丸[黒柳老兄宛]（1917年5月25日付）	1	通	
338	将官名士葉書	16	通	
339	日本赤十字社病院長・侍医頭時期書簡	90	通	
340	在朝鮮時期書簡	32	通	

	■未分類			
341	葉書	447	通	○
342	書簡	748	通	

## B 書類・資料の部

343	スコルブート病（写真）	64	枚	
344	在旅順傷病者治療援助報告書1	1	冊	
345	小池正直日記および伝記原稿	8	部	
346	メモ	1	式	
347	重複原稿	14	部	
348	要書綴	2	部	
349	雅静帖	1	冊	
350	論文抜刷	1	部	
351	地図	1	枚	
352	色紙	3	枚	
353	小池正直年表	1	枚	
354	北里柴三郎・寺内正毅写真など	4	枚	
355	鷗外筆：古希庵記	1	部	
356	朝鮮より東京への転任関係書類	1	式	
357	秋田軍医正死亡関係書類	6	部	
358	小池正直直筆欧州出張報告書	1	部	
359	色紙、布など			